

日立ビデオカセットレコーダー

Hi-Fi VHS G-CODE™

VT-F66NV形

HITACHI



取扱説明書

このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

愛情点検

●長年ご使用のビデオの点検をぜひ！

●ビデオの補修用性能部品の最低保有期間
は、製造打ち切り後8年です。

このようなことは
ありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ
後日のために記入しておいて
ください。
サービスを依頼されるときに
便利です。

ご購入店名 電話 ()

ご購入年月日 平成 年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているか
ご確認ください。

◎ 株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

再生紙

この取扱説明書は、再生紙を使用しております。

QR19913 © Hitachi, Ltd. 1998

Printed in Japan KY-M(Y)



この説明書の見かた

このページの概要

受信チャンネルを合わせる

重要 操作の前に必ずお読みください。

操作前の準備

- テレビで テレビの操作を示します。
- ビデオで ビデオの操作を示します。
- リモコン 番号は操作手順と対応しています。ビデオ本体に同じなまえのボタンがあるものは、本体のボタンでも同じ操作ができます。

操作手順

1 チャンネルボタン
2 メニューボタン
3 ▼ボタン

お知らせ

- 工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整されています。

86 ページ

お知らせ
このページの操作に関連するお知らせです。

インデックス
章ごとに位置を変えてあります。ページを繰りながら探すとき便利です。

インデックス

【はじめに】
ビデをお使いになる前に知っておいていただきたい内容を説明しています。

操作編

【見る】
テープの見かた（再生）を説明しています。

【録る】
テープの録画のしかたを説明しています。

【タイマー録画】
留守録画（タイマー録画）のしかたを説明しています。

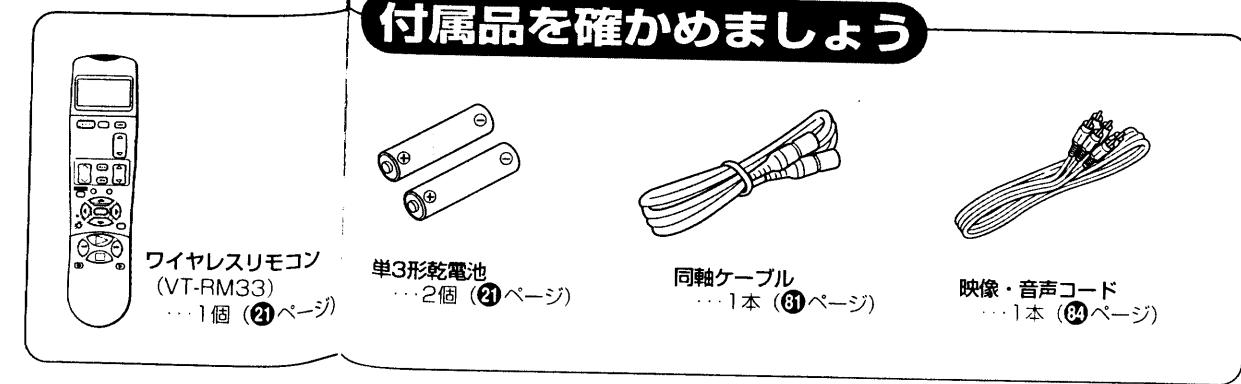
【便利な使いかた】
「見る」「録る」「タイマー録画」以外の使いかたを説明しています。

設置・準備編

【設置・準備】
自分で設置するときは、ここをお読みください。
接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたなどを説明しています。

【ご参考】
「故障かな…と思ったら」「保証とアフターサービス」は必ずお読みください。

付属品を確かめましょう



安全にお使いいただくためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

- ※1 重傷 …… 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 傷害 …… 治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害 … 家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

図記号の意味



この記号は、気をつけていただきたい「注意」の内容を表しています。



この記号は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。
絶対に行わないでください。



この記号は、「分解禁止」を表しています。



この記号は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を表しています。



この記号は、「水にぬらすこと禁止」を表しています。



この記号は、「指に注意すること」を表しています。



この記号はコンセントから「電源プラグを抜く」ことを表しています。
電源プラグを抜く



この記号は、「接触禁止」を表しています。



この記号は、「ぬれた手で扱うこと禁止する」ことを表しています。

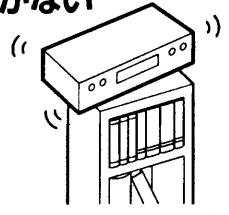


警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない



禁止

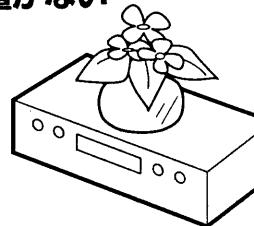


頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。

ビデオの上に、花びん、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない



水ぬれ禁止

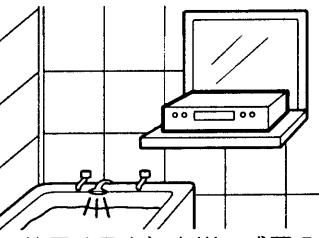


水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室での使用禁止

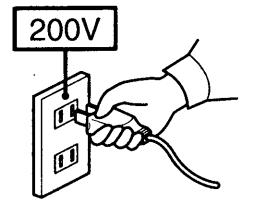


(風呂、シャワー室で使用すると) 火災・感電の原因となります。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない



禁止

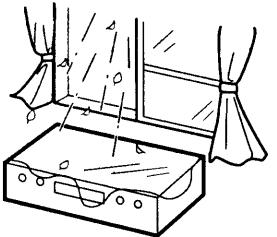


過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。

水にぬらさない



水ぬれ禁止



内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。
- 内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

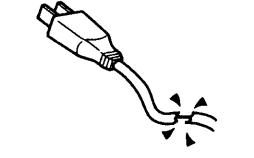
電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ること

- 傷つけない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重い物や角が鋭利なものをのせない
- 加熱しない
- 加工しない
- 束ねない
- 敷物などでおおわない



禁止



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグを抜く



安全にお使いいただくためのご注意(つづき)

もくじ

はじめに

見る

録る

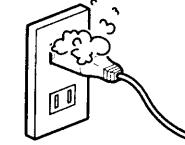
いろいろな再生
いろいろな録画

便利な使いかた

ご参考

警告

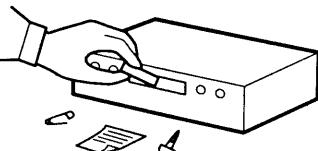
電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない



そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

- ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。

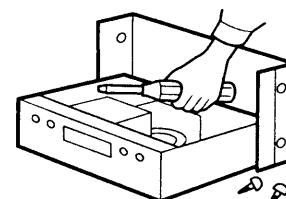
内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない



ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特に子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

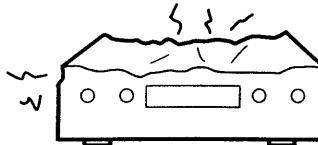
ビデオのカバー、裏ぶたを外さない 分解・修理・改造をしない



分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

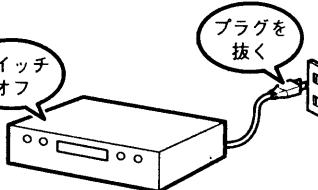
落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見ても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

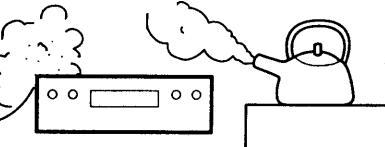


そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

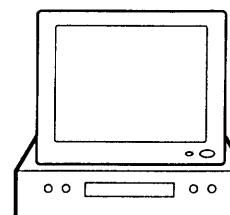
注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、振動が激しい場所に置かない



内部にはこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

ビデオの上に、重い物を置かない ビデオの上に乗らない

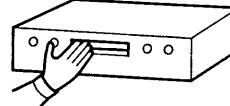


倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

- 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

テープ挿入口に手を入れない

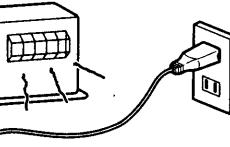


指に注意

内部にふれたり、はざまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。

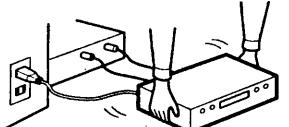
電源コードを熱器具に近づけない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

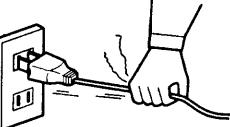
アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。

電源コードを持って抜かない



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

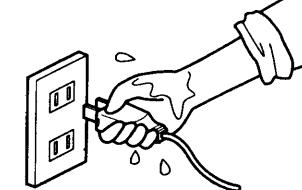
安全にお使いいただくためのご注意(つづき)

⚠ 注意

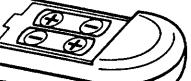
ぬれた手で電源プラグを持たない



ぬれていると、感電する原因となることがあります。



乾電池は、極性表示(プラス + とマイナス -)の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる



間違えると、乾電池の発熱・破裂、液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の乾電池は使わない



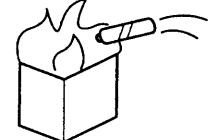
指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

<乾電池の液漏れについて>

- 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。
こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。

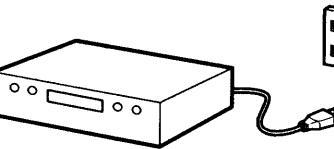
乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

- 火の中に入れない
- 充電・分解しない
- 鍵などの金属物と接触させない
- 加熱しない
- ショートさせない



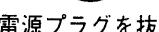
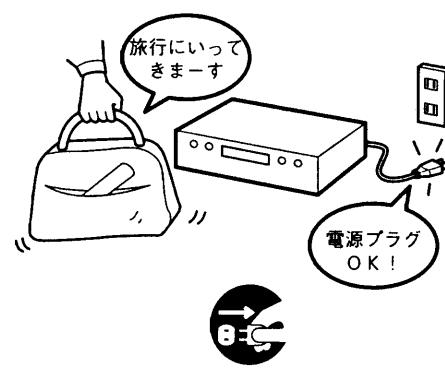
発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



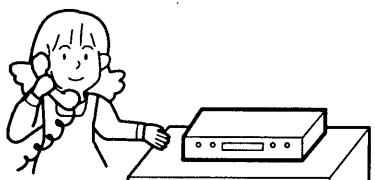
電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。

長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



⚠ 注意

5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください



ビデオの内部にはほこりがたまつたまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。

アンテナ工事には、技術が必要です。販売店にご相談ください。



アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

お知らせ

アンテナの立てかたについて

- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、オンラインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。
- VHF アンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検について

- アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

テレビの映りが悪いときは

- ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。

テレビの近くに置かない

- テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下の段に設置してご使用になることをおすすめします。(本機をラックの上の段でご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。)

ラジオの近くに置かない

- ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強力な磁気のあるところに置かない

- テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。

接続機器の取扱いについて

- ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

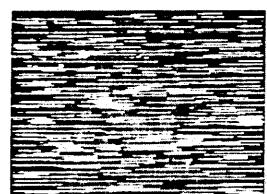
ヘッドの清掃

(テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になる)

初期



末期



ビデオを使っているとこんな症状が出ることがあります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。

本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっています。しかし、汚れた場合は別売りのヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●お使いのビデオにテープナビ機能があり、市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

ヘッドの摩耗



ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとてください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

(つづく)

使用上のご注意(つづき)

お知らせ

- 結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。
- 結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。
- 結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
 - ・暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
 - ・夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
 - ・湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。
- 結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

- このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- <This video cassette recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

標準モード専用のビデオでの再生について

- 本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

- ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

テープナビ・タイムナビの録画データの保持について

- 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

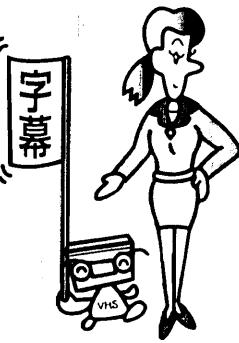
大切な録画をするときは 試し録りを！

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

著作権について

- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

このビデオの特長



テープナビ (63ページ)

タイムナビ (73ページ)

録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや、時刻を指定しての場面探しが快速にできます。



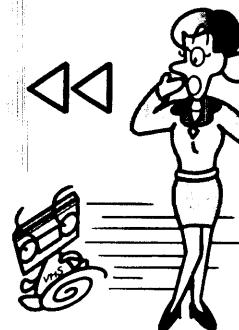
19ミクロンヘッド

3倍モードも標準モードに匹敵する高画質で記録します。



クローズド・キャプション・デコーダ内蔵 (35ページ)

クローズド・キャプション信号入りのテープを再生すると、英語の字幕を表示できます。



高速リwind

(27ページ)
テープを約260倍速で巻戻します。



CMとばしワザ (29ページ)

再生中にCMの部分だけ自動的に早送りされます。



大型操作ボタンと大型時計表示

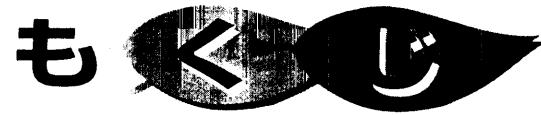
時計やカウンターが大きく、操作ボタンも大きいので快適に操作できます。



CMオートカット (40ページ)

CMを自動的にカットしながら録画できます。





はじめに

見る

いろいろな再生

録る

いろいろな録画

	ページ
この説明書の見かた	2
付属品を確かめましょう	3
安全にお使いいただくためのご注意	4
使用上のご注意	10
このビデオの特長	13
各部のなまえ	16
リモコン（ふたを閉じたところ）	16
リモコン（ふたを開けたところ）	17
ビデオ（正面）	18
ビデオ（後面）	19
ビデオの表示窓	20
リモコンの使いかた	21
乾電池を入れる	21
リモコンの操作範囲	21
ビデオを操作する	22
テレビを操作する	22
テープを入れる・取り出す	23
入れかた	23
取り出しかた	23
テープの「つめ」について（誤消去防止）	23
ビデオの画をテレビに映す	24

テープを見る（再生）	26
きれいな再生画にする（トラッキング調節）	27
テープを高速（260倍速）で送る	27
いろいろな再生のしかた	28
ある場面を止めて見る（静止画）	28
画像を見ながら見たい場面を探す（サーチ）	28
ゆっくりした速さで見る（スロー）	28
映像をクッキリさせる（ワイドポジション）	28
CMをとばして見る（CMとばしワザ）	29
CMオートを使う	30
ステレオCMスキップを使う	32
録画した番組の頭出しをする（VISS）	33
二重音声やステレオ音声を選ぶ	34
英語の字幕を見る（Closed Caption）	35

テレビ番組を録画する	36
録画しながら別の番組を見る	38
選んだ時間だけ録画する（クイックタイマー）	39
CMをカットしながら録画する（オートカット）	40
ダビングする	43
ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする	43
本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする	44
ステレオから音声を録音する（オーディオ録音）	45

タイマー
録画

	ページ
タイマー録画予約の前に	46
Gコード予約する	47
Gコード予約する	47
チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する	50

リモコン予約する	52
予約の確認・取り消しをする	55
予約した番組のCMをカットする	56
タイマー予約・録画のご注意	57

	ページ
画面表示を見る	58
残り時間・経過時間を表示する	59
テープの残り時間を表示する	59
経過時間を表示する	60

ビデオの機能を画面で選ぶ（お好みセレクト）	61
テープナビを使う	63

録画データを登録する	63
テープの録画データを見る	65
テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する	66
録画データを使って番組の頭出しをする	67
登録内容を取り消す	69
登録内容を確かめる	71
テープナビのご注意	72

タイムナビで見たい場面を探す	73
リモコンで2台のビデオを操作する	75
リモコンで他社のテレビを操作する	76

設置・
準備

ご自分で設置するときにお読みください。	78~99
接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。	
設置・準備編のもくじは78ページをご覧ください。	

便利な
使いかた

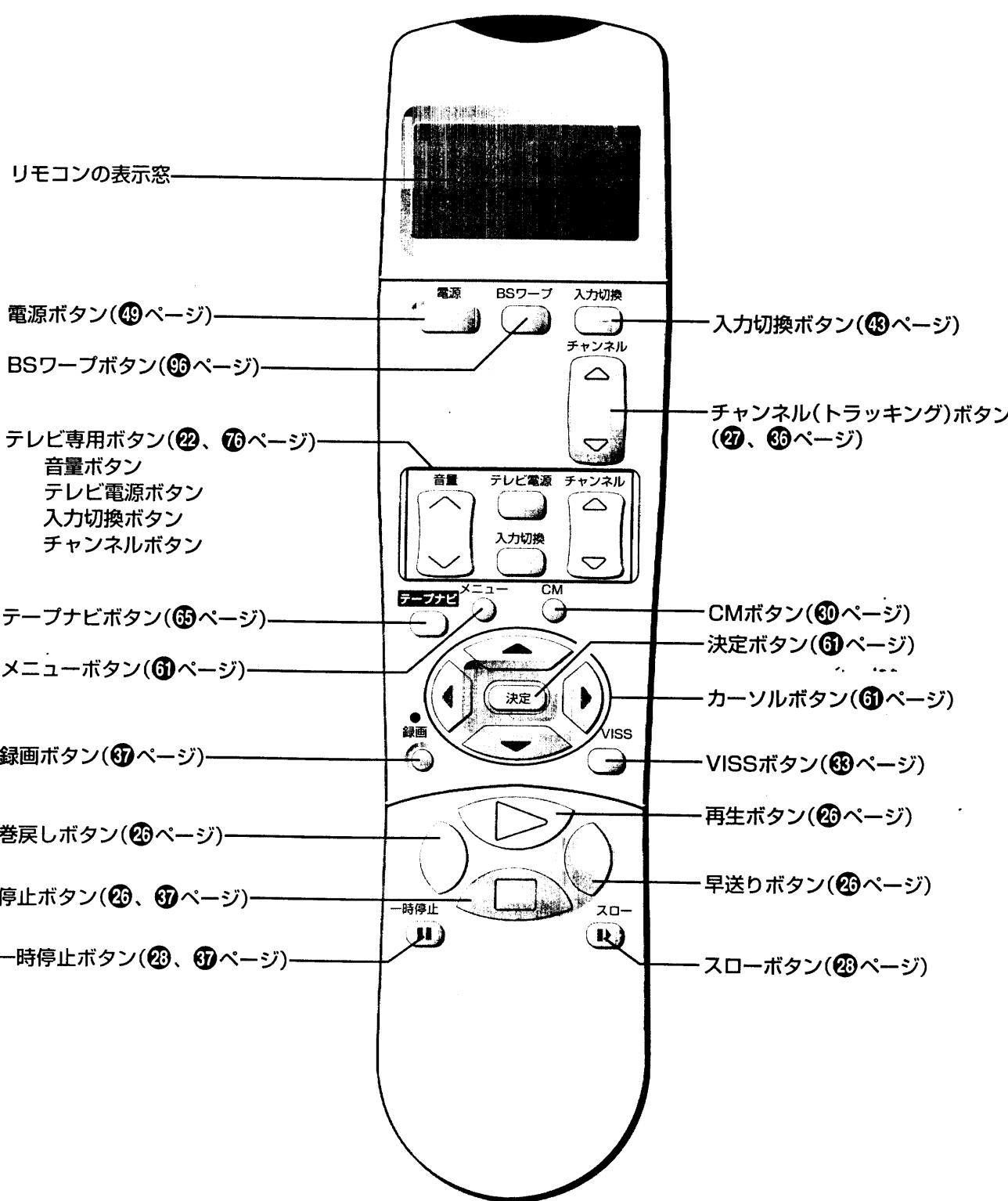
故障かな…と思ったら	100
表示窓のガイド表示	105
保証とアフターサービス	106
仕様	107
別売品のご紹介	108
用語の解説	109
索引	112

ご参考

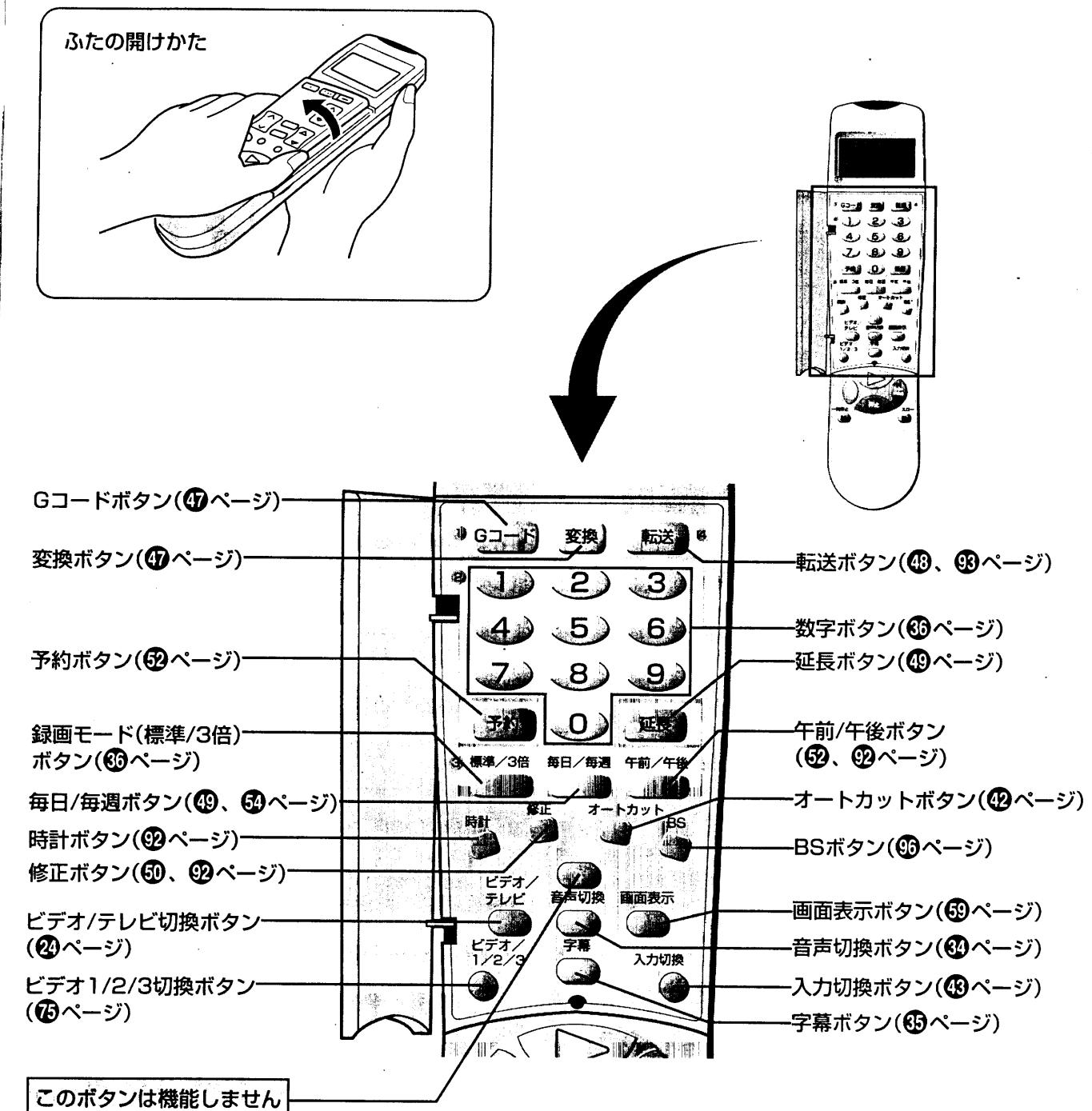
各部のなまえ

()の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン(ふたを閉じたところ)



リモコン(ふたを開けたところ)

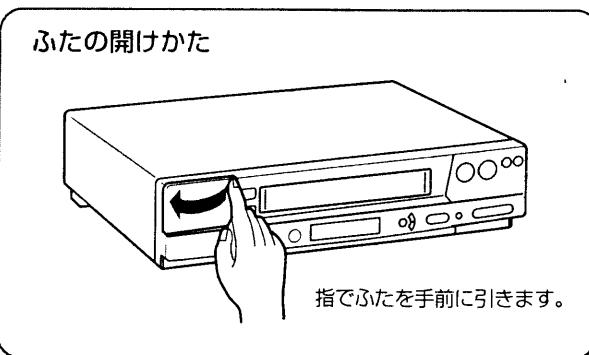




各部のなまえ(つづき)

はじめに

ビデオ(正面)



リモコン切換ボタン(75ページ)

チャンネル切換ボタン(83、85ページ)

カウンタリセット(テープ選択)切換ボタン(59、63ページ)

ワイドポジションボタン(28ページ)

電源ボタン(49ページ)

早送りボタン(26ページ)

巻戻しボタン(26ページ)

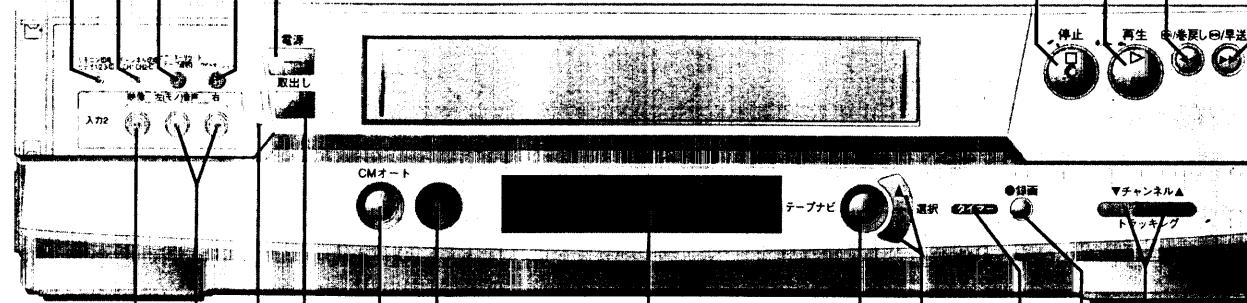
再生ボタン(26ページ)

停止ボタン(26、37、39ページ)

停止

再生

▼/巻戻し/早送り



ビデオの表示窓(20ページ)

リモコン受光部(21ページ)

テープナビボタン(65ページ)

CMオートボタン(30ページ)

取出しボタン(23ページ)

リセットスイッチ(100ページ)

音声入力2端子(43ページ)

映像入力2端子(43ページ)

リモコン受光部(21ページ)

テープナビボタン(65ページ)

CMオートボタン(30ページ)

取出しボタン(23ページ)

リセットスイッチ(100ページ)

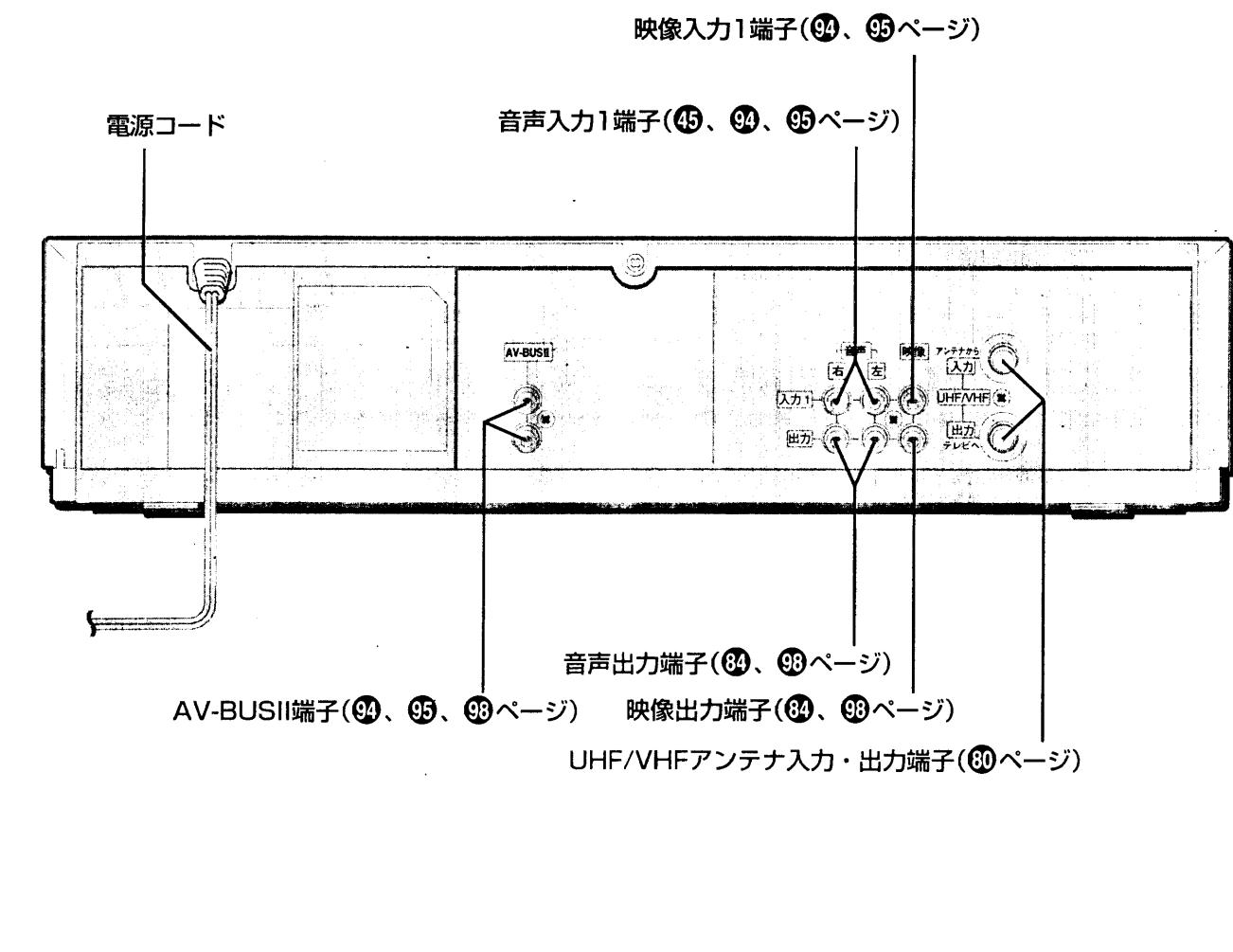
選択ボタン(67ページ)

タイマー表示(49、53ページ)

録画ボタン(37ページ)

チャンネル(トラッキング)
ボタン(27、36ページ)

ビデオ(背面)



ビデオの表示窓



お知らせ

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。
- 表示窓は上記以外にもいろいろなメッセージを表示します。(105ページ参照)

テープ走行状態表示

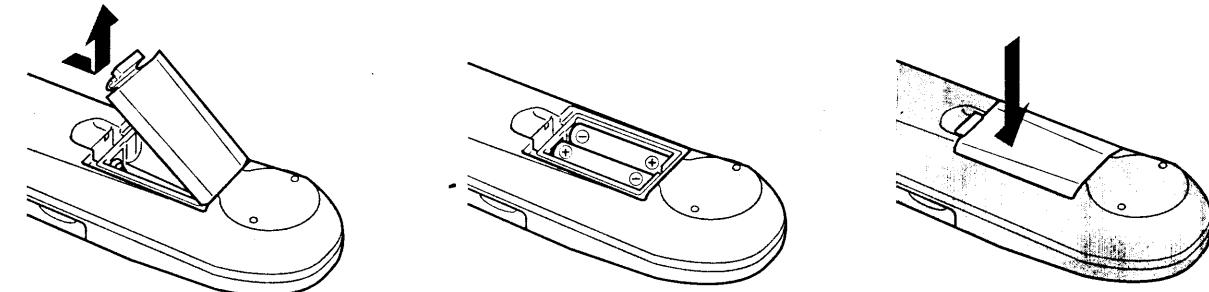
再生すると点灯	録画一時停止中およびオートカット中点灯
早送りすると点灯、早送り再生すると点滅	一時停止中点灯
巻戻しすると点灯、巻戻し再生すると点滅	スロー再生すると点灯

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

- !**注意**
- 指定以外の乾電池は使わないでください。
指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
 - 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - 火の中に入れない
 - 加熱しない
 - 充電・分解しない
 - ショートさせない
 - 鍵などの金属物と接触させない
 これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

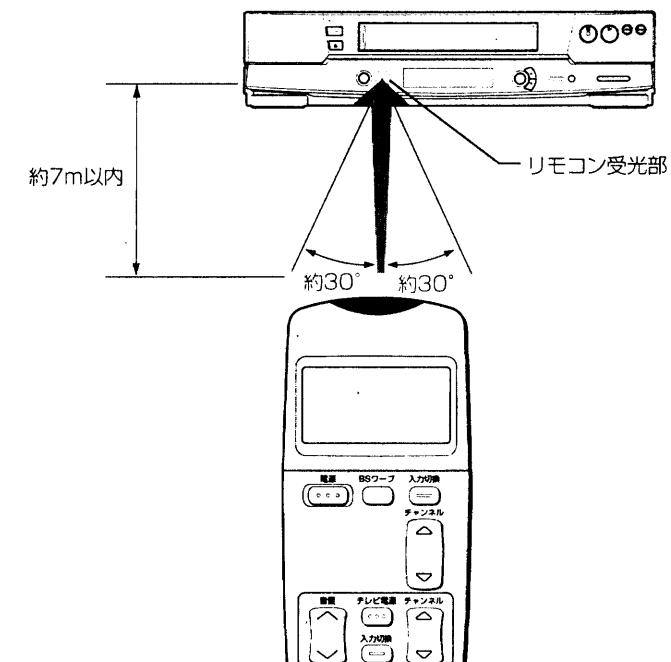
乾電池を入れる

- つまみを押しながら、ふたを開ける
- 乾電池(単3形)2本の $\oplus\ominus$ を正しく入れる
- ふたを閉じる



リモコンの操作範囲

ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、次の範囲で操作できます。

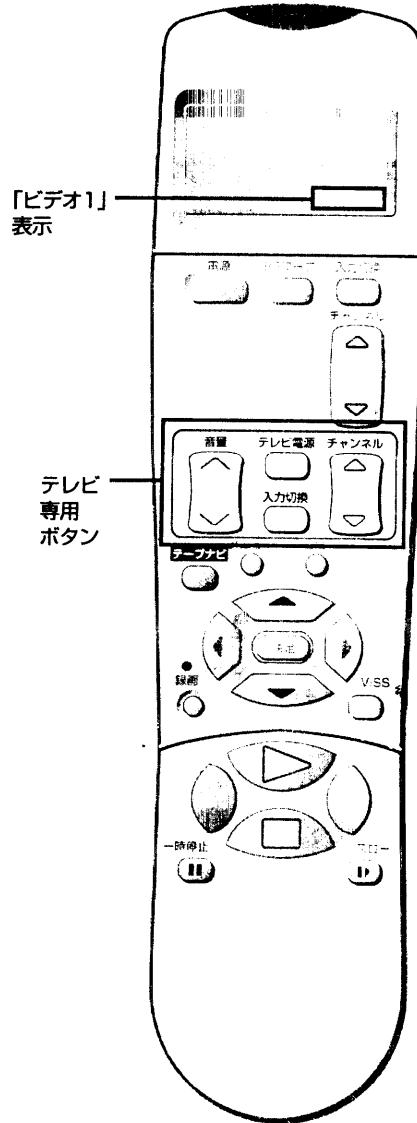


お知らせ

乾電池が消耗したとき
①から⑥の症状が出ます。
このときは、新しい乾電池に交換してください。

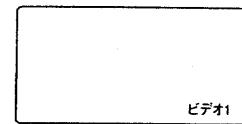
- リモコン操作後、表示窓に \times マークが出る
 - リモコンの到達距離が短くなったり、リモコンでビデオを操作できない
 - 表示窓の時計表示が“— : —”になった
 - 表示が薄くなったり、異常な表示が出る
 - 時計が動かない
 - 表示がすべて消えた
 \times マークについて
乾電池の特質上、一度点灯してもまた消灯する場合があります。
- 乾電池を交換するとき
古い乾電池を取りはずし、電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。
その後、リモコンの時計を合わせ直してください。(リモコンの時計合わせは②ページ参照)

リモコンの使いかた(つづき)



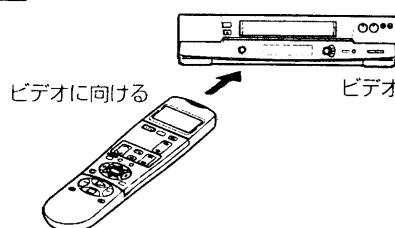
ビデオを操作する

1 リモコンの表示窓に「ビデオ1」が出ていることを確かめる



「ビデオ2」や「ビデオ3」が出ているときは、リモコンのふたをあけてビデオ1/2/3ボタンを押してください。

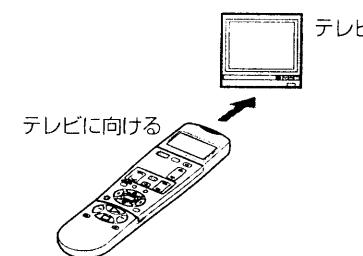
2 リモコンをビデオに向けて、ボタンを押す



ビデオとリモコンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓にビデオのリモコンコードが数秒間点滅します。このときは、ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-1」を出してください(75ページ参照)。

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す



- テレビ専用ボタン
- ・テレビ電源ボタン
- ・入力切換ボタン
- ・チャンネルボタン
- ・音量ボタン

お知らせ

- 工場出荷時は、リモコンの表示窓に「ビデオ1」が表示されているときビデオの操作ができるよう、設定しています。設定を変えて使うには、75ページをご覧ください。

テープを入れる・取り出す

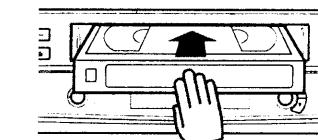
電源コードをコンセントにつないでなければ、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。



ビデオテープ挿入口から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

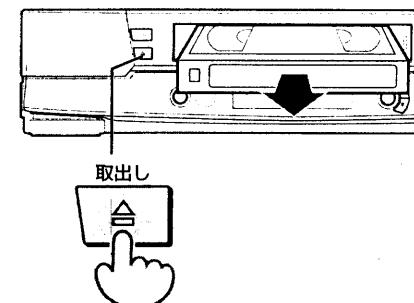
テープの中央部を押しながら入れる



- 電源が自動的に入ります。
- ビデオの表示窓に「R」が点灯し、経過時間表示になります。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。

取り出しかた

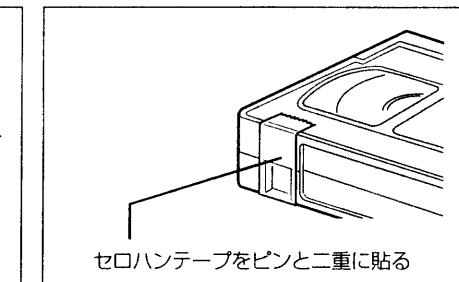
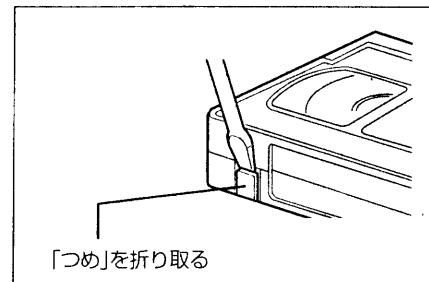
テープが止まっているとき、取出しボタンを押す



電源を入れなくてもテープを取り出せます。

テープの「つめ」について(誤消去防止)

■ 録画を誤って消さないために



■ ふたたび録画するとき

お知らせ

テープを入れると
● ビデオの表示窓が自動的に経過時間表示になります。時計や残り時間表示にするには、画面表示ボタンを押します(59ページ参照)。

テープを取り出すと
● ビデオの表示窓が自動的に時計表示になります。

テープの種類と録画時間
● 録画モードを「標準」にすると、テープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	モード	録画時間
T-210	標準	3時間30分
	3倍	10時間30分
T-180	標準	3時間
	3倍	9時間
T-160	標準	2時間40分
	3倍	8時間
T-140	標準	2時間20分
	3倍	7時間
T-120	標準	2時間
	3倍	6時間
T-90	標準	1時間30分
	3倍	4時間30分
T-60	標準	1時間
	3倍	3時間
T-30	標準	30分
	3倍	1時間30分

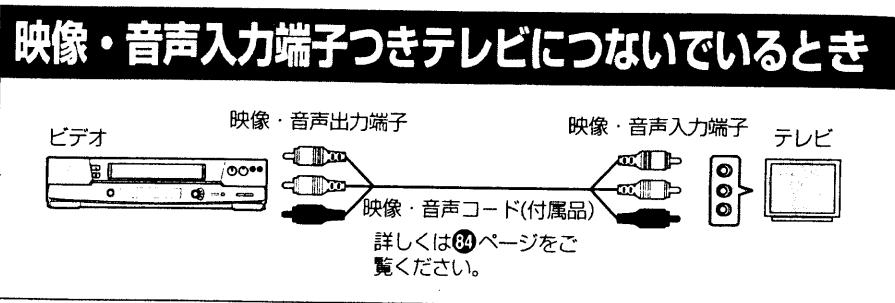
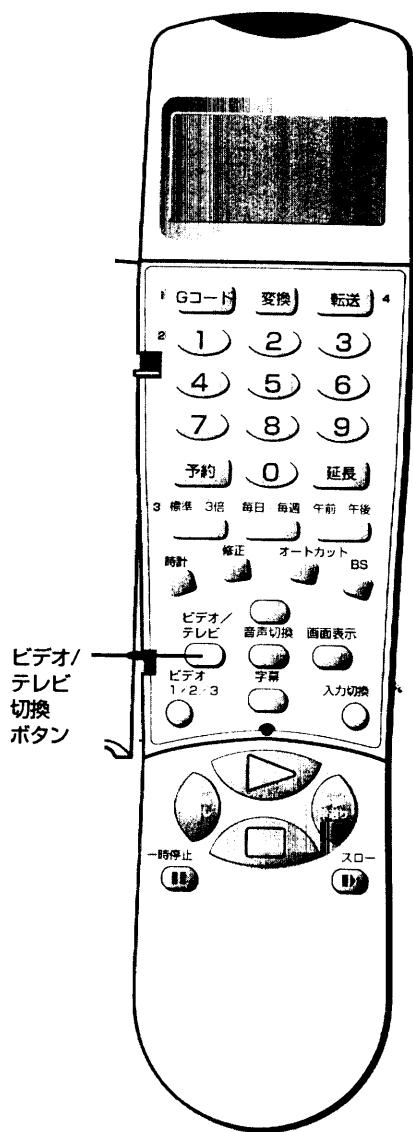
上記には、当社で販売していないテープも含まれています。詳しくは、「別売品のご紹介」(108ページ)を参照してください。

つめの折れたテープが入っているとき

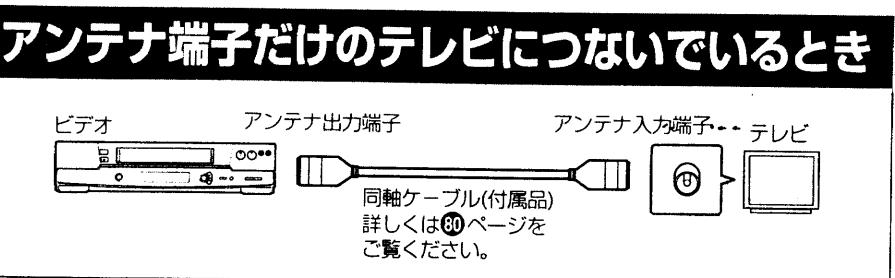
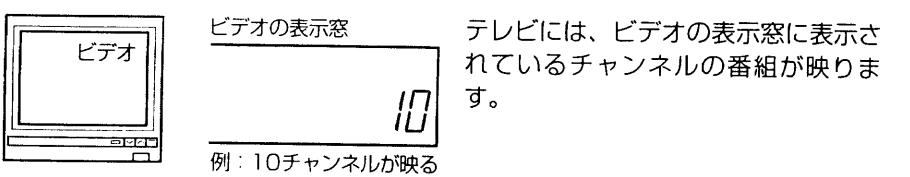
● 「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

ビデオの画をテレビに映す

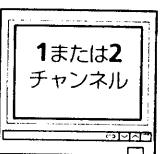
ビデオテープの再生画や録画中の番組をテレビで見るには、テレビの準備が必要です。テレビとビデオの接続を確かめてから、次のように設定してください。



テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

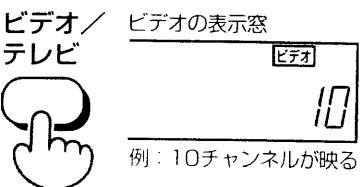


**1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャ
ンネル(1または2)に合わせる**



83ページで選んだビデオ専用チャ
ンネルに合わせてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す



- ビデオの表示窓に「ビデオ」を出します。
- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。



操作編

見る
いろいろな再生

録
いろいろな録画

タイマー
録画

便利な使いかた





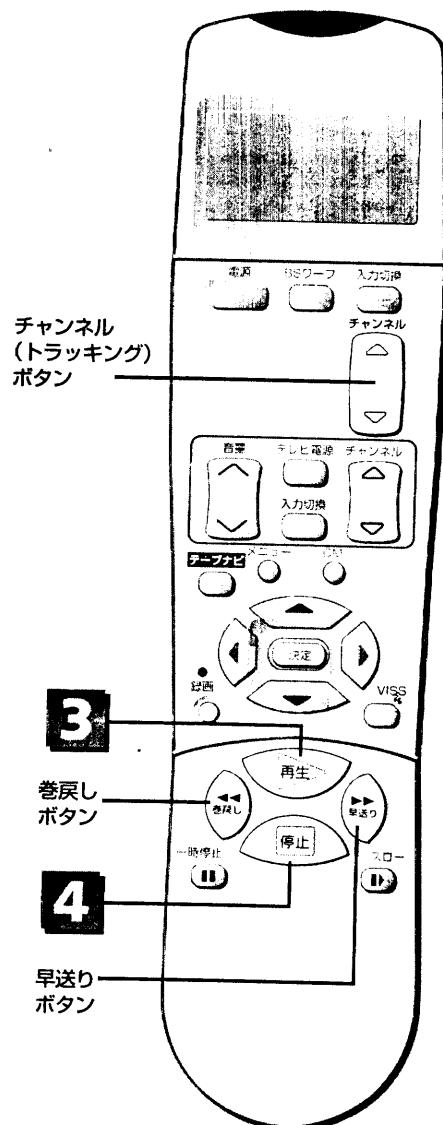
テープを見る(再生)



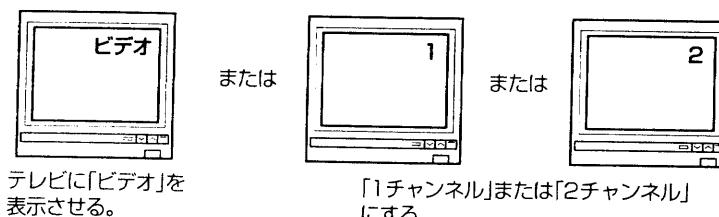
テープに録画した番組をテレビで見ることを、「再生」といいます。

重要

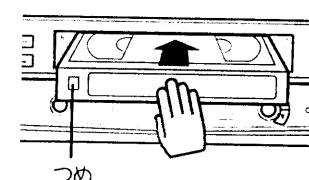
冬など寒い時期は、テープを十分に部屋の温度になじませてから再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。



1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換、またはチャンネルを選ぶ



2 録画したテープを入れる



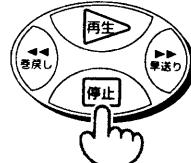
- ・自動的に電源が入ります。
- ・レンタルテープなど、「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間出ます。

3 再生ボタンを押す



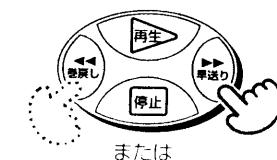
再生が始まります。

4 再生をやめるときは、停止ボタンを押す。



テープを早送り、または巻戻したいとき

停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す。



- ・テープによっては、再生を始めてオートトラッキングが働いたとき、一時的に画像や音声の質が悪くなる(ノイズが入る)ことがあります。オートトラッキング調節が終わるときれいになります。
- ・高速の早送りまたは巻戻しのときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときはふつうの早送り／巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。

きれいな再生画にする(トラッキング調節)

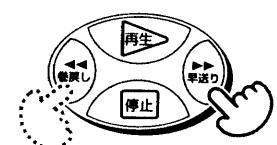
再生中に、チャンネル(トラッキング)ボタンを押す



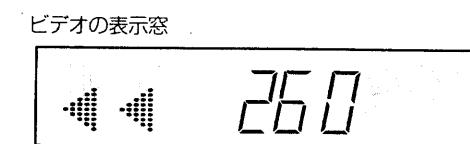
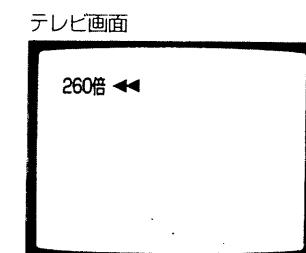
- ・オートトラッキングがうまく働かないときに調節してください。
- ・チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、もっとも画像がきれいになるところに調節してください。
- ・ビデオのチャンネル(トラッキング)ボタンでも調節できます。

テープを高速(260倍速)で送る

早送りまたは巻戻しボタンを押したあと、もう1回早送りまたは巻戻しボタンを押す



高速の早送りまたは巻戻し中、早送りまたは巻戻しボタンを押すと、ふつうの早送り／巻戻しの速さに戻ります。



お知らせ

オートトラッキングについて

- ・再生を始ると、オートトラッキングが動いて、画面がきれいになるように自動的に調節します。

- ・再生中にリモコンの再生ボタンを押しても、オートトラッキングが働きます。
- ・次のようなテープでは、オートトラッキングが正常に働かないことがあります。

- 傷がついたテープ
- 録画状態の悪いテープ
- 本機以外で録画したテープ

オート機能について

- ・テープを最後まで再生するとテープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリワインド)

- ・テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)

音声について

- ・二重音声番組やステレオ番組を再生するときは、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(34ページ参照)。

簡易再生(SQPB*)について

- ・本機はS-VHS方式で録画したテープを簡易的に再生できます。

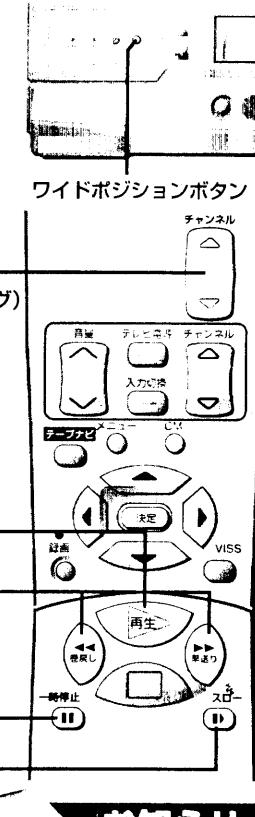
* SQPBは、S-VHS Quasi Play back(S-VHS簡易再生)の略です。

見る

いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。

- 静止画、サーチ、CMとばしワザ、スロー再生中は音声が出ません。
- スロー再生や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。また、静止画、サーチ、スロー再生の切り換わる部分では、画像に乱れやノイズが出たまま消えないことがあります、故障ではありません。
- スロー再生中、テープの録画モード(標準／3倍)が切り換わるところでは、一時的に画像が乱れます。
- S-VHS方式で録画したテープは、静止画、サーチ、スロー再生中はノイズや乱れが出ることがあります、故障ではありません。



お知らせ

静止画が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするよう調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては、揺れを抑えられないことがあります。

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは

- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。スロー再生時のノイズを少くすると静止画再生時のノイズも少くなります。

ワイドポジションについて

- この機能は、通常の画面をワイド画面にする機能ではありません。

ある場面を止めて見る(静止画)

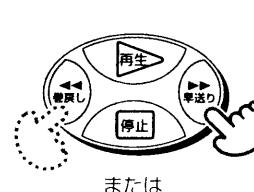
再生中に、一時停止ボタンを押す



- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)

再生中に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 見たい場面が出たら、再生ボタンを押します。
- サーチ再生中は、画面に数本のノイズが出ます。
- CMとばしワザを設定していると、CM部分の終わりで再生に戻ります(30ページ参照)。

ゆっくりした速さで見る(スロー)

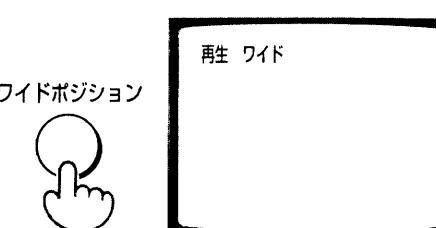
再生中に、スローボタンを押す



- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

映像をクリッキリさせる(ワイドポジション)

ビデオのふたをあけ、ワイドポジションボタンを押す



- ワイドポジションボタンを押すと、再生した画面の輪郭を強調します。
- ワイドポジションボタンをもう1回押すと、ワイドポジションは解除されます。テレビ画面に「ワイドオフ」と出て、ノイズを抑えた画質で再生します。
- 録画状態の悪いテープを再生する場合は、「ワイドオフ」をおすすめします。

CMをとばして見る(CMとばしワザ)

再生中、CM(コマーシャル)だけを早送り再生でとばして見るには、CMオートとステレオCMスキップの2つの方法があります。

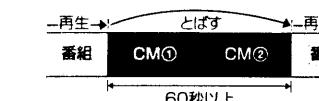
CMオートは番組とCMの切り換わ部分の画像と音声を認識することで動作させています。

衛星放送番組中のCMや、ライン入力につないだ機器から録画した番組中のCMは、CMオートやステレオCMスキップでとばすことができません。

CMオート

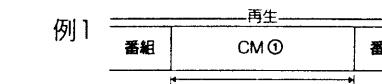
複数のCMが集まつた合計60秒以上の部分を「CM部分」と判断してとばします。ステレオ放送のCMもとばしますので、ステレオCMスキップではとばないCMをとばせます。ただし、このビデオでテープナビを「入」に設定して録画した番組だけに使えます。

■ CMオートで正しくとばされる例

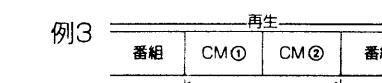


- CMが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

■ CMオートで正しくとばされない例



- 1本が60秒以上のCMはとばされません。(テレビショッピングなど)

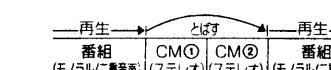


- 2本以上続いても60秒未満のCM部分はとばされません。

ステレオCMスキップ

ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。他の日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープでも使えますが、CMの前後の本番組がステレオ放送のときはCM部分がとばされません。

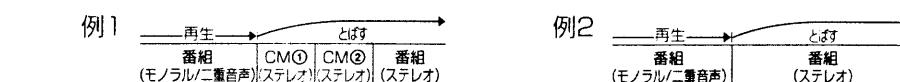
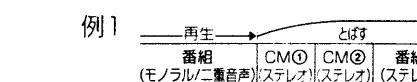
■ ステレオCMスキップで正しくとばされる例



■ ステレオCMスキップでとばされない例



■ ステレオCMスキップで正しくとばされない例



お知らせ

CMオートとステレオCMスキップの切り換えについて

- CMオートとステレオCMスキップは、ビデオのCMオートボタンを押して切り換えます。

- CMオートボタンが点灯しているとCMオートに、消灯しているとステレオCMスキップになります。

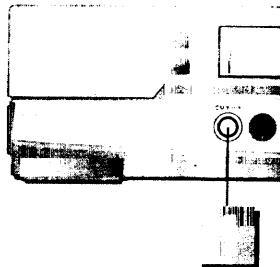
CMオートとステレオCMスキップの使い分けについて

CMのほとんどはステレオ放送のため、ステレオ放送の番組では「CMオート」、モノラルまたは二重音声放送の番組では「ステレオCMスキップ」をお使いいただくことで、より効果的にCMをとばすことができます。

CMをとばして見る(CMとばしワザ)(つづき)

重要

- ビデオのCMオートボタンはテープ停止中に押してください。テープが動いているときは操作できません。
- CMオートができるのは、このビデオでテープナビを「入」にして録画した番組だけです。録画前にテープナビが「入」に設定されていることを確認してください(67ページ参照)。再生時にビデオのテープナビボタンが点灯していることを確認してください。
- テープナビでテープデータの登録内容を取り消したテープは、CMオートが使えません(69ページ参照)。
- 他のビデオで録画したテープを再生すると、CMオートボタンが自動的に消灯します。

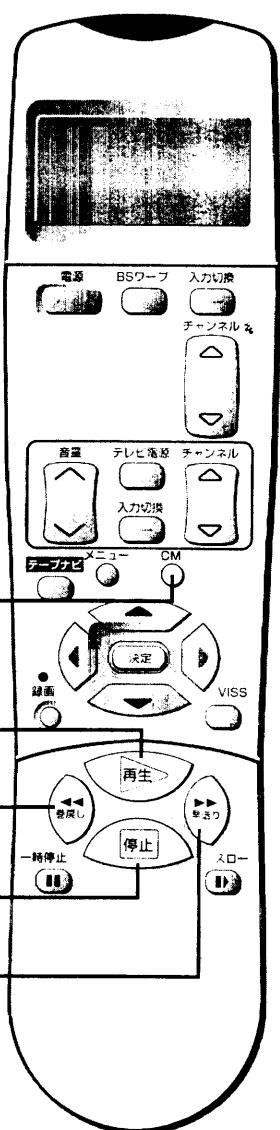


CMオートを使う

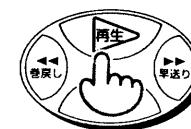
1 停止状態のとき、ビデオのCMオートボタンを押して点灯させる



- 出荷時はボタンが点灯しています。

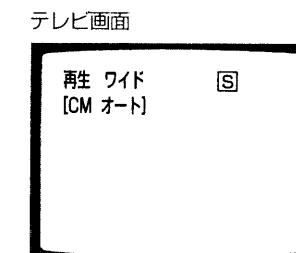


2 再生ボタンを押す



- 再生が始まります。
- このビデオ以外で録画したテープを再生すると、CMオートボタンが消え、CMオートが使えません。

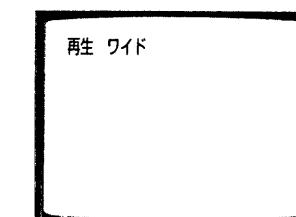
3 リモコンのCMボタンを押す



- テレビ画面に数秒間[CMオート]が出ます。
- CMが始まると、スキップ(早送り再生)され、そのCM部分が終わると再生に戻ります。
- CMスキップ中、ビデオのCMオートボタンが点滅します。
- 「ワイド」表示については28ページを参照してください。

CMオートを解除するには

再生中にリモコンのCMボタンを押して、[CMオート]を消します。
また、再生中に停止ボタンを押してテープを止めても、CMオートは解除されます。



次のCMの終わりまでとばすには

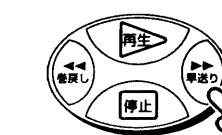
番組の途中から次のCM部分の終わりまで、またCMの途中からそのCM部分の終わりまでをとばすことができます。

1 再生中にリモコンのCMボタンを押して[CMオート]を表示する



2 早送りボタンを押す

早送り再生が始まります。
CM部分の終わりまでとばすと再生に戻ります。

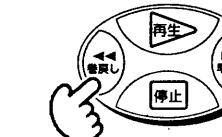


とばした部分を見たいときは

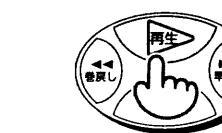
CMオートを解除しなくとも、とばした部分に戻って再生できます。

1 卷戻しボタンを押す

巻戻し再生でとばした部分の頭まで巻戻します。



2 再生ボタンを押す



お知らせ

CMオートとは

テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数のCMが続きます。

このビデオは、録画するときに番組とCMの切り換わる点を検出し、再生時にCM部分をとばします。

CMオートは、CMが2本以上連続し、その合計が60秒以上のところをCM部分と判断してとばします。

● 録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。

● 番組によっては、CMオートが正しく動作しないことがあります。

● CMによっては、CMの途中からとばしたり、CMの途中で再生に戻ることがあります。

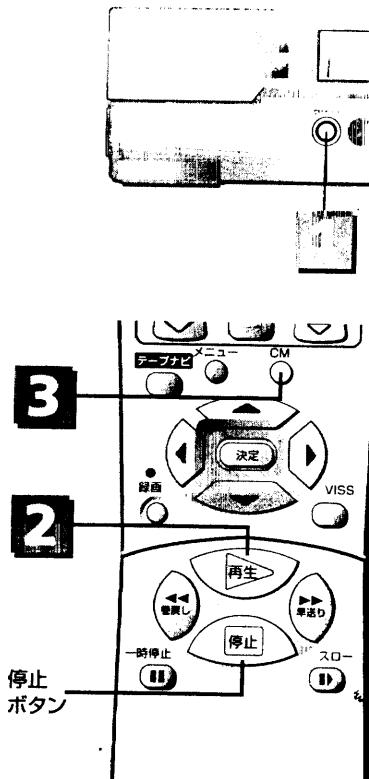
● 番組予告がとばされることがあります。

● 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。

● 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、CMオートは正しく動作しません。



- ビデオのCMオートボタンはテープ停止中に押してください。テープが動いているときは操作できません。
- ステレオCMスキップができるのは、このビデオや日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープだけです。



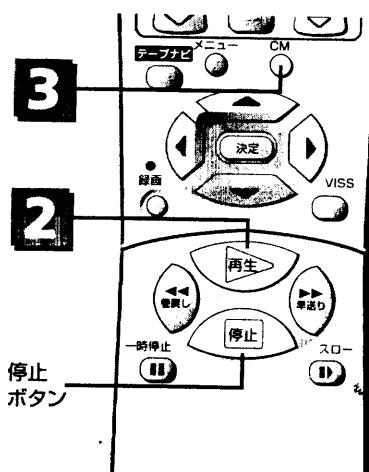
ステレオCMスキップを使う

1 停止状態のとき、ビデオのCMオートボタンを押して消す

CMオート



- 出荷時はボタンが点灯しています。

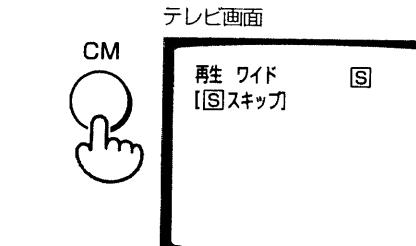


2 再生ボタンを押す



- 再生が始まります。
- このビデオ以外で録画したテープを入れて再生すると、CMオートボタンは消えます。

3 リモコンのCMボタンを押す



- テレビ画面に数秒間[S]スキップが出ます。
- CMが始まると、スキップ(早送り再生)され、そのCM部分が終わると再生に戻ります。
- 「ワイド」表示については20ページを参照してください。

お知らせ

ステレオCMスキップとは

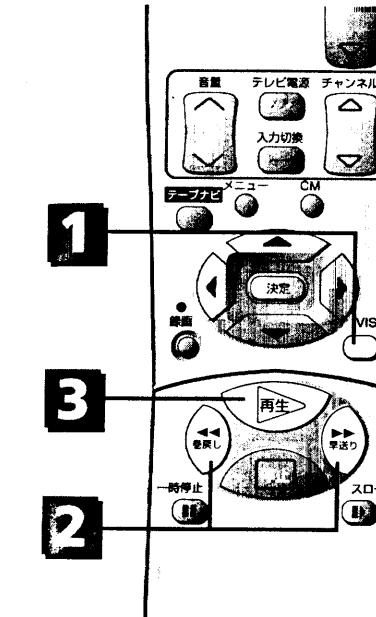
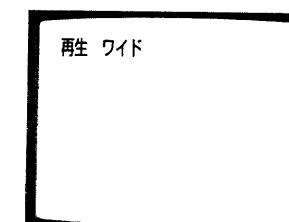
ステレオ放送とモノラル/二重音声放送の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみをとばします。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、とばすことができます。

ステレオ放送の番組や、モノラルまたは二重音声放送のCMをスキップすることはできません。

●ステレオCMスキップができるテープは、日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープです。

ステレオCMスキップを解除するには

再生中にリモコンのCMボタンを押して、[S]スキップを消します。
また、再生中に停止ボタンを押してテープを止めても、ステレオCMスキップは解除されます。

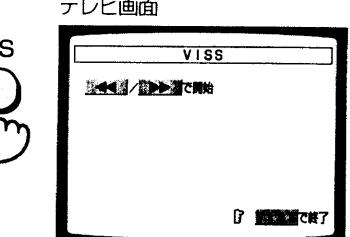
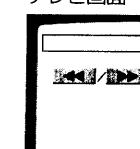


録画した番組の頭出しをする(VISSL)

テープに記録されている頭出し信号(VISSL信号)を使って、見たい番組の頭出しができます。

1 停止状態のとき、VISSLボタンを押す

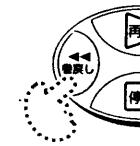
VISSL



VISSL画面

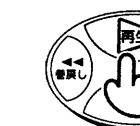


2 1の画面が出ている間に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 番組の頭(VISSL信号の部分)まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間再生します。
- 番組ごとに、早送り(または巻戻し)と15秒間の再生を繰り返します。

3 見たい番組になったら、再生ボタンを押す



再生になります。

お知らせ

VISSL(頭出し)信号について

- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISSL信号を記録します。
- VISSL信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

次のような場合、VISSL信号が検知されず、頭出しができないことがあります。

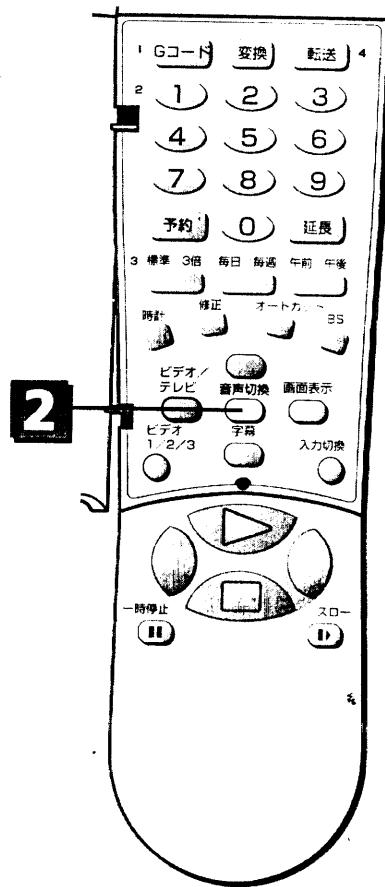
- 録画時間が10分以内の番組
- VISSL信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISSL機能のないビデオで録画したテープ

※VISSLはVHS Index Search Systemの略です。

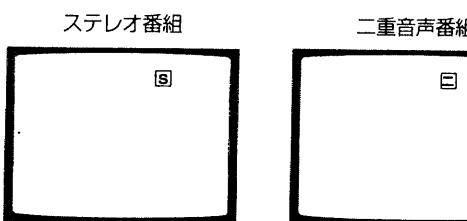


二重音声やステレオ音声を選ぶ

二重音声やステレオ音声のテレビ番組を見ているときや、テープを再生しているとき、好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。



1 テープを再生する、またはテレビ番組を見る



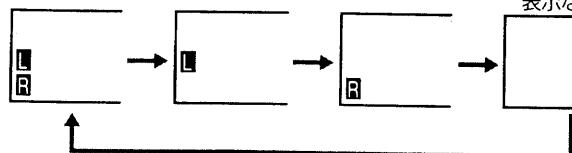
テレビ画面に音声表示がしばらく出ます。

2 音声切換ボタンを押して、聞きたい音声を選ぶ



- ボタンを押すたびにビデオの表示窓のLRの表示が下図のように変わります。聞きたい音声の表示を選んでください。
- 「表示なし」以外はHi-Fiサウンドです。

表示なし



お知らせ

再生オートについて

- 一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声が聞こえます。日立製の再生オート機能付きビデオで録画したテープを再生すると機能します。

映像・音声入力端子のないテレビとつないでいるとき

- LまたはRを選んでください。LRを出すと左右の音声が混じって聞こえます。

聞きたい音声		表示
ステレオ番組	二重音声番組	
ステレオ	主音声と副音声	LR
左の音声(Lチャンネル)	主音声だけ	L
右の音声(Rチャンネル)	副音声だけ	R
モノラル(ノーマルサウンド)	主音声だけ(ノーマルサウンド)	なし



英語の字幕を見る

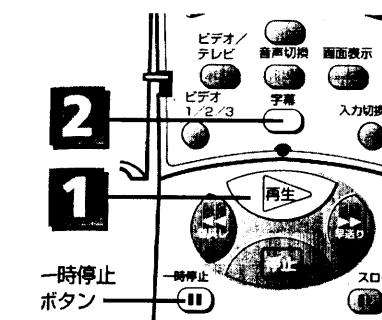
クローズド キャプション Closed Caption

クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。

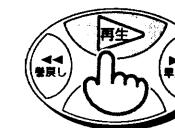


字幕を表示できるのは、□ *またはCCマークの付いたクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。

* □はナショナル・キャプショニング・インスティチュート・インク社のサービスマークおよび商標です。



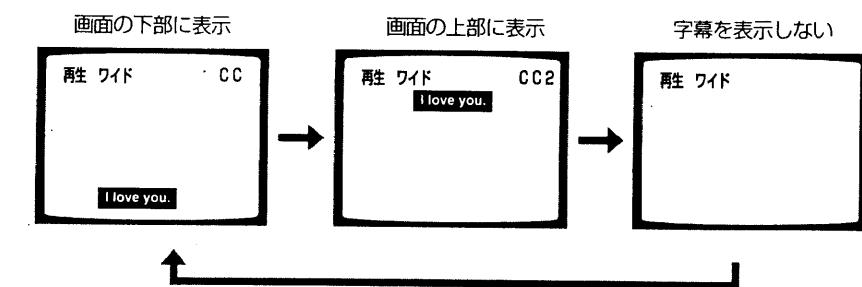
1 クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する



2 字幕ボタンを押す



ボタンを押すたびに、下のように字幕表示が切り換わります。



字幕を止めて見ると



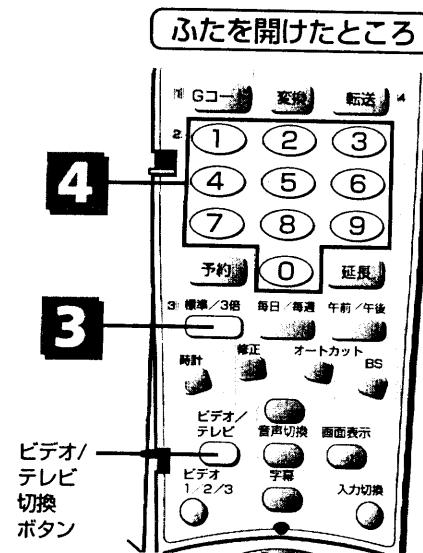
一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

テレビ番組を録画する

テレビで見ている番組をテープに録画します。

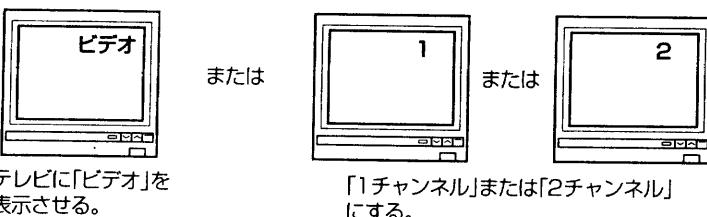
重要

テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが数秒間点滅してから点灯します。
点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。



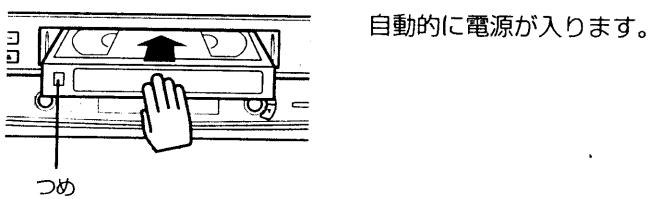
ふたを開けたところ

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換、またはチャンネルを選ぶ



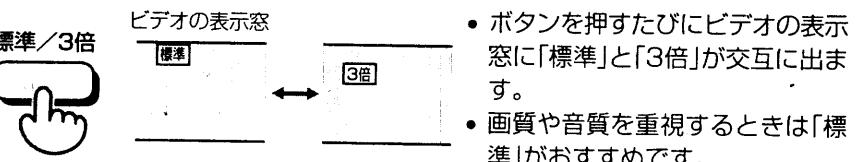
テレビに「ビデオ」を表示させる。
「1チャンネル」または「2チャンネル」にする。

2 「つめ」の折れないテープを入れる



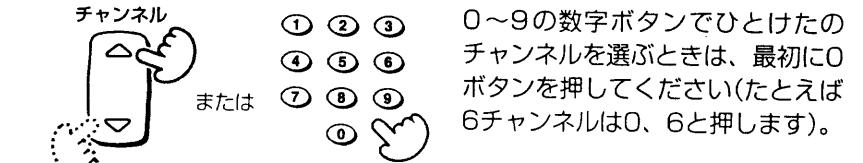
自動的に電源が入ります。

3 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

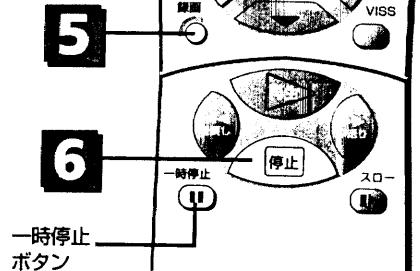


- ボタンを押すたびにビデオの表示窓に「標準」と「3倍」が交互に出ます。
- 画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

4 録画したいチャンネルを選ぶ

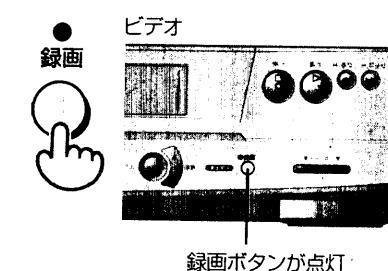


0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。



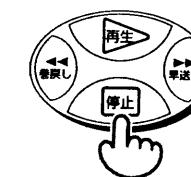
36

5 録画ボタンを押す



- ビデオの録画ボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、ビデオの表示窓に「Tab」が数秒間点滅し、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

6 録画をやめるときは、停止ボタンを押す



録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

録画中に不要な場面を飛ばすには

1 録画中に一時停止ボタンを押す

テープ走行が一時止まります。



2 録画したい場面になったら、もう1回一時停止ボタンを押す

録画が再開します。



録画中に別の番組に切り換えるには

1 録画中に一時停止ボタンを押す

テープ走行が一時止まります。

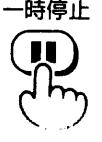


2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ



3 一時停止ボタンをもう1回押す

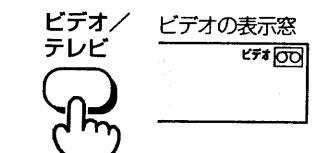
録画が再開します。



お知らせ

テレビでビデオチャンネル1または2を選んでいるとき

- 録画したいチャンネルがテレビに出ないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。



オート機能について

- テープの最後まで録画すると、自動的に巻戻されます(オートリワインド)。
- 録画一時停止を約5分間続けると、テープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

音声について

- ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語など)が自動的に録音されます。

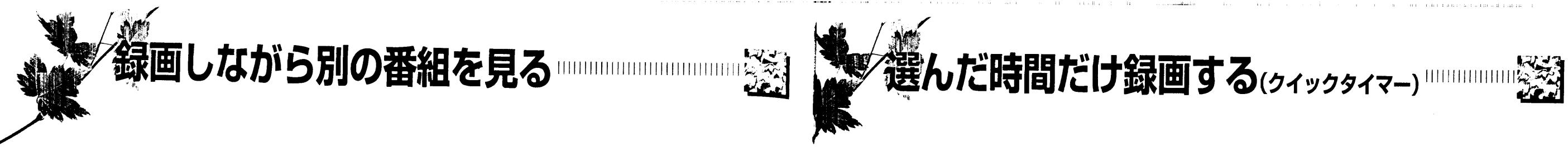
- 録画中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(40ページ参照)。

オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(40ページ参照)。

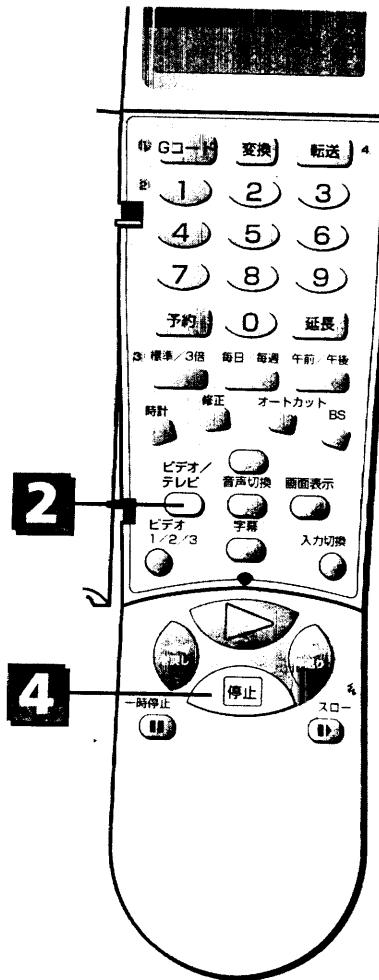
録
る

37



録画しながら別の番組を見る

選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー)



1 録画を始める

⑥、⑦ページの①～⑤の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消す



ビデオのチャンネル切換ボタンを押して「RF-OFF」を選んだときは、この操作が不要です(⑥ページ参照)。

3 テレビの入力切換を「テレビ」にして、見たいチャンネルを選ぶ



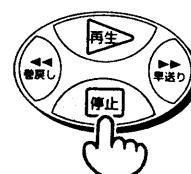
テレビのチャンネルボタンで選んだ番組が画面に出ます。ビデオで録画しているチャンネルは、そのまま録画されます。

お知らせ

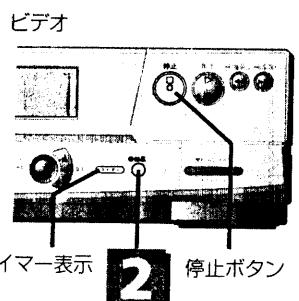
テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶとき

- ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消すと、ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶことができます。

4 録画をやめるときは、停止ボタンを押す



録画した内容を見るには、巻戻しボタンを押してテープを巻戻し、テレビの入力切換を「ビデオ」(またはビデオチャンネル1または2)にしてから再生ボタンを押してください。



1 タイマー表示
2 停止ボタン

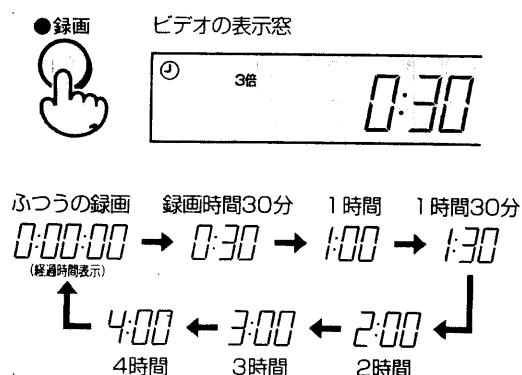
お知らせ

- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に録画の残り時間が表示されます。
- クイックタイマー録画中にビデオの録画ボタンを押すと、録画時間を変更することができます。

1 録画を始める

⑥、⑦ページの①～⑤の操作をして録画を始めてください。

2 ビデオの録画ボタンを押して、録画したい時間を合わせる



- ボタンを押すたびに、表示窓の録画時間が変わります。
- ビデオ前面の(④)表示と表示窓の(④)(タイマー録画表示)が点灯します。
- 合わせた時間だけ録画したあと、電源が切れます。

途中で録画をやめるには

停止ボタンを押す



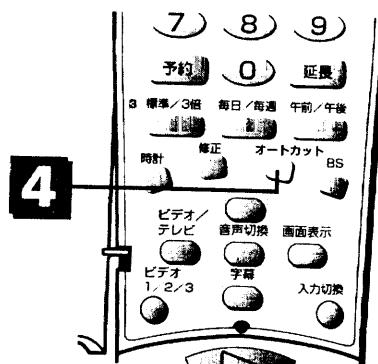
録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

CMをカットしながら録画する(オートカット)(つづき)

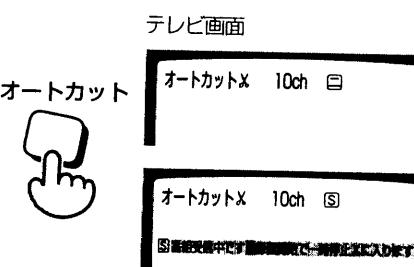
重要

- ・オートカット機能でCMをカットした部分には、わずかにCMが録画されることがあります。
- ・CMカット「一時停止」との状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、録画を再開した部分の画が少し乱れことがあります。

ふたを開けたところ

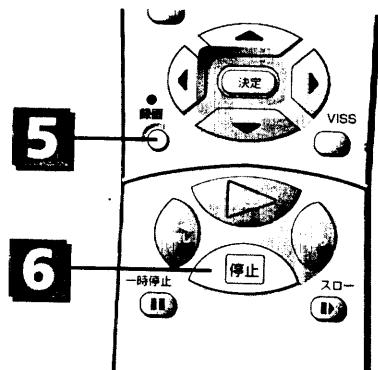


4 オートカットボタンを押して「オートカット×」を出す

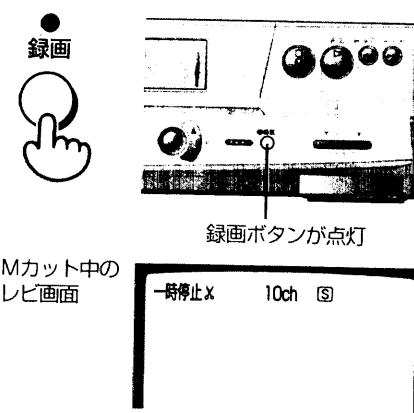


ステレオ番組を見ているときは左の表示が出て、オートカット機能が使えないことを知らせます。

ふた閉じたところ



5 「オートカット×」表示中(8秒以内)に録画ボタンを押す



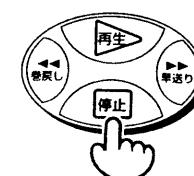
- ・ビデオの録画ボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- ・「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ・ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。
- ・ステレオ放送のCMをカットしているとき、「一時停止×」が出ます。

お知らせ

オートカット機能を解除するとき

- 停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
- CMカット中に「一時停止×」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す



- ・録画が終了すると、オートカット機能は解除されます。
- ・別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するときは、41、42ページの3～5を行ってください。

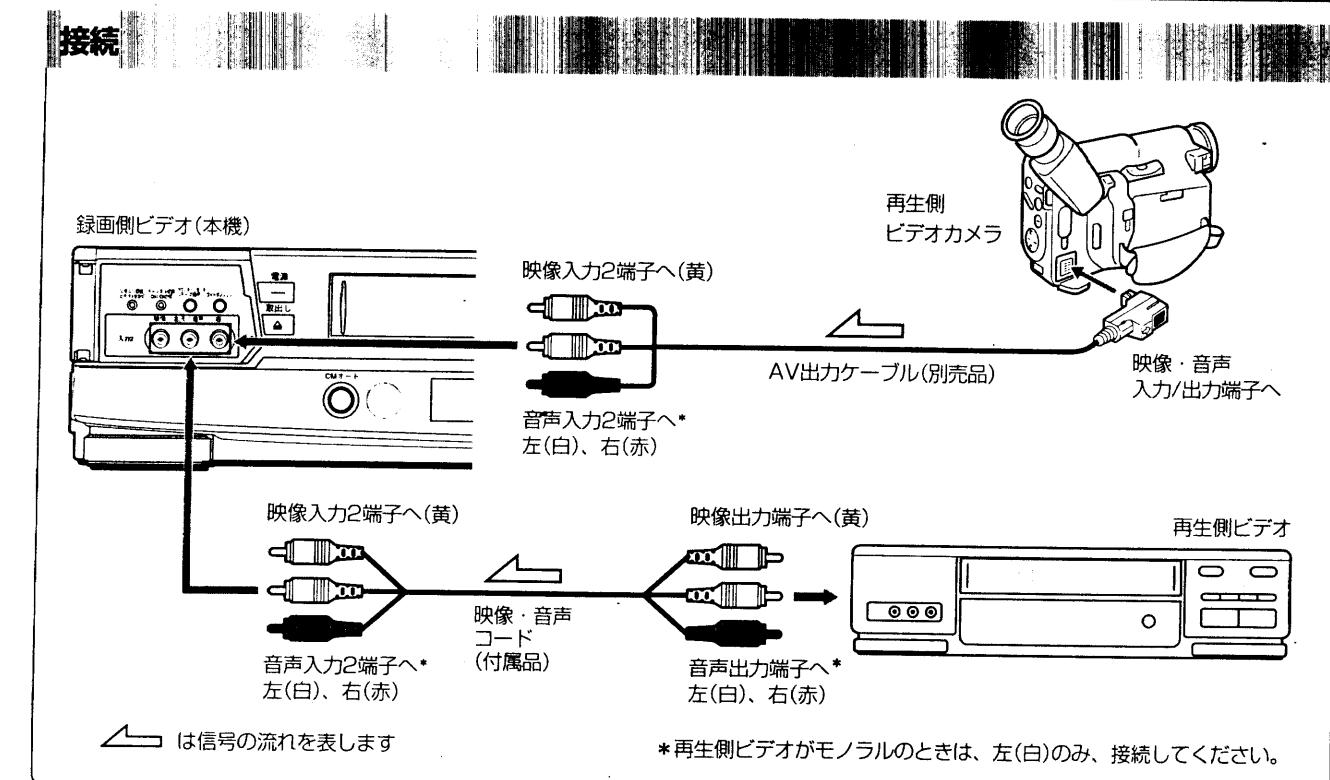
ダビングする

テープの映像と音声を別のテープにダビングできます。

重要

- ・再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。消してないと、画面表示まで録画されます。
- ・外部入力「L1」、「L2」を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても「L1」、「L2」を表示できません。88ページの「チャンネルを飛ばす/元に戻す」をご覧になって「L1」、「L2」を元に戻してください。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする



お知らせ

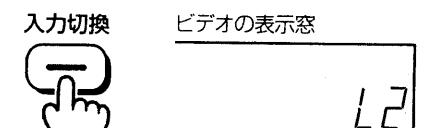
- 画質を重視するときは、本機の録画モードを「標準」にすることをおすすめします。

- 本機にテレビをつなぐと、ダビングの画像を確かめることができます。
- 再生側ビデオは本機の後面の入力端子につなぐことができます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ダビングする

1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる



ボタンを押すごとにチャンネル番号
→L1→L2→チャンネル番号と切り
換わります。

2 (再生側で)再生を始める

3 (本機で)録画ボタンを押す

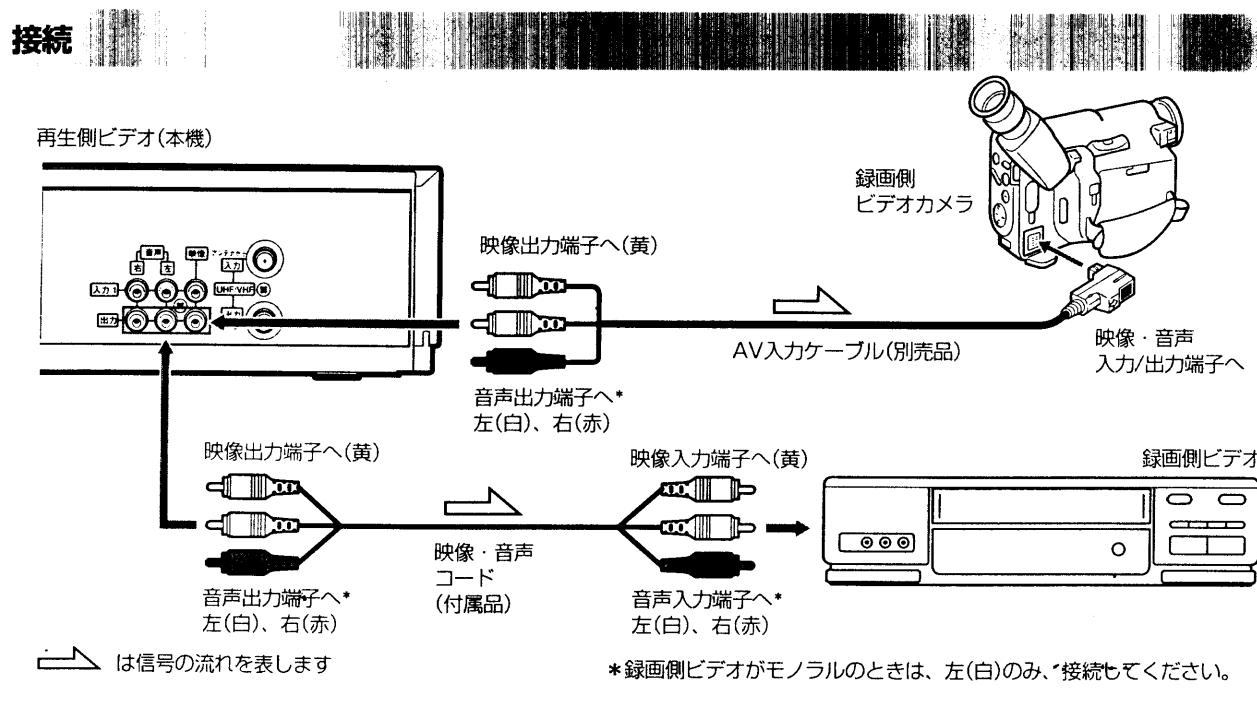


ダビングする(つづき)

ステレオから音声を録音する(オーディオ録音)

ビデオをステレオのテープデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする



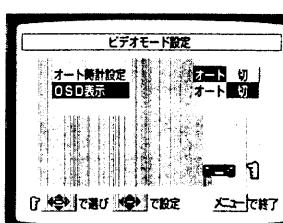
お知らせ

- 画質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードを「標準」にすることをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビをつなぐと、ダビングの画像を確かめることができます。
- 本機で記録したテープを他のビデオでダビングすると、テープナビのデータも同時に記録されます。このため、これらのテープでテープナビ操作をすると、記録されている内容とテープナビ画面の表示が一致しないことがあります。

ダビングする

1 (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ

2 (本機で)OSD表示モードを[切]にする



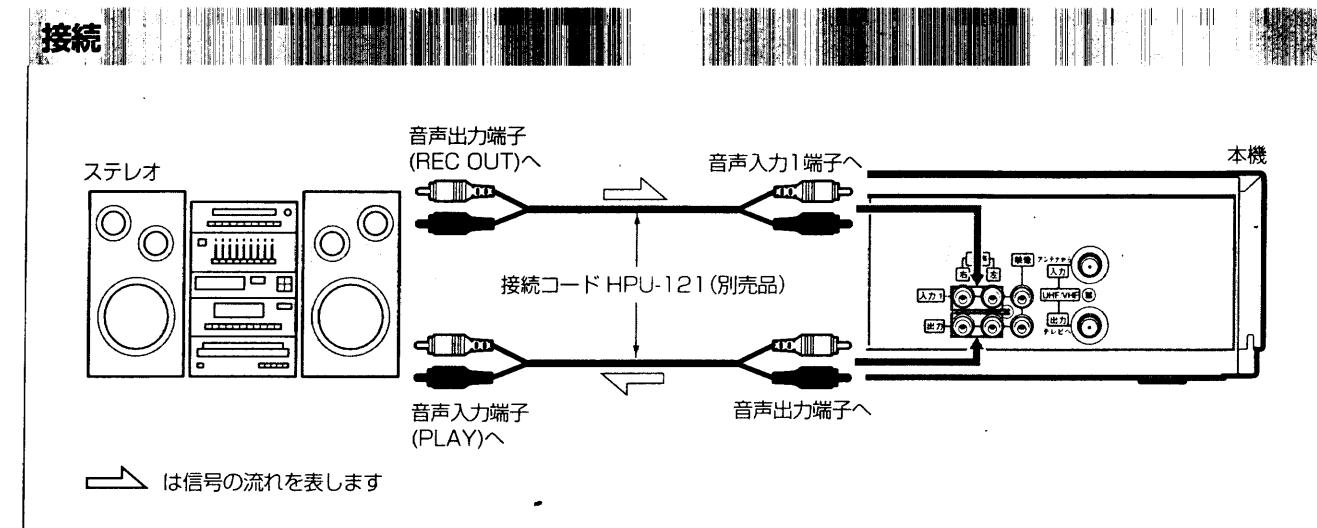
設定のしかたは、61ページ「ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)」をご覧ください。

3 (本機で)再生ボタンを押す



4 (録画側で)録画を始める

接続



お知らせ

録音した音声を聞くとき

- ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
- リモコンの音声切換ボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます(34ページ参照)。
- 音声だけを録音するときは、テープナビ機能は働きません。

オーディオ録音する

1 (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる

ビデオの表示窓



ボタンを押すごとにチャンネル番号
→L1→L2→チャンネル番号と切り
換えます。

2 (本機で)録画ボタンを押す



録音が始まります。
Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの
両方が録音されます。

タイマー録画予約の前に

Gコード予約する

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。

8番組まで予約することができます。毎日のドラマや、毎週1回の映画も予約することができます。

お知らせ

- 付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

本機でできるタイマー録画予約の方法

次の2通りの方法で予約できます。

Gコード予約する (47ページ)

新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード予約番号をリモコンに入力するだけで、簡単に予約ができます。

リモコン予約する (52ページ)

開始時刻や終了時刻、チャンネル、日付をリモコンの表示窓で合わせて予約する方法です。Gコード予約番号がわからない場合などご利用ください。

Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコード予約番号、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコードの掲載例

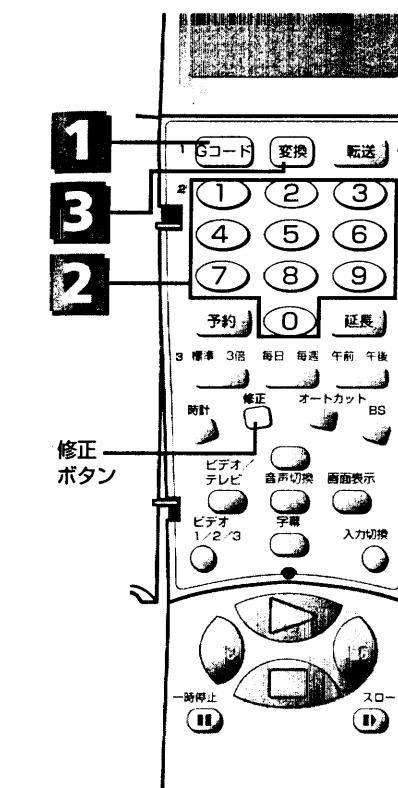
4	00 仕事のサスペンス 「乱心」 <small>再</small> 458182
55	楽しいクッキング 83521
00	ぼくの旅日記 <small>再</small> サン ゴの海から(前) 347
30	鉄腕アトム <small>再</small>
	80057
6	00 イブニングニュース 円高への軌跡 世界の街から「パリ」 明日をになう人々 <small>再</small> 2434

Gコード予約番号
80057

現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

重要

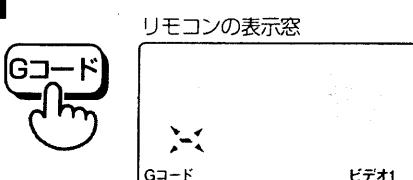
- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください。(時計の合わせかたは④ページ参照)
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。Gコードボタンを押してやり直してください。



Gコード予約する

ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

1 Gコードボタンを押す

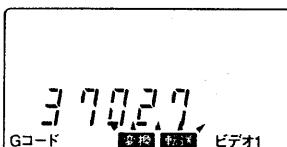


リモコンの表示窓 表示窓で「1」が点滅します。

2 Gコード予約番号を入力する

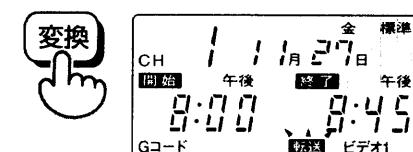
例えば、Gコード予約番号「37027」を入力します

③ ⑦ ① ② ⑦



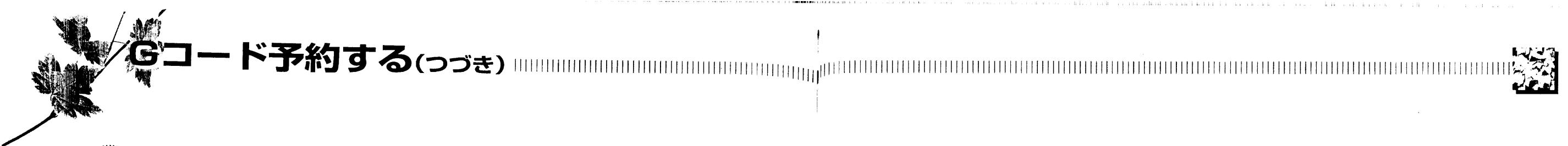
数字を間違えたときは、修正ボタンを繰り返し押して、間違えたところまで数字を消して、入れ直してください。

3 変換ボタンを押す



- リモコンの表示窓に予約内容が表示されます。
- 「Error」が出たら、テレビ欄などのGコードをもう一度確かめて、やり直してください。

(つづく)

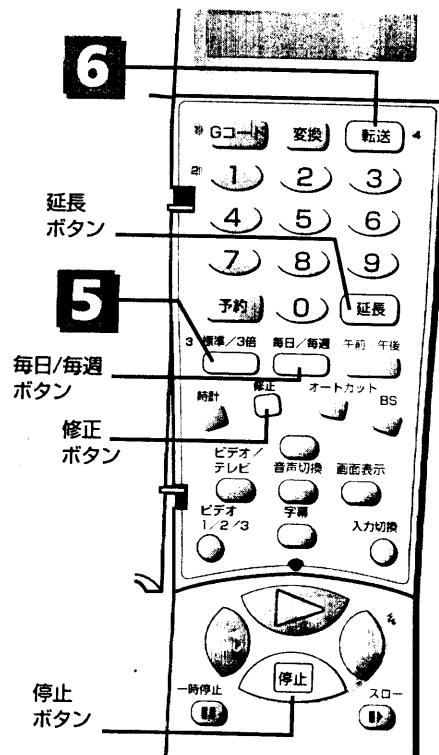


Gコード予約する(つづき)

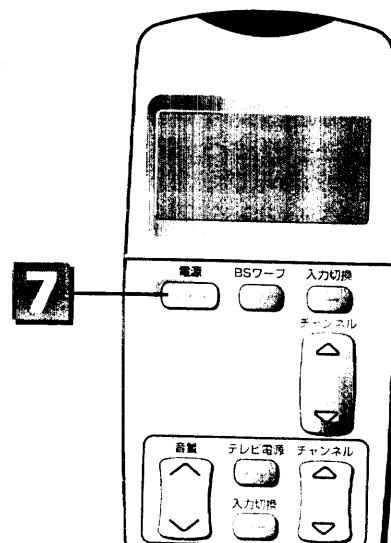


タイマー録画の開始時刻になつてもビデオの電源が入つてゐると、
タイマー録画されません。電源を切つてください。

ふたを開けたところ



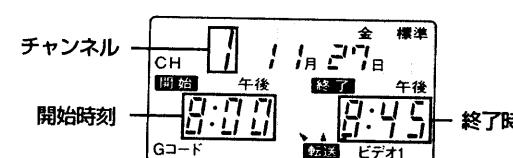
ふたを閉じたところ



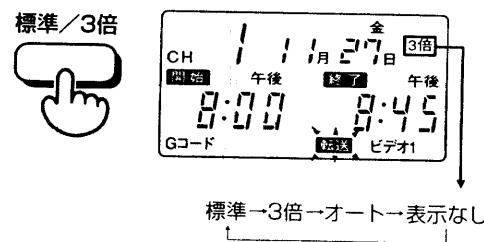
4 表示窓の予約内容を確認する

次のようなときは④、⑤ページを見て、予約内容を修正してしてください。

- ・録画したいチャンネル、開始時間、終了時刻が違つてゐるとき
⇒⑤ページ
- ・終了時刻を延長したいとき⇒④ページ
- ・毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき⇒④ページ

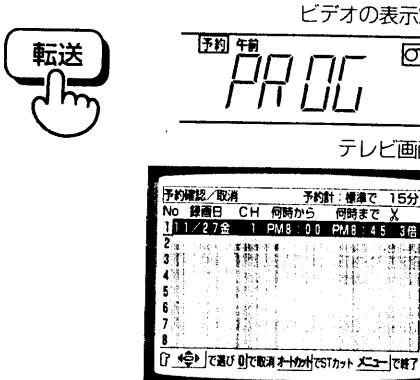


5 録画モードを合わせる



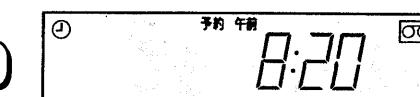
- ・ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- ・「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(⑦ページ「録画モードをオートに合わせたとき」参照)。
- ・「表示なし」にすると、ビデオの表示窓に出てゐる録画モードで録画されます。

6 転送ボタンを押す



- ・ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- ・テレビ画面に予約内容が出ます。
- ・続けて別の番組を予約するときは、①～⑥を繰り返してください。

7 ビデオの電源を切る

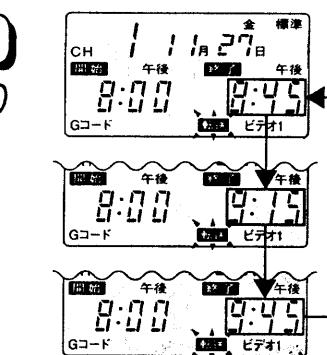


- ・ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- ・テープが入っていないと、「タイマー」とのが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

終了時刻を延長するには

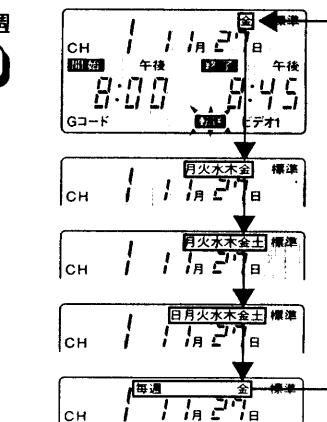
④ページの手順③のあとで、延長ボタンを押して希望の終了時刻を選ぶ



- ・ボタンを押すたびに、終了時刻が30分、60分と延長されます。
- ・希望の終了時刻を選んだら、④ページの⑤へ進んでください。

毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

④ページの手順③のあとで、毎日／毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



- ・ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- ・希望の曜日を選んだら、④ページの⑤へ進んでください。
- ・曜日表示の見かた
 - 金……この日だけの1回録画
 - 月～金…月曜日から金曜日
 - 月～土…月曜日から土曜日
 - 日～土…日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
 - 毎週金…毎週同じ曜日のこの時間に録画

お知らせ

タイマー録画予約したあと、
ビデオを使いたいとき

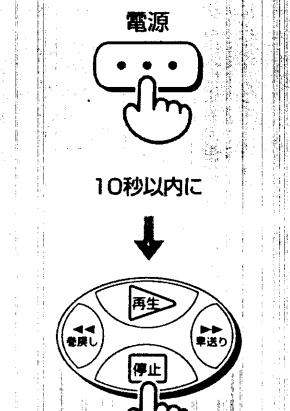
- ・ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わつたあとにはビデオの電源を切つてください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ・ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切つてください。

タイマー録画を途中でやめるとき

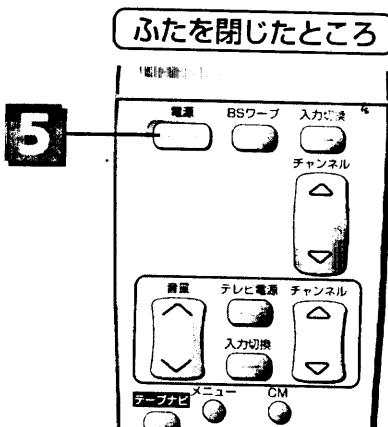
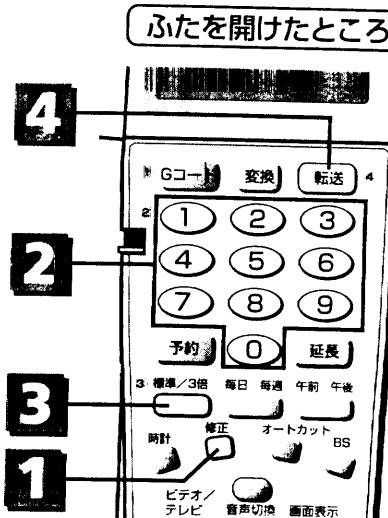
- ・電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



オートカット機能について

- ・CMをカットしながら番組を録画することができます(⑩ページ参照)。

Gコード予約する(つづき)



お知らせ

- 「0」で始まるGコード予約番号(Gコード・インフォ)の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻や終了時刻は修正できません。

チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

Gコード予約番号を入力して変換ボタンを押したとき、リモコンの表示窓に出る予約内容のチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです(たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、1チャンネルが表示されたなど)。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコード予約番号が掲載されている場合があります(たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコード予約番号で掲載されることがあります)。

①②③④ ④ページの**4**で、26チャンネルを予約したはずなのに1チャンネルが表示されたとき(1チャンネルから26チャンネルに修正したい)

1 修正ボタンを繰り返し押して、修正する部分を点滅させる



開始時刻や終了時刻を修正したいときも、同様に修正する部分を点滅させます。

例: チャンネルの10桁の0を点滅させる

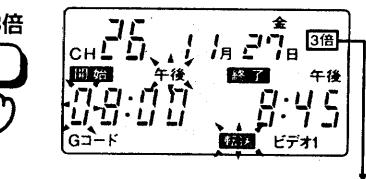
2 0~9ボタンを押してチャンネルを修正する



例: チャンネルを26に修正

- 修正したチャンネルはリモコンに記憶されます。予約のたびにチャンネルを合わせ直す必要はありません。
- 外部機器からタイマー録画するときは、入力切換ボタンを押して、チャンネル番号の代わりに「L1」または「L2」を出してください。

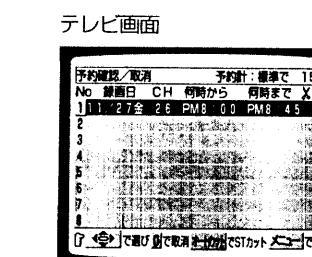
3 録画モードを合わせる



標準→3倍→オート→表示なし

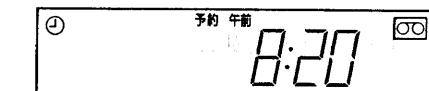
- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(詳しくは**57**ページ「録画モードをオートに合わせたとき」)。
- 「表示なし」にすると、ビデオの表示窓に出ている録画モードで録画されます。

4 転送ボタンを押す



- ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、**47**、**48**ページの**1**～**6**を繰り返してください。

5 ビデオの電源を切る



- ビデオ前面の(タイマー)表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- テープが入っていないと、(タイマー)と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

お知らせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

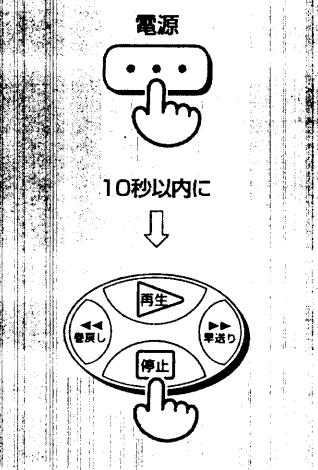
- ビデオの電源を入れると、再生や録画ができます。使い終わったらあとはビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてからもう一度電源を切ってください。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

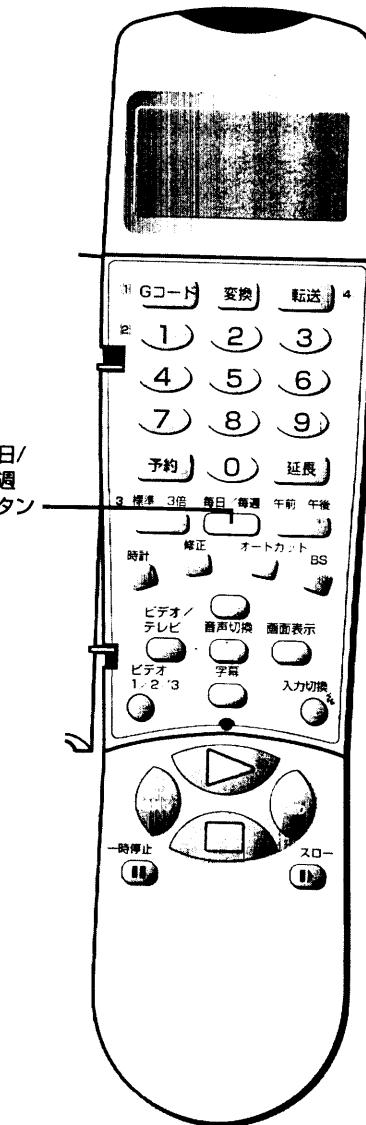


オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(**40**ページ参照)。

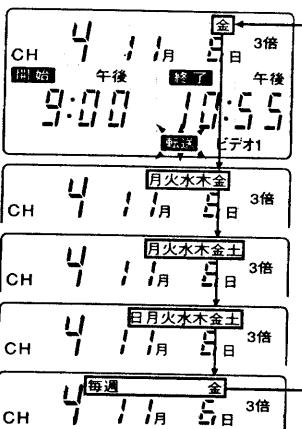
リモコン予約する(つづき)

予約の確認・取り消しをする



毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

52ページの手順③のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



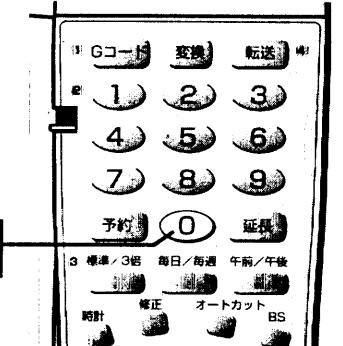
- ボタンを押すごとに左のように切り換わります。

- 曜日表示の見かた
金 ……この日だけの1回録画
月～金 …月曜日から金曜日
月～土 …月曜日から土曜日
日～土 …日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
毎週金 …毎週同じ曜日のこの時間に録画

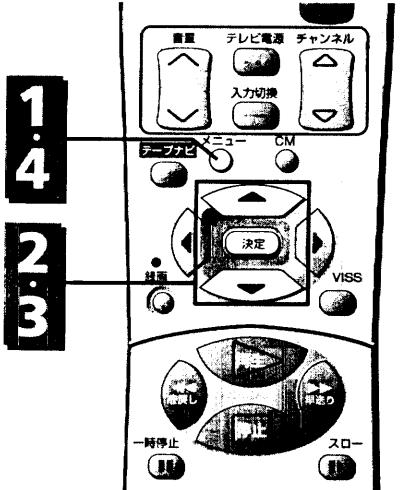
- リモコンに表示されている曜日以外の毎週同じ曜日に録画するには、52ページの手順③で希望の曜日になるように、日にちを合わせてください。

Gコード予約した内容も、リモコン予約した内容も次の方法で確かめたり、取り消したりできます。

ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ



お知らせ

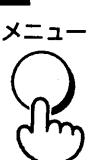
- メニュー画面や予約内容の画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。
- 予約の合計時間は、標準で210分まで表示されます。211分以上は「--」になります。

- テレビの電源を入れる

- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

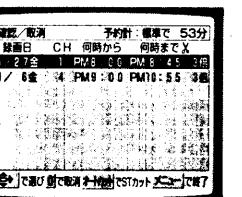
- ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す



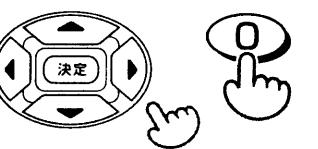
メニュー画面が出ます。

2 「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す



- 予約内容が一覧表示されます。
- 予約の合計時間は、3倍予約のときでも標準に換算して表示されます。

3 予約を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、0ボタンを押す



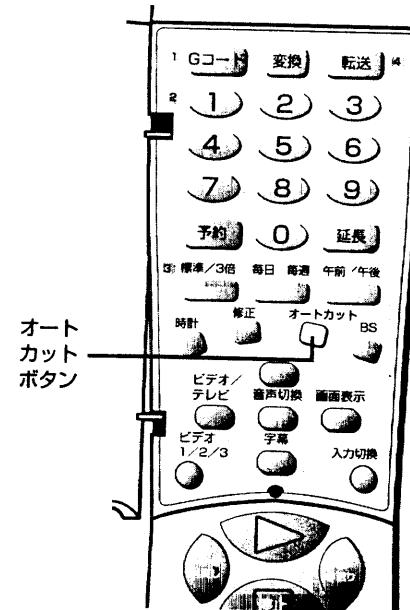
- 予約内容が消えます。
- 続けて別の予約も取り消したいときは、③を繰り返してください。

4 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

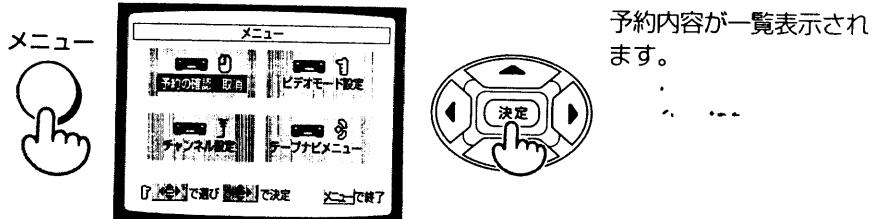


- ・テレビの電源を入れる
- ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ・ビデオの電源を入れる

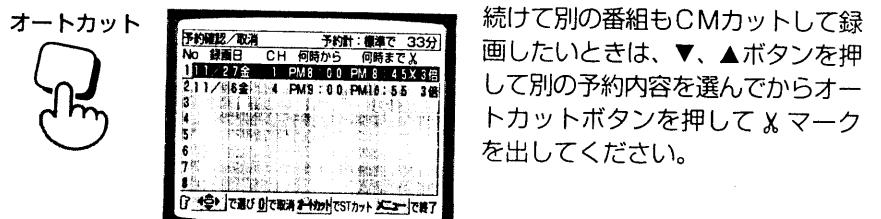
1 タイマー録画予約する

47~54ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約の確認／取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す



3 オートカットボタンを押して×マークを出す



4 メニューボタンを押す



お知らせ

- リモコンのタイマー録画予約をビデオに転送したとき、テレビ画面に予約の内容が約1分出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

オートカット機能を解除するとき
録画が始まる前なら

- ①、②を行ってから、オートカットボタンを押して×マークを消してください。

録画が始まると

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。

■ 予約を転送したとき、ビデオの表示窓に「— : —」や「Err」、「FULL」が出たら

「— : —」: ビデオの時計が「— : —」になって(約5秒点滅)います。時計を合わせてから予約してください。

「Err」: リモコンをビデオに向かいで転送しています。ビデオに向けて転送してください。

「FULL」: すでに8つの番組が予約されていますので、予約はできません。不要な予約を取り消してください。(55ページ参照)。

■ 日立製の他のビデオのリモコンを使うとき

時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき



電源が「入」になっていると、タイマー録画開始5分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき

テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。

- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り替えます。

最初から「3倍」で録画を始めても、録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。

- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。

2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。

たとえば、T-120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

■ ケーブルテレビの衛星放送番組をGコード予約するとき

リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に出ます。このときは、修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあと、BSボタンを押して「BS」表示を消してからケーブルチャンネルに合わせてください。

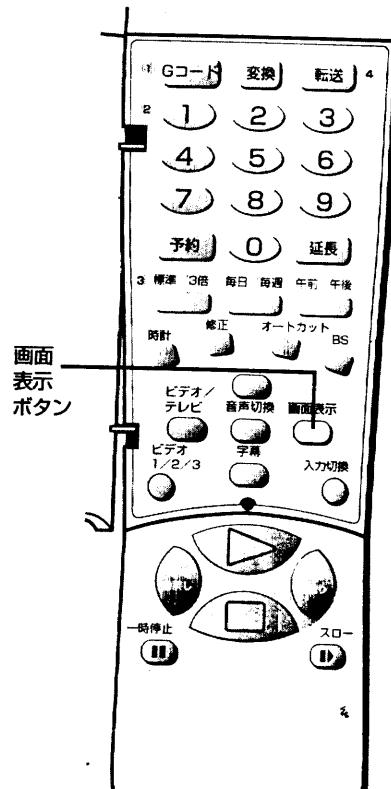
■ ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき

「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送の番組をタイマー録画するときは、UHF放送のチャンネルを変更し、その変更したチャンネル番号を予約してください。(91ページ参照)。

画面表示を見る

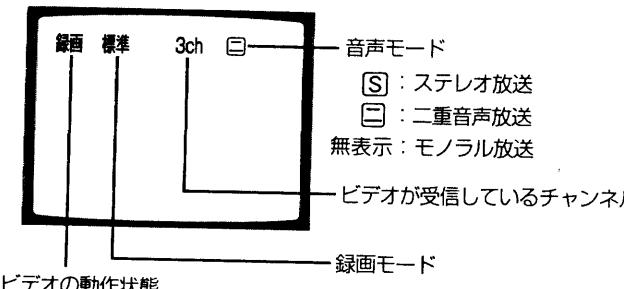
残り時間・経過時間を表示する

テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。



テレビ画面表示

ビデオを操作するたびに、下の表示がテレビの画面に約8秒間出ます。



時計、経過時間、テープの残り時間を切り換える

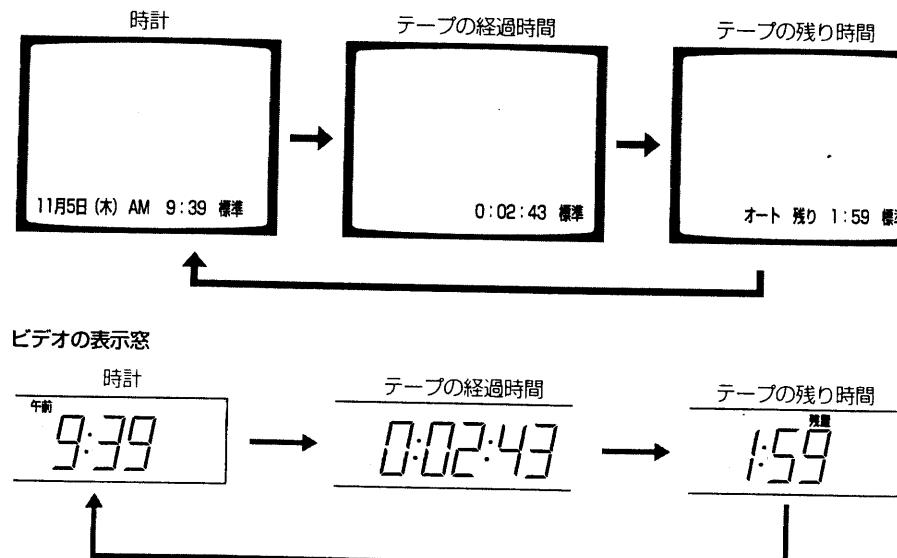
画面表示ボタンを押す



画面表示が出ている間にボタンを押すと、ビデオの表示窓も同時に切り換わります。

お知らせ

- 時計が表示されているときにテープを再生すると、自動的にテープの経過時間に切り替わります。
- 時計またはテープの残り時間に切り換えるときは、画面表示ボタンを押してください。

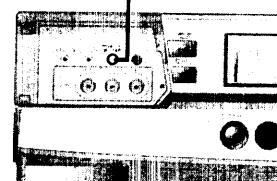


テープの走行中、テープの残り時間を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

重要

テープの残り時間は、録画や再生を始めて約1分後に表示されます。テープが動き始めしばらくは、「— : —」の表示が出ます。

2

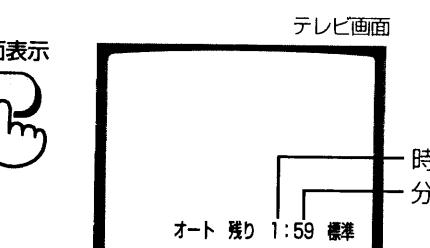


テープの残り時間を表示する

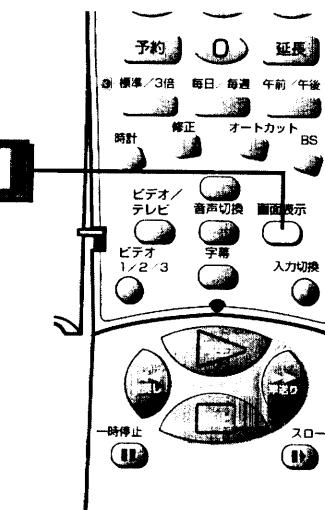
1 画面表示ボタンを押して、残り時間を出す

テープを入れたばかりのときは、「— : —」が表示されます。

再生または録画を始めると、約1分後に残り時間が表示されます。



1

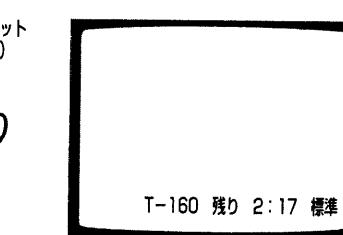


2 カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの長さを選ぶ

お知らせ

テープの残り時間について

- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、残り時間が正しく表示されません。
- 早送りや巻戻しのときはテレビ画面に正しく表示が出来ません。



テープの長さ	画面表示
T-120以下	オート
T-140, T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残り時間が表示されます。
- 画面表示が「オート」のとき、ビデオの表示窓は「表示なし」になります。

残り時間・経過時間を表示する(つづき)

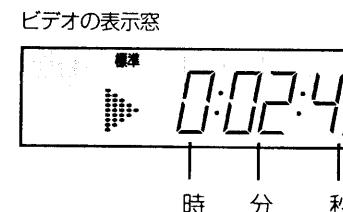
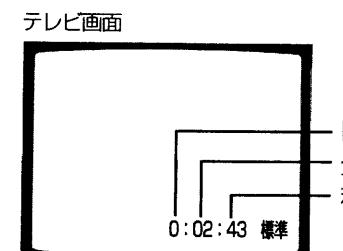
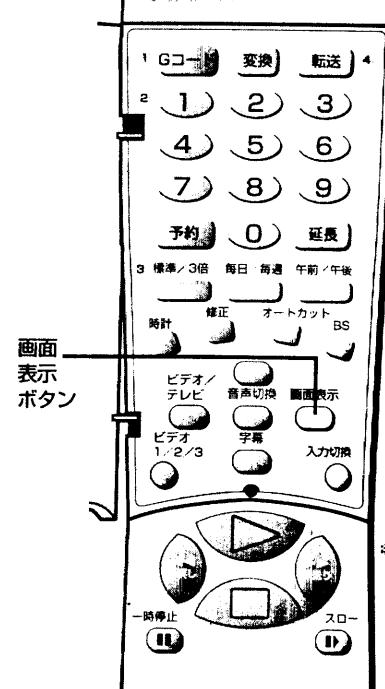
ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)

ビデオの動作や機能を、お好みに合わせて選ぶことができます。



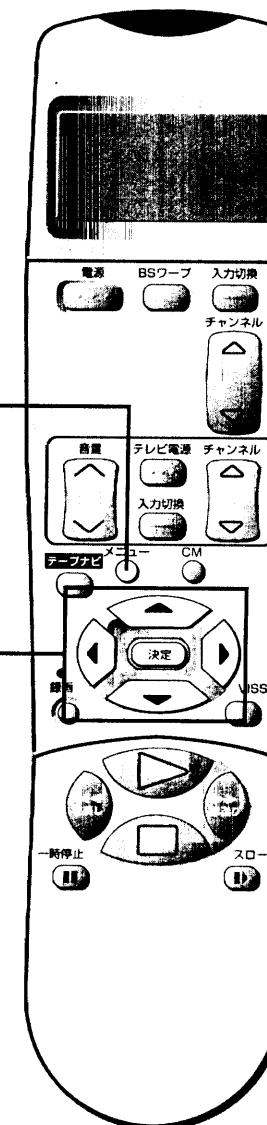
経過時間を表示する

画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する



経過時間表示について

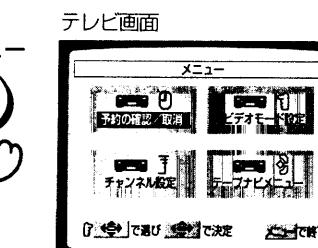
- テープを取り出すと、経過時間は自動的に「0:00:00」に戻ります。
- テープに何も録画されていない部分では、経過時間の数字は変わりません。
- 録画または再生中に、ビデオのカウンタリセット(テープ選択)ボタンを押すと、経過時間が「0:00:00」になります。録画や再生が終わってから見たい場面を探すとき便利です。



- テレビで**
- ・テレビの電源を入れる
 - ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)

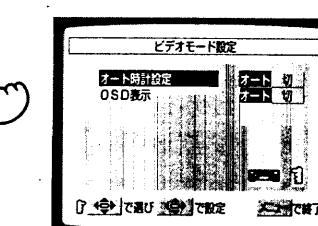
- ビデオで**
- ・ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す



メニュー画面が出ます。

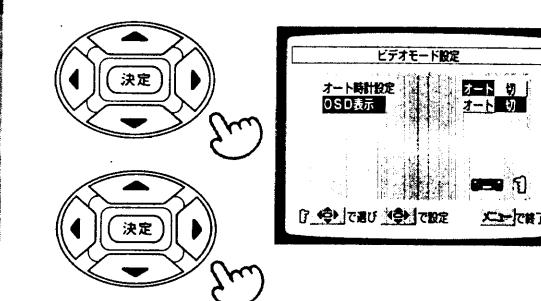
2 ▶ボタンを押して「ビデオモード設定」を選び、決定ボタンを押す



- ・お好みセレクト(ビデオモード設定)の画面が出ます。
- ・各項目の説明は、次ページをご覧ください。

便利な使いかた

3 ▽、▲ボタンで合わせたい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変える



文字が白く出ている表示が現在の設定を示しています。◀または▶ボタンを押すたびに設定が変わります。



- メニュー画面やお好みセレクトの画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。
- 工場出荷時は「」の画面に合わせてあります。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

「ビデオモード設定」画面の説明

オート時計設定 オート または 切

オート

本機の時刻が現在時刻とずれているときは、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報に合わせて1日に1または2回(午前7時、午後0時)自動的に時刻を修正します(ジャストクロック)。

切

ジャストクロック機能は働きません。

詳しくは、**93**ページ「時計を正確に合わせるには(ジャストクロック)」をご覧ください。

OSD表示 オート または 切

オート

ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に出ます。

詳しくは**68**ページ「画面表示を見る」をご覧ください。

切

ビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。

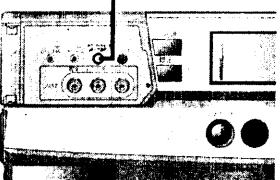
ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したとき、またはテープナビ機能やオートカット機能などを使いのときは、表示が出ます。

このビデオでは、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ(録画日、録画時刻、チャンネル、録画モードなど)を登録してテープごとに管理します。録画データを活用してテープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをする機能をテープナビといいます。

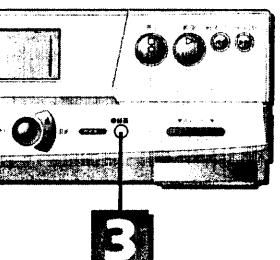
重要

- ・テープの種類を間違って選ぶと、5分以上録画してもデータを正確に登録できません。
- ・他機で録画したテープを初めてこのビデオで録画するときも、テープの種類を正しく選んでから録画やタイマー録画をしてください。
- ・テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。

2



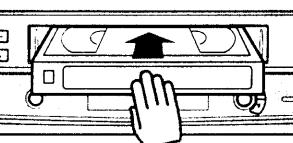
3



4

録画データを登録する

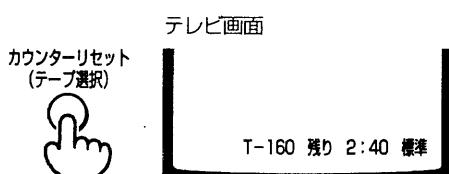
1 テープを入れる



このビデオに初めて入れたテープのときは、ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから消えます。その後、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。点滅している間に**2**の操作を行ってください。

5

2 140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換える



テレビ画面

カウンタリセット (テープ選択)



T-160 残り 2:40 標準

テープの種類	表 示
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- ・テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビが正しく働きます。
- ・120分以下のテープでは、切り換える必要ありません。

ビデオの表示窓



6

3 録画、またはタイマー録画する



標準モードで約5分以上(3倍モードでは約15分以上)録画すると、録画データが自動的に登録されます。



テープナビを使う(つづき)

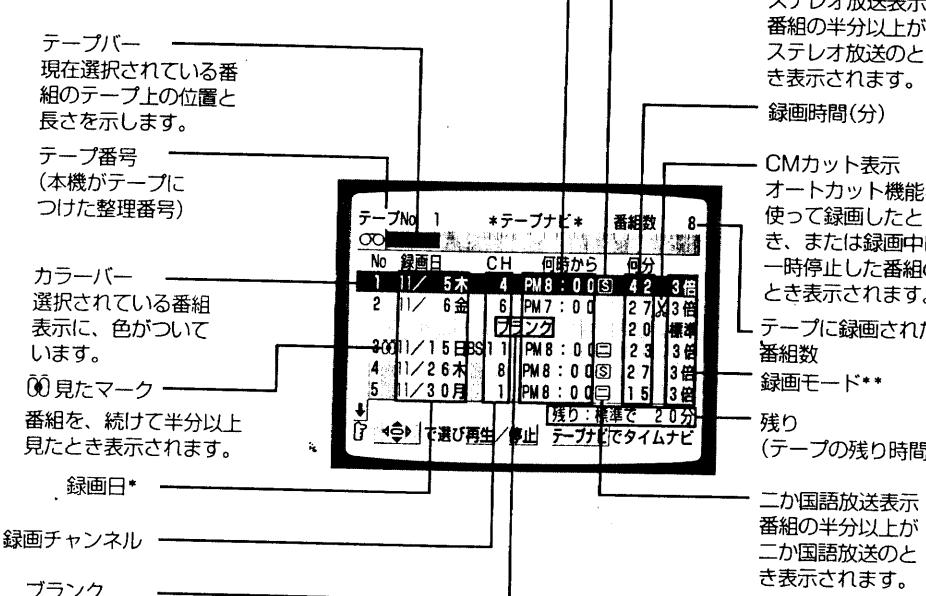
重要

オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短く表示されます。
また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

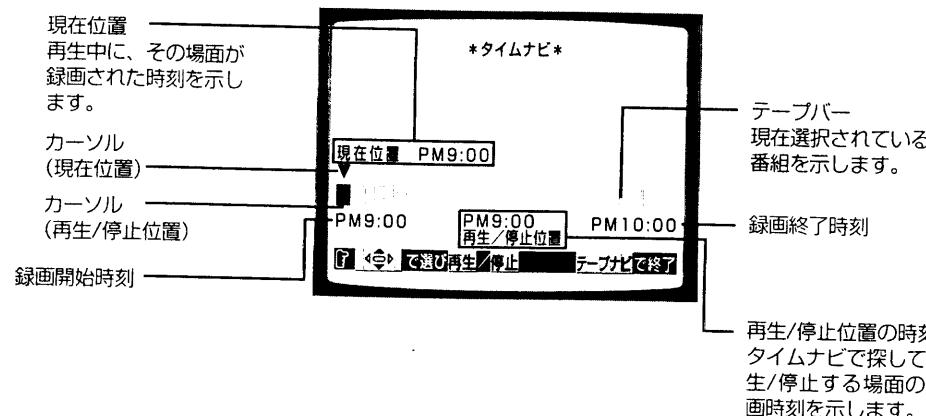
テープナビ画面、タイムナビ画面の見かた

登録されたデータを次のように表示します。
テープナビ画面の出し方は**66**ページ、タイムナビ画面の出し方は**74**ページをご覧ください。

■ テープナビ画面



■ タイムナビ画面



お知らせ

番組の登録数について

- 「ブランク」「残り」も含めて約200番組を登録できます。

テープ番号の登録数について

- 100以上は登録されません。

録画時間の精度について

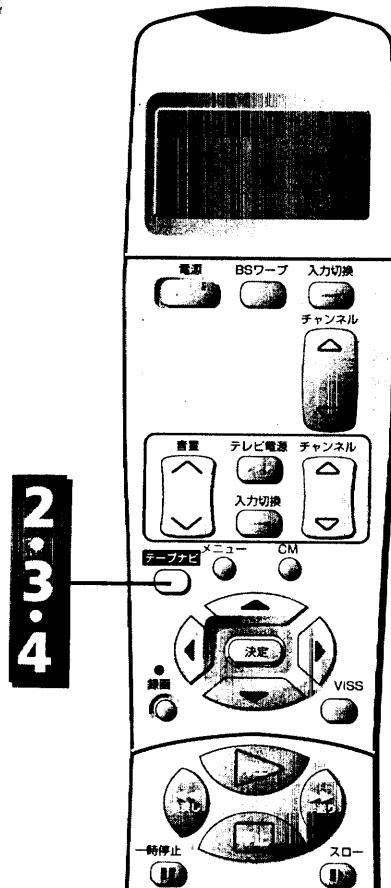
- 表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。

録画データの保持について

- 登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。
- 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

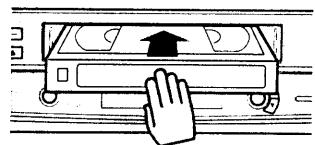
○○見たマークについて

- 見たマークは、番組を、統けて半分以上見た(再生した)とき表示されます。番組の半分以内で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。



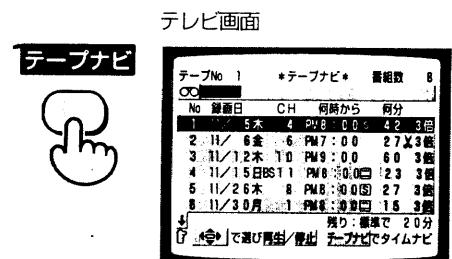
テープの録画データを見る

1 本機で録画したテープを入れる

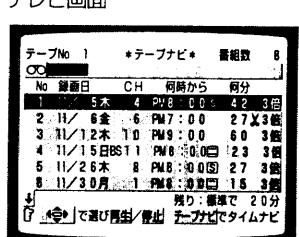


ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す

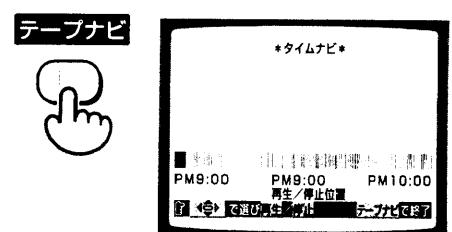


テレビ画面

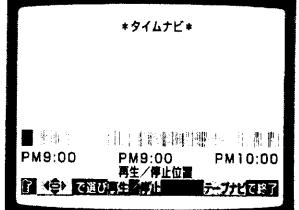


- テープナビ画面が出ます。画面の見かたは**64**ページをご覧ください。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます。(**67**ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

3 テープナビボタンを押す



テープナビ



- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます(**73**ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照)。

4 テープナビボタンを押す



テープナビ



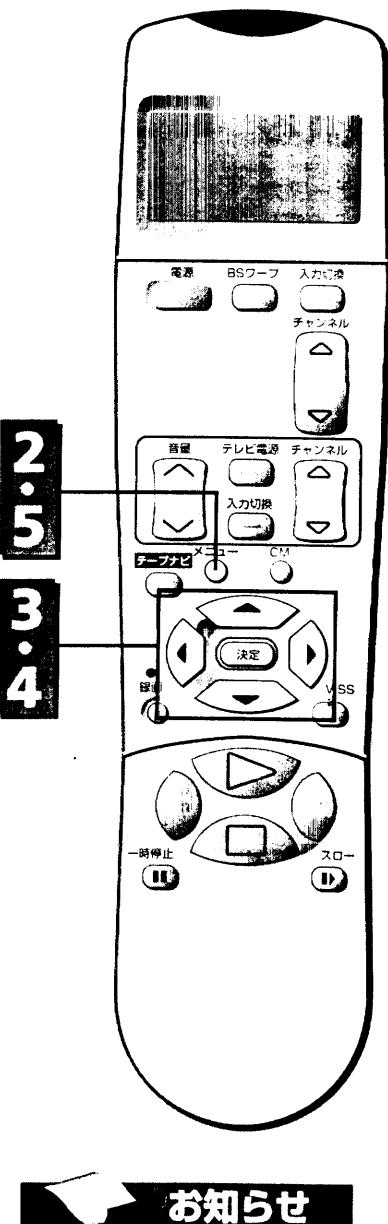
元の画面に戻ります。

便利な使いかた

テープナビを使う(つづき)



テープナビ機能、タイムナビ機能を入／切するときは、テープを取り出してください。
テープが入っていると、切り換えることができません。



テープナビ機能とタイムナビ機能を入／切する

1 テープを取り出す

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が出ます。

3 ▼、▲、◀、▶ボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す

テープナビメニューが出ます。

4 ◀、▶ボタンで「テープナビ」の「入」か「切」を選ぶ

- 工場出荷時は「入」です。
- テープナビ機能を使わないときは「切」にしてください。
- タイムナビ機能を「入／切」するには、テープナビ「入」のとき、▼、▲ボタンで「タイムナビ」を選び、◀、▶ボタンで「入」、「切」を選んでください。

5 メニューボタンを押す

元の画面に戻ります。

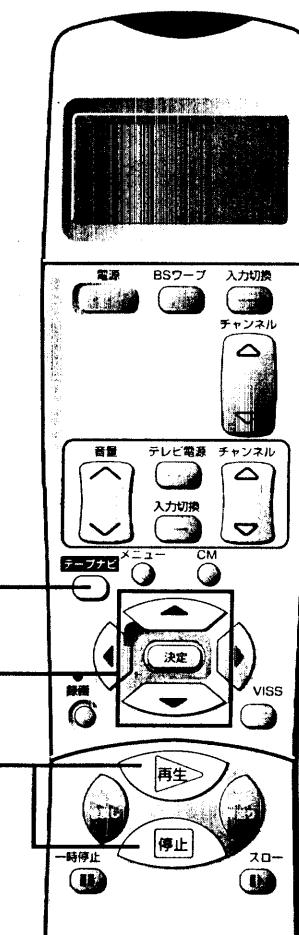


- 「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。また、CMオートが動作しません。

録画データを使って見たい番組を探したり、テープの録画されていないところ(ブランク)を探すことができます。

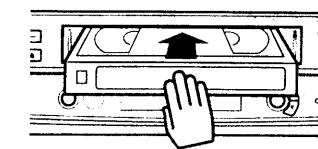


テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。
66ページをご覧になって「入」に設定してください。



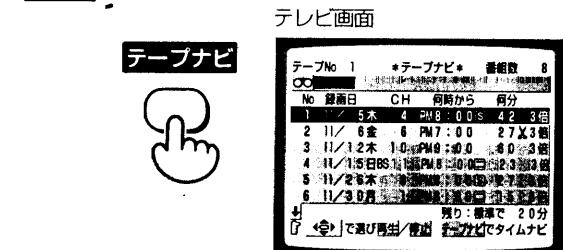
録画データを使って番組の頭出しをする

1 本機で録画したテープを入れる



ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



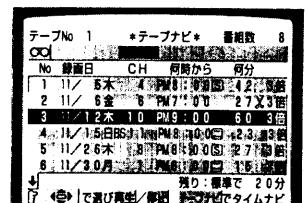
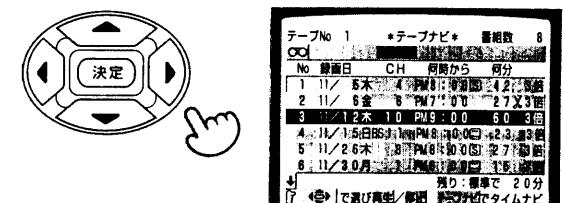
テープナビ画面が出ます。

お知らせ

- テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

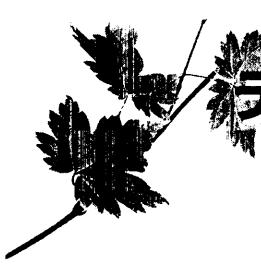
- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。



便利な使いかた

- カラーバーが選んだ番組に移動します。
- テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
- 6番目以降の番組を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押して、表示します。
- 番組の途中を探すときは「タイムナビで見たい場面を探す」(70ページ)をご覧ください。

(つづく)



テープナビを使う(つづき)



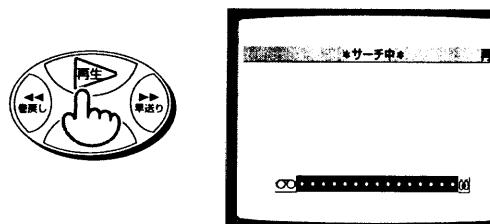
お知らせ

自動的に電源を切るとき

- 前ページの③で見たい番組(または残り)を選んだあと電源ボタンを押すと、番組を頭出ししてから自動的に停止し、電源が切れます。

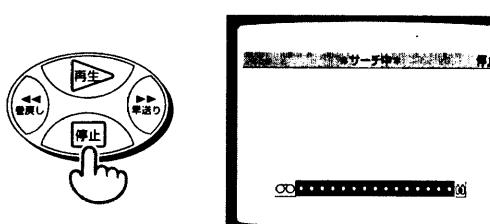
4 番組の頭から再生する、または頭出しして停止する

再生するとき



番組の頭を探して自動的に再生します。

頭出しして停止するとき



番組の頭を探して自動的に停止します。

登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータを取り消したいときに行います。

重要

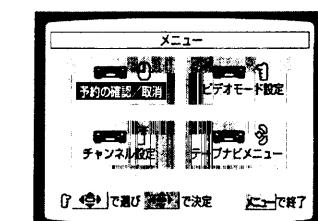
- ビデオの中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

登録内容を取り消す

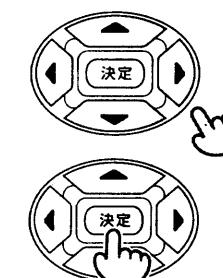
1 メニューボタンを押す



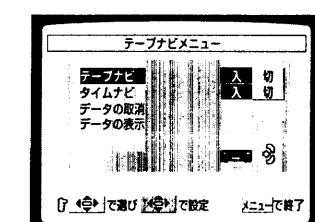
メニュー画面が出ます。



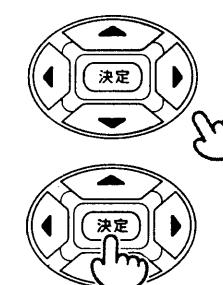
2 ▼、▲、◀、▶ボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



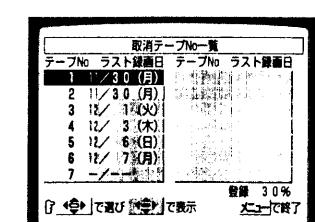
テープナビメニューが出ます。



3 ▼、▲ボタンで「データの取消」を選び、決定ボタンを押す



- 画面が赤になります。
- 登録されているテープ番号と最後に録画した月日、曜日が表示されます。



便利な使いかた

(つづく)

お知らせ

- 「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。
- 一度このビデオで録画したテープに再度録画するときは登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

テープナビを使う(つづき)

テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を確かめることができます。
お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。

お知らせ

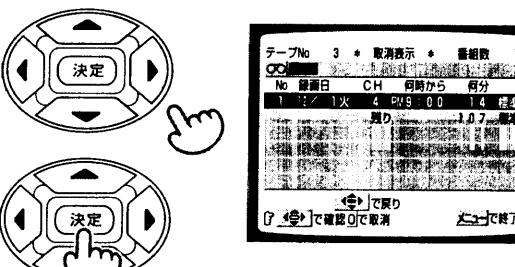
登録パーセント表示について

- パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

ラスト録画日の表示について

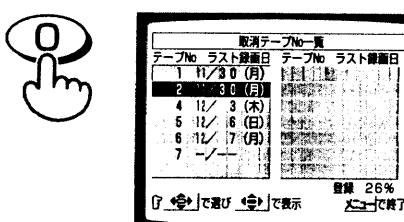
- 時計を設定していないときにデータが登録されたとき、または登録時間(録画時間)が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)は、ラスト録画日は「-/-」と表示されます。

4 ▼、▲ボタンで取り消したいテープ番号を選び、決定ボタンを押す



- 14番目以降のテープ番号を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押して、表示します。
- 選んだテープの詳しい登録内容が表示されます。取り消してよいテープか、内容を確認してください。

5 0ボタンを押して取り消す



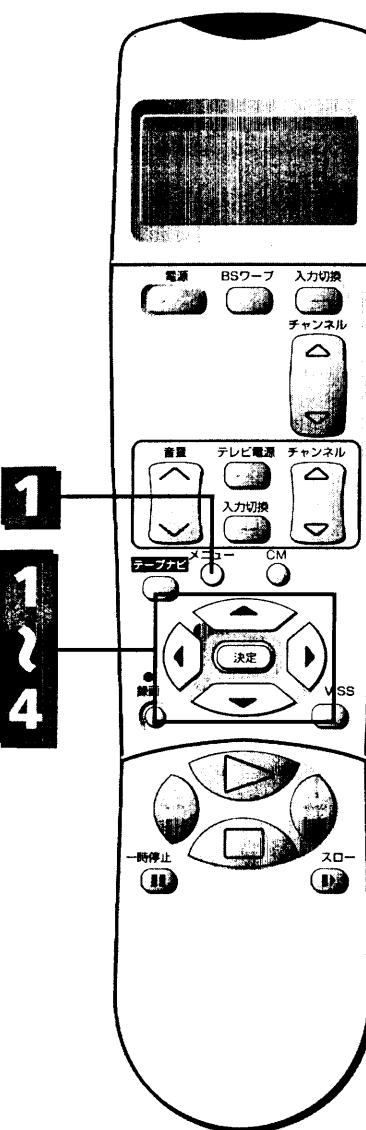
- 選んだテープの録画データが取り消され、③の画面に戻ります。
- 他のテープを取り消したいときは④～⑤を繰り返してください。

6 メニューボタンを押す

メニュー



元の画面に戻ります。

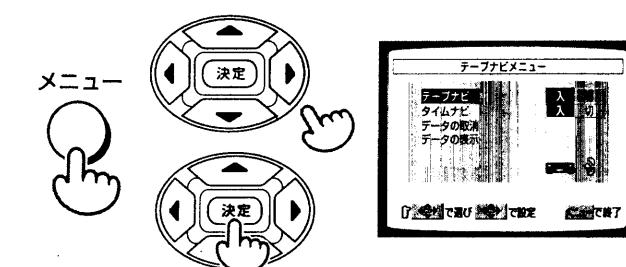


お知らせ

- 「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。

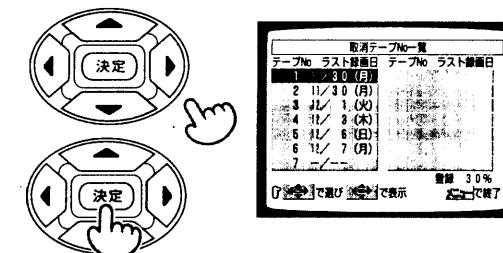
登録内容を確かめる

1 メニューボタン、▼、▲、◀、▶ボタンと決定ボタンで「テープナビメニュー」を出す



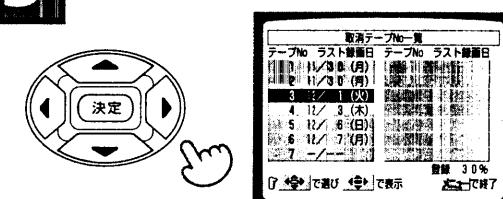
- 登録されているテープ番号と最後に録画した月日、曜日が表示されます。

2 ▼、▲ボタンで「データの表示」を選び、決定ボタンを押す



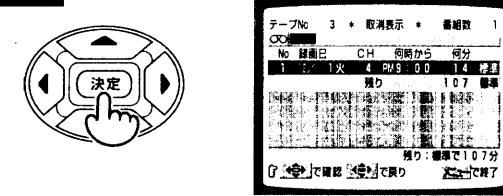
- 14番目以降のテープ番号を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押して表示します。

3 ▼、▲ボタンで確認したいテープ番号を選ぶ



- 14番目以降のテープ番号を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押して表示します。
- 他のテープの内容も確かめたいときはもう1回決定ボタンを押してから③、④を繰り返してください。
- 元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

4 決定ボタンを押す



便利な使いかた



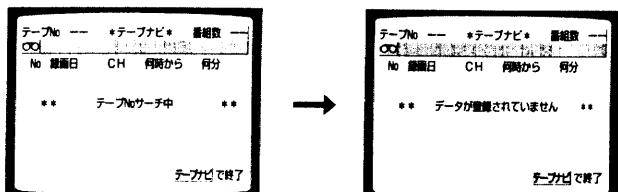
テープナビを使う(つづき)

タイムナビで見たい場面を探す

テープナビのご注意

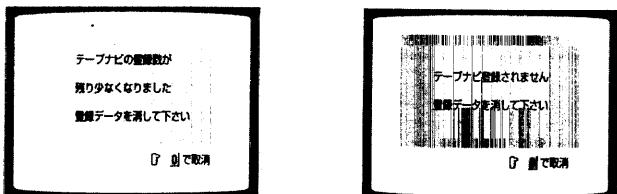
■次の①～⑤のテープが入っているときテープナビボタンを押すと、下の画面が出ます。

- ①何も録画していないテープ
- ②本機以外のビデオで録画したテープ
- ③テープナビを[切]にして本機で録画したテープ
- ④登録内容を取り消したテープ
- ⑤市販のソフトテープ



■登録の数には限りがあります。

- ・録画を始めたときに下の画面が出たときは、いらないテープの登録内容を消してください。



- ・上の画面が出ている間に○ボタンを押すと66ページの「登録内容を取り消す」の③の画面になります。④～⑥の操作を行い、登録を取り消してください。

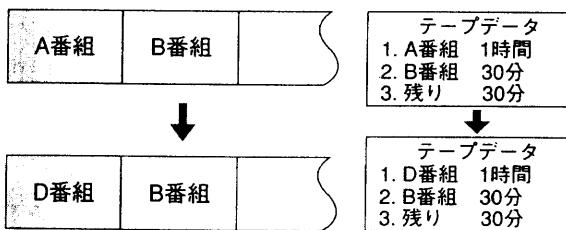
■ダビング編集について

- ・音声だけを録音したときやCDV(コンパクトディスクビデオ)から録画したときは、テープナビ機能は働きません。

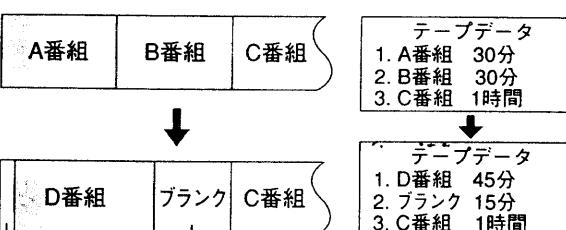
■市販のクリーニングテープをお使いになるとときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください(66ページ参照)。

■一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて

- 例1) テープナビを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

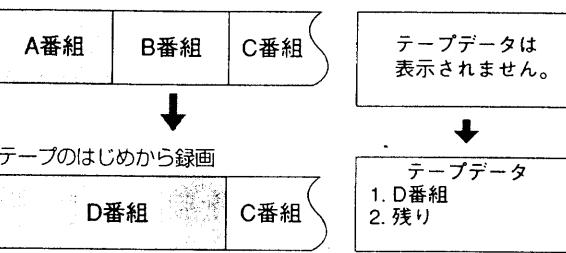


- 例2) テープナビを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき



- ・aの時間が5分(3倍モードで15分)未満のときは何も表示されません。約5分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間に変わります。
- ・bの時間が約5分(3倍モードで約15分)以上 のときは「ブランク」と表示されます。5分未満のときは、何も表示されません。

- 例3) 他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビを使ってD番組を録画したとき



・C番組は「残り」と表示されます。

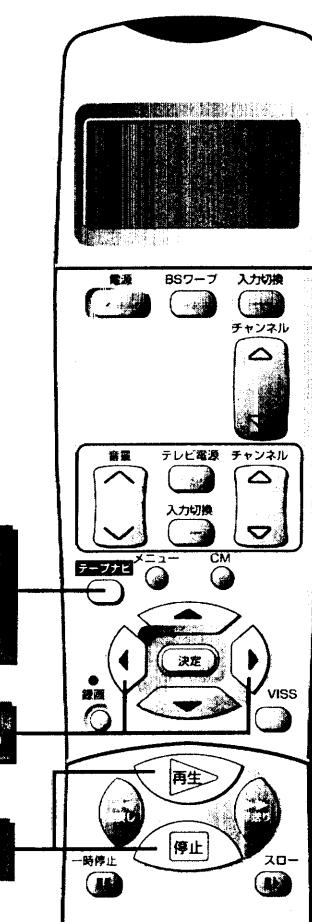
このビデオには、ある番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、その場面で停止したりするタイムナビ機能がついています。テープナビ機能が「入」になっているときお使いください。

重要

- ・テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。66ページをご覧になって「入」に設定してください。
- ・テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、テープナビが「入」で録画したテープだけです。

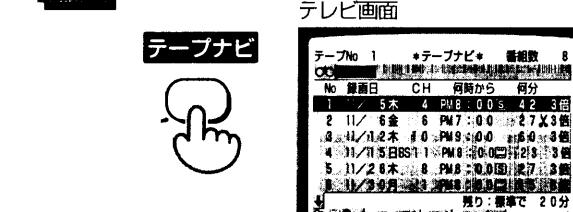
1 テープナビメニューの「タイムナビ」を「入」にする

操作のしかたは66ページをご覧ください。

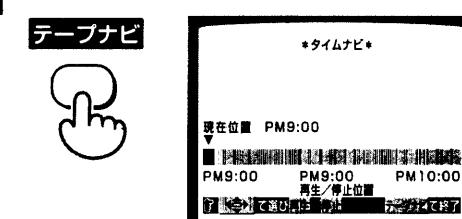


2 再生中、テープナビボタンを押す

テープナビ画面が出ます。



3 もう1回テープナビボタンを押す



- ・再生中の番組のタイムナビ画面が出ます。
- ・もう1回テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

便利な使いかた

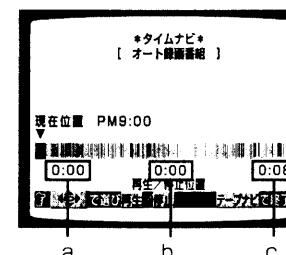
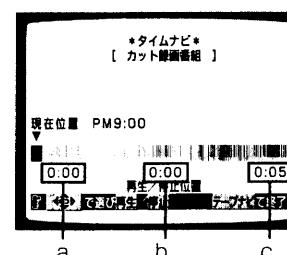
お知らせ

再生中以外の番組でタイムナビを使うとき

- ②でテープナビ画面を出したとき、▼、▲ボタンを押して番組を選んでからテープナビボタンを押してください。この場合、タイムナビ画面の「現在位置」の時刻は表示されません。
- テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。

オートカット機能を使って録画した番組、または録画中に一時停止した番組のとき

録画モード「オート」でタイマー録画した番組のとき



- a. 録画開始時刻の代わりに「0:00」が表示されます。
 - b. 「再生/停止位置」には、録画開始からの経過時間が表示されます。
 - c. 録画終了時刻の代わりに録画時間が表示されます。
- ・[オート録画番組]の場合、3倍モードで録画された部分も、録画時間および経過時間は標準モードに置き換えた時間になります。

(つづく)

タイムナビで見たい場面を探す(つづき)

お知らせ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

- テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

タイムナビ機能が使えないとき

- テープの現在位置が「残り」にあるとき、またはテープナビ画面で▼、▲ボタンを押して「残り」の部分を選んだときは、タイムナビ機能が働きません。

自動的に電源を切るとき

- ④の操作のあと、電源ボタンを押すと、選んだ時刻を探してから自動的に停止し、電源が切れます。

4 ◀、▶ボタンで見たい場面の時刻を選ぶ

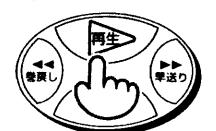


再生/停止位置の時刻

- ・「再生／停止位置」の時刻を選びます。
- ・バーの中の黒い四角が現在のテープ位置を示します。

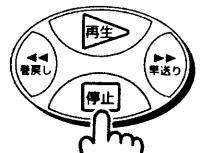
5 選んだ時刻の場面から再生する、またはその時刻を探して停止する

再生するとき



選んだ時刻を探して、そこから自動的に再生します。

選んだ時刻で停止するとき



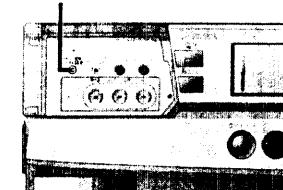
選んだ時刻を探して自動的に停止します。

リモコンで2台のビデオを操作する

付属のリモコンは、日立製のビデオを3台まで、別々に操作できます。ビデオが並べて置いてあるときなど、1台ずつ違う動作をさせることができるので便利です。

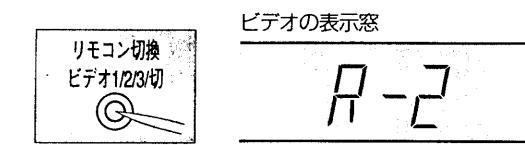
- 重要
- ・ビデオのリモコン切換ボタンを「R-OFF」にすると、リモコンをまったく受け付けなくなります。
 - ・ビデオ側のリモコン切換ボタンとリモコン側のビデオ1/2/3切換ボタンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓でビデオのリモコンコードが点滅します。

リモコン切換
ビデオ1/2/3切ボタン

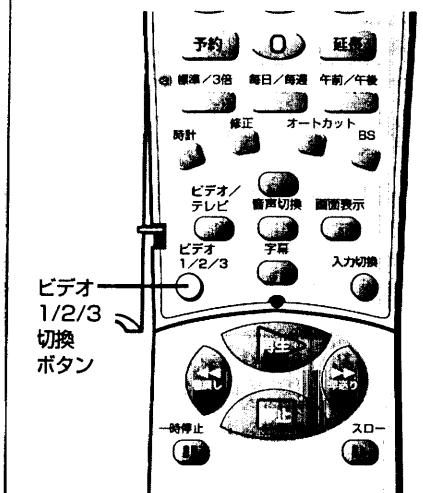


本機を操作するとき

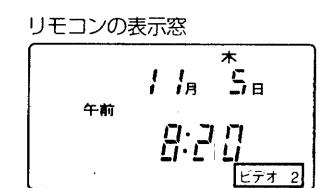
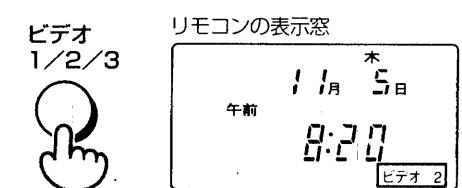
1 ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-2」を出す



リモコン切換ボタンを押すたびに「R-1」→「R-2」→「R-3」→「R-OFF(切)」の順に切り換わります。



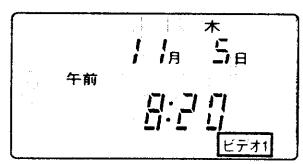
2 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ2」を表示させる



3 リモコンを本機に向けて操作する

もう1台のビデオを操作するとき

1 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ1」を表示させる



日立製ビデオは工場出荷時、ビデオ側のリモコン切換スイッチを「R-1」に設定してあるため、「ビデオ1」にします。

3台のビデオを操作するとき

- 本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

付属のリモコンで操作できるビデオ

- VT-6800/VT-9700/VT-17以外の日立製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
- ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

2 リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する

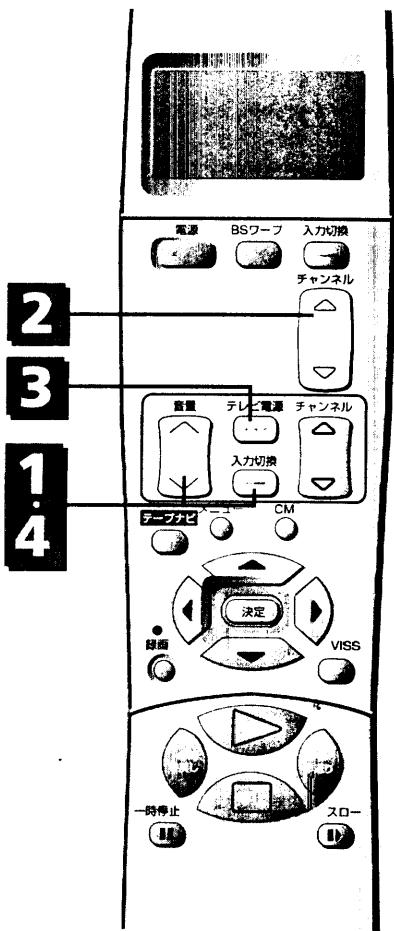
便利な使いかた

リモコンで他社のテレビを操作する

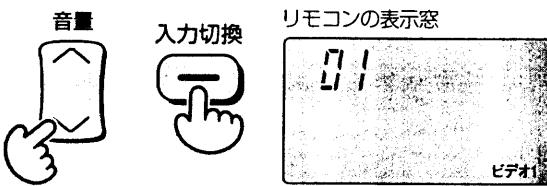
本機のリモコンで、日立製以外にも他社9社のテレビを操作できます。
使い始めるとき、次のようにテレビコードを設定してください。
操作するたびに設定し直す必要はありません。



お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、
あるいは一部のボタンが動かないことがあります。



1 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタン の▽側を同時に押す



リモコンの表示窓にテ
レビコード「01」が表示
されます。

1
2
3
4

2 チャンネルボタンを押して、テレビのメー カーナーに合ったテレビコードを設定する



メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード
日立	01	サンヨー(2)	08
松下(1)	02	シャープ(1)	09
ビクター	03	シャープ(2)	10
ソニー	04	富士通ゼネラル	11
東芝	05	NEC	12
三菱	06	松下(2)	13
サンヨー(1)	07		

3 テレビ電源ボタンを押す



テレビ電源
テレビ電源ボタンを押してテレビの
電源の「入／切」ができるれば、このリ
モコンでテレビの操作ができます。

お知らせ

- 松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入／切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく働くコードを選んでください。
- 数字ボタンでテレビチャンネルを選ぶことはできません。

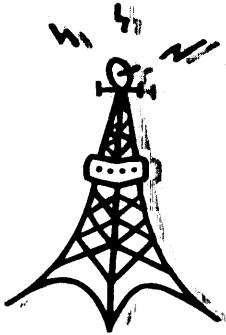
4 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタン の▽側を同時に押す



リモコンの表示窓が時
計表示に戻ります。



設置・準備編 ご自分で設置するには



設置を始める前に

ふつうのテレビ放送(VHF,UHF放送)を見たり録画するには、基本の設置・準備を行うだけでビデオをお使いになれます。それ以上の使いかたをするときは、接続する機器や目的に合わせて必要な設置や準備をしてください。

ふつうのテレビ放送
(VHF/UHF放送)を見る・録画するとき

基本の設置・準備

- 1 ビデオにアンテナとテレビをつなぐ
ページ 80
- 2 (アンテナ端子だけのテレビをつないだときは)
ビデオ専用チャンネルを設定する
ページ 83
- 3 (テレビに映像・音声入力端子があるときは)
テレビとビデオを映像・音声コードでつなぐ
ページ 84
- 4 受信チャンネルを合わせる
チャンネルを設定する
チャンネルを飛ばす/元に戻す
チャンネルを微調整する
受信チャンネルの表示を変える
ページ 86
88
89
90
- 5 時計を合わせる
ページ 92

これでビデオが使えます。

CATV

ケーブルテレビを見るとき

ケーブルテレビのチャンネルを設定する
91

BS

衛星放送を録画するとき

BSチューナー内蔵テレビをつなぐ
94

衛星放送を録画する
96

BSチューナーをつなぐ
95

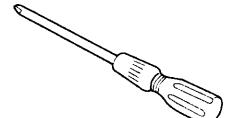
日立製AV-BUS
テレビをつなぎだとき

エーフィバスツー
AV-BUSII端子とつなぐ
98

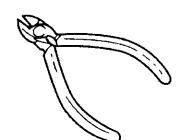
テレビをコントロールする
99

設置するときに必要な工具

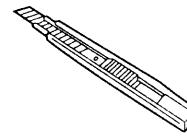
●プラスドライバー



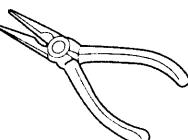
●ニッパ

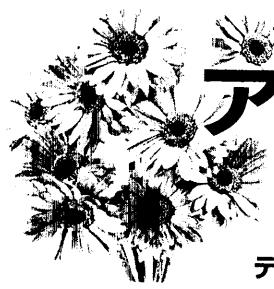


●ナイフ



●ペンチ

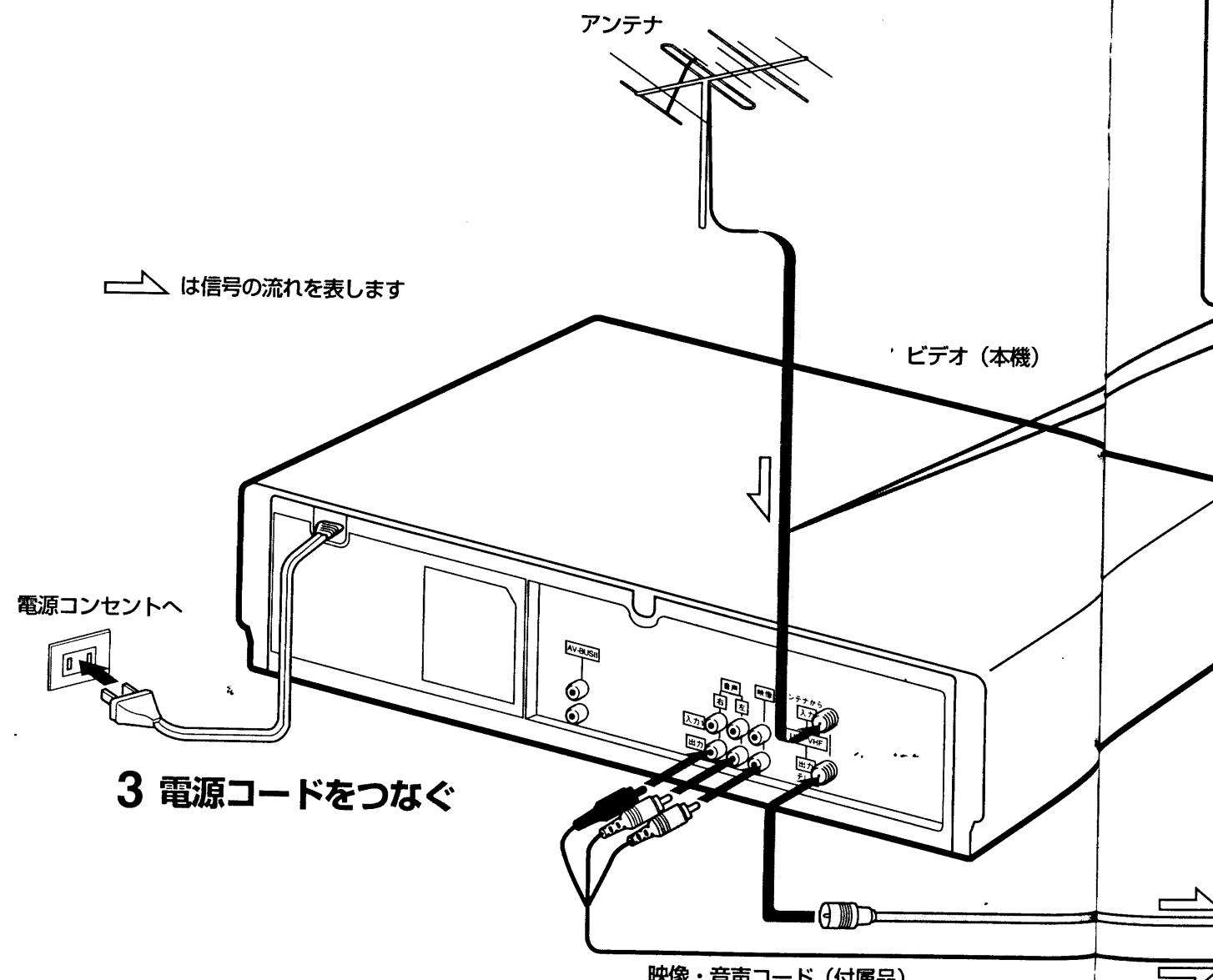




アンテナとテレビをつなぐ

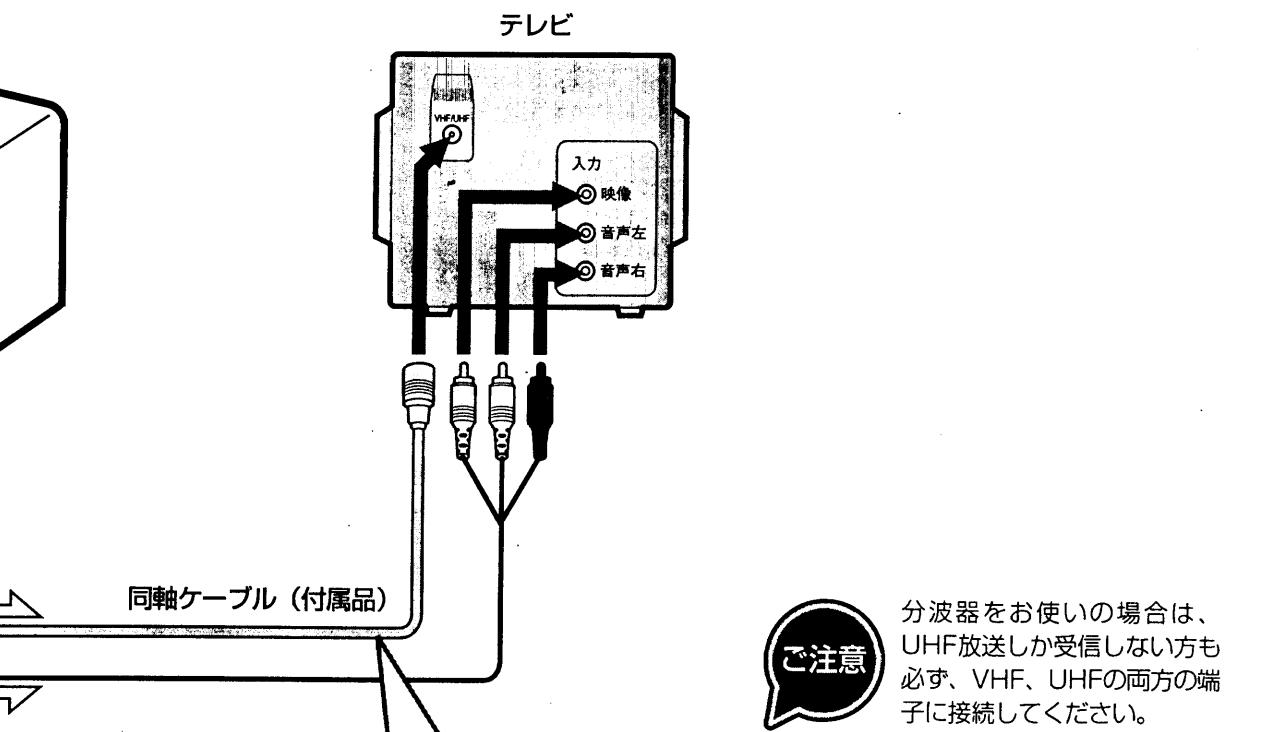


テレビにつながっているアンテナ線をはずし、はずしたアンテナ線とテレビをビデオにつなぎます。
アンテナ線やテレビのアンテナ端子の種類によって、つなぎかたが異なります。



1 アンテナ線をつなぐ — アンテナ線の種類によってつなぎかたが異なります。

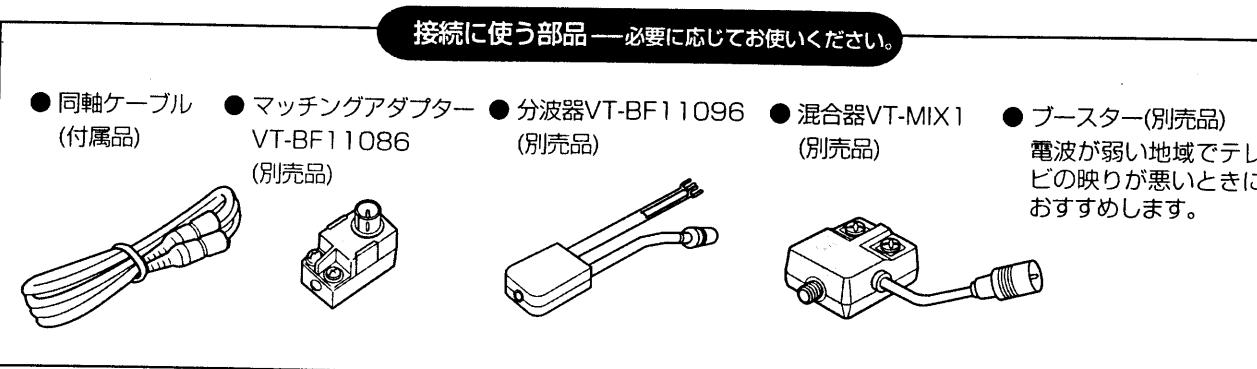
- UHF/VHF混合またはVHF単独のアンテナ線(プラグ付き)
 - VHFとUHFが別々のとき
 - VHF単独のアンテナ線(先バラ)
 - UHF単独のアンテナ線(フィーダー線)
- そのままつなぎます
- 混合器を取り付けます
- マッチングアダプターを取り付けます
(くわしくは 82 ページ ◎)
- マッチングアダプターを取り付けます
(くわしくは 82 ページ ◎)



2 テレビのアンテナ端子とつなぐ

付属の同軸ケーブルを使ってつなぎます。アンテナ端子の種類によってつなぎかたが異なります。

- UHF/VHF端子のとき
 - UHF/VHF端子が別々のとき
 - VHFとUHF端子が別々でVHF端子がネジ式のとき
- テレビのアンテナ端子
- そのままつなぎます
- 分波器を取り付けます
- （くわしくは 82 ページ A、B）
- プラグを切る
- （くわしくは 82 ページ A、B）
- プラグを切る
- （くわしくは 82 ページ A、B）



アンテナとテレビをつなぐ(つづき) 111

ケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A

分波器の先端の加工

- The diagram illustrates the four steps for preparing a coaxial cable:

 - 1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る**: Shows a black vinyl strip being folded over the braid and cut at approximately 12 mm from the insulation edge.
 - 2 網線を折り返す**: Shows the braid twisted around the center conductor.
 - 3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る**: Shows a white vinyl strip being folded over the twisted braid and cut at approximately 8 mm from the insulation edge.
 - 4 芯線を出す**: Shows the insulation being stripped from the core wires, with dimensions of 10 mm for the total length and 4 mm and 8 mm for the inner and outer sections respectively.

B

分波器(別売品、VT-BET-096)に同軸ケーブルを取り付ける

-

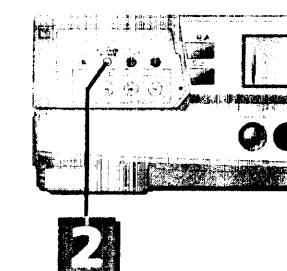
C

マッチングアダプター(別売品、VT-BE01(086))に同軸ケーブルを取り付ける。

-

ビデオ専用チャンネルを設定する

映像・音声入力端子のないテレビをアンテナ線だけでつないだときは、ビデオチャンネルの設定が必要です。ビデオで選んだ番組を見るときや、テープを再生するときは、テレビのチャンネルをこのビデオチャンネルに合わせてください。



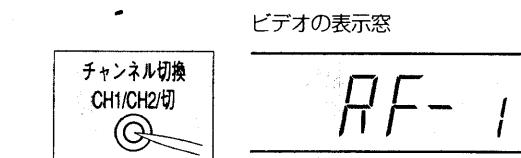
1

テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ



2

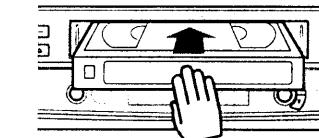
チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、テレビで選んだチャンネルを出す



- ボタンを押すたびに「RF-1」
(1チャンネル)→「RF-2」(2
チャンネル)→「RF-OFF」
(切)の順に出ます。
 - ここで選んだチャンネルが
ビデオ専用チャンネル(ビデ
オチャンネル)になります。

3

● 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

4

| 再生ボタンを押す



再生が始まります。
映像と音声が出れば、ビデオチャンネルが正しく設定されています

ビデオの再生画が映らないとき

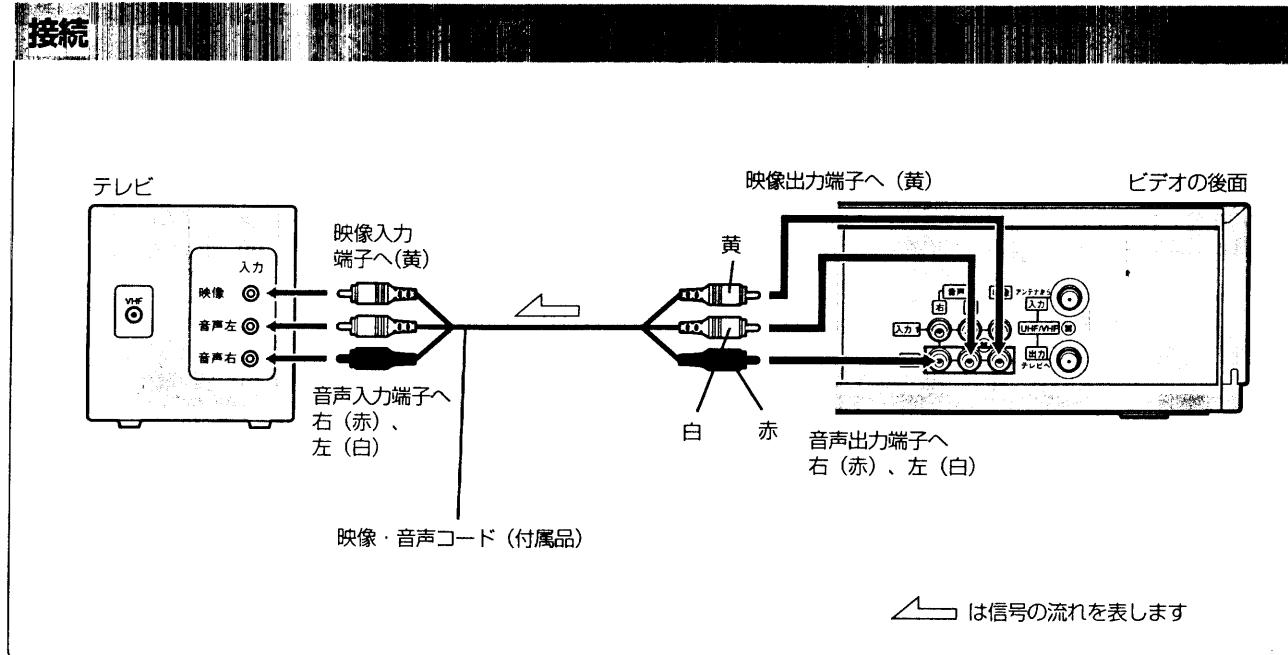
- アンテナ線の接続を確かめてください(80ページ)。
 - テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

映像・音声入力端子つきテレビをつなぐ

映像・音声入力端子の付いているテレビでは、映像・音声コードを接続すると、よりよい画質、音質で楽しめます。
アンテナ線をビデオに接続してから(80ページ)、次のように映像・音声コードを接続してください。

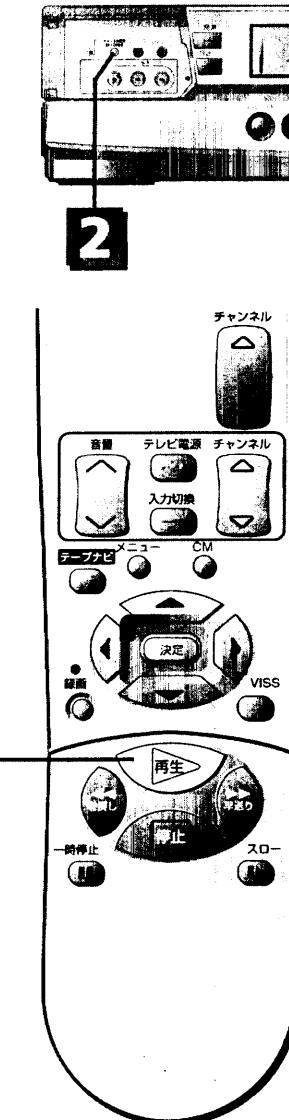
重要

接続するときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。



重要

テープが入っていると正しく接続できたか確かめることができません。
テープを取り出してから操作を始めてください。



接続が終わったら

正しく接続できたか確かめます。

1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする



テレビの入力切換を「ビデオ」
にすると、ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。

2

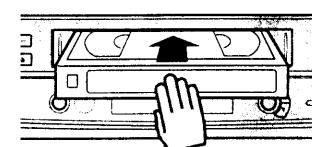
チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、「RF-OFF(切)」を出す



「RF-OFF(切)」を選ぶと、録画しながら別の番組を見ると、ビデオ/テレビ切換ボタンを押さなくても、テレビで見たいチャンネルを選ぶことができます。

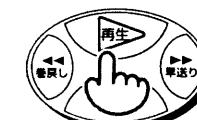
4

3 録画済みのテープを入れる



4

再生ボタンを押す



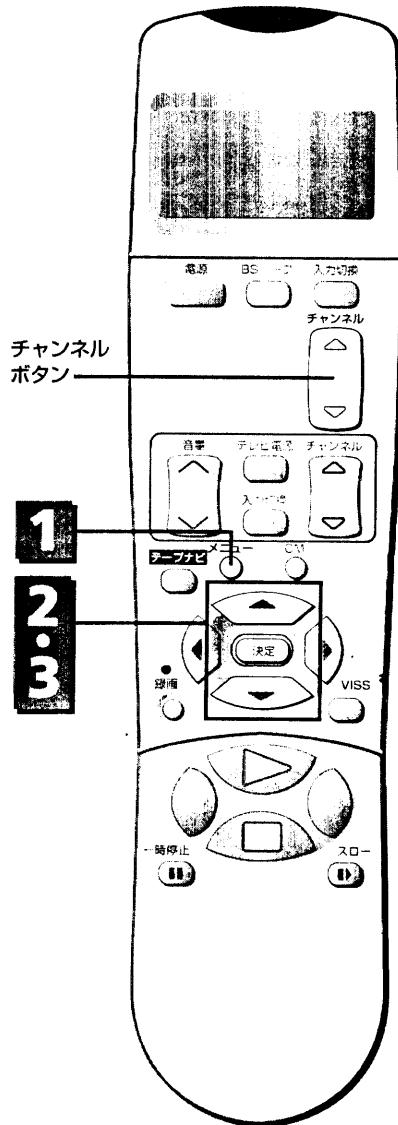
再生が始まります。
映像と音声が出れば、ビデオとテレビが正しく接続されています。

受信チャンネルを合わせる

お住いの地域により(たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では)、受信できるチャンネルが違います。このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルがすべて、自動的に設定できます。

重要

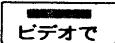
アンテナとテレビが正しく接続されているか、確かめてください。



チャンネルを設定する(オートチャンネル設定)

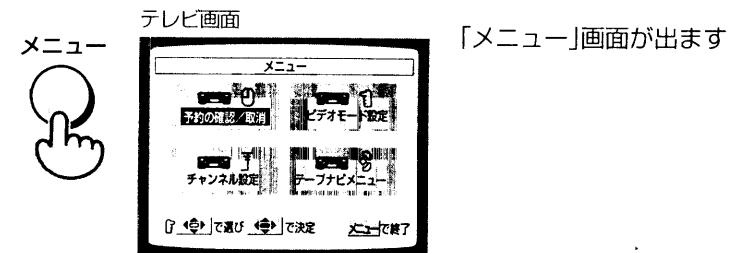


- ・テレビの電源を入れる
- ・テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)



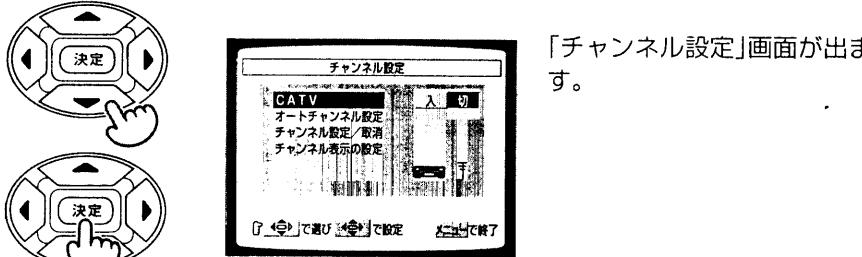
- ・ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す



「メニュー」画面が出ます。

2 ▼ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



「チャンネル設定」画面が出ます。

3 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



- ・受信できたチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。
- 記憶が終わると、「チャンネル設定」画面に戻ります。
- ・メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

お知らせ

- 工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整されています。

オートチャンネル設定が終わったら

チャンネルボタンを押して、映るチャンネルを確認します。



- ・ボタンを押すたびに、設定されたチャンネルがテレビに映ります。
- ・チャンネルボタンの△側を押すと、次の順にチャンネルが変わります。▽側を押すと逆の順に変わります。

VHF UHF CATV*

1~12 → 13~62 → 13~63

*CATVチャンネルを設定したとき表示される(91ページ参照)

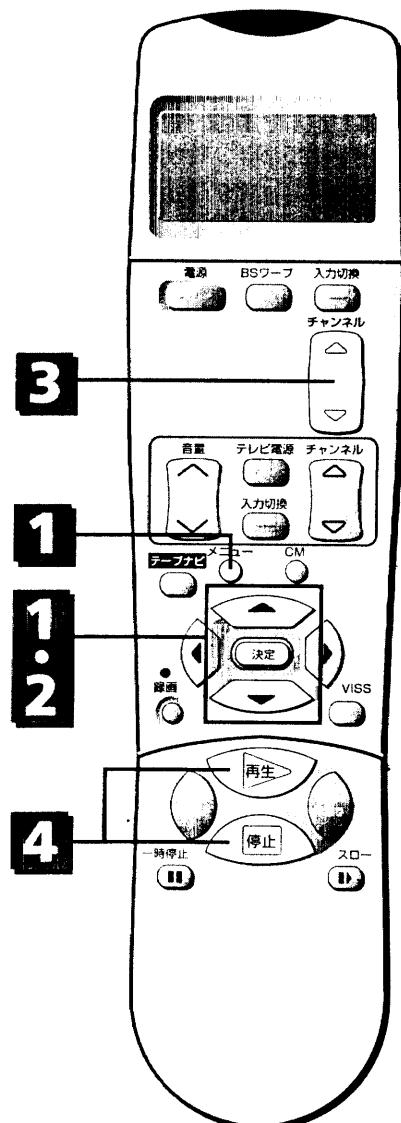
お知らせ

チャンネルが1つも設定されなかったり、画がきれいに映らないとき

- ・アンテナ線の接続を確かめてください(80ページ参照)。

受信チャンネルを合わせる(つづき)

オートチャンネル設定をすると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したり、また、受信状態を微調節したりすることができます。チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておくと、便利です。



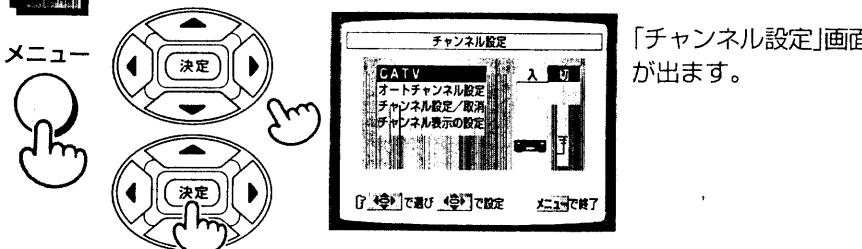
お知らせ

外部入力を飛ばすとき

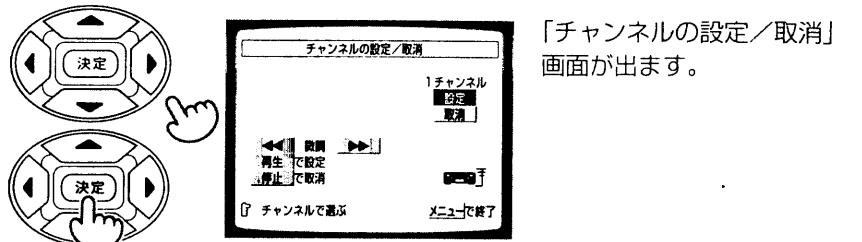
- 入力切換ボタンを押すと、外部入力(L1、L2)が選択されます。チャンネルの場合と同様に、外部入力を飛ばしたり、元に戻したりすることができます。

チャンネルを飛ばす/元に戻す

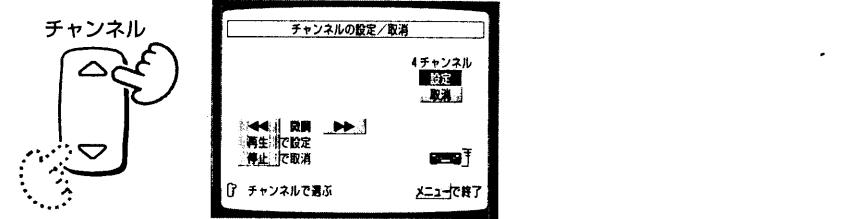
1 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ



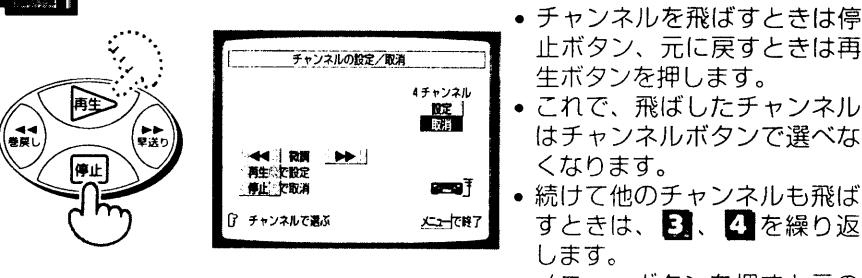
2 ▽、▲ボタンで「チャンネル設定／取消」を選び、決定ボタンを押す



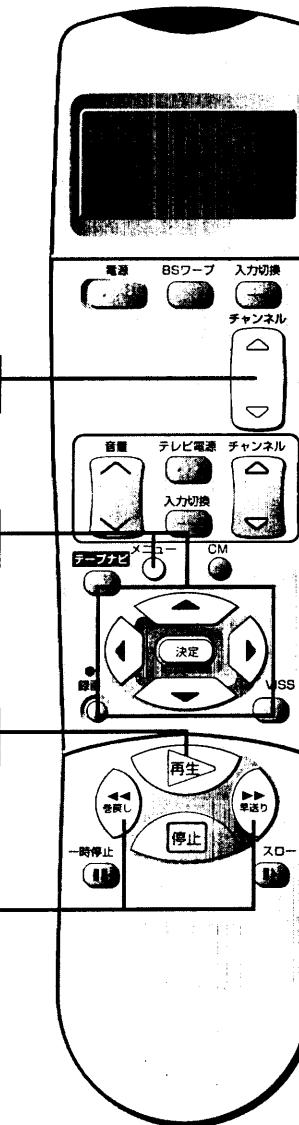
3 飛ばしたいチャンネル、または元に戻したいチャンネルを選ぶ



4 停止ボタン、または再生ボタンを押す

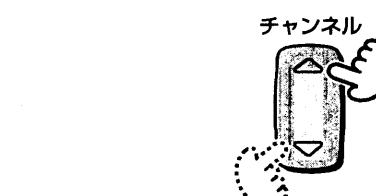


- ・チャンネルを飛ばすときは停止ボタン、元に戻すときは再生ボタンを押します。
- ・これで、飛ばしたチャンネルはチャンネルボタンで選べなくなります。
- ・続けて他のチャンネルも飛ばすときは、③、④を繰り返します。
- ・メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

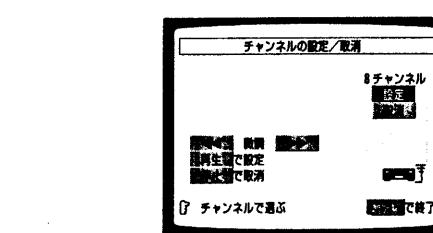


チャンネルを微調整する

1 映りの悪いチャンネルを選ぶ

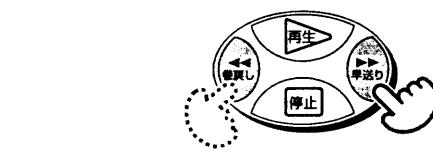


2 「チャンネルの設定／取消」画面を出す



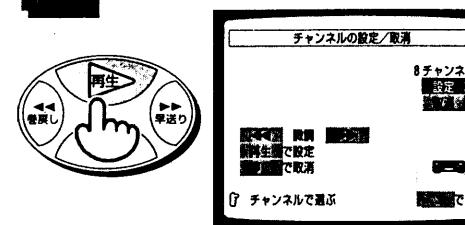
前ページ①、②の操作をしてください。

3 画像を見ながら早送り、巻戻しボタンで調節する



一度、早送りまたは巻戻しボタンを押すと画像が出ます。画像が最もよく映るよう調節してください。

4 再生ボタンを押す



- ・これで、微調整ができました。
- ・続けて他のチャンネルも微調整したいときは、①～④を繰り返してください。
- ・メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

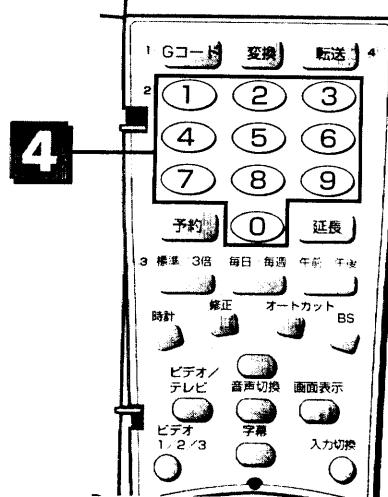
受信チャンネルを合わせる(つづき)

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

重要

- 衛星放送やケーブルテレビのチャンネル表示を変えることはできません。
- 録画、再生中に外部入力(L1またはL2)が選んであるときは、②の操作をしても「チャンネル表示の設定」画面を出すことはできません。

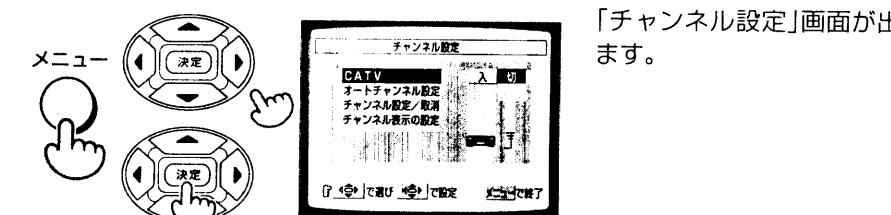
ふたを開けたところ



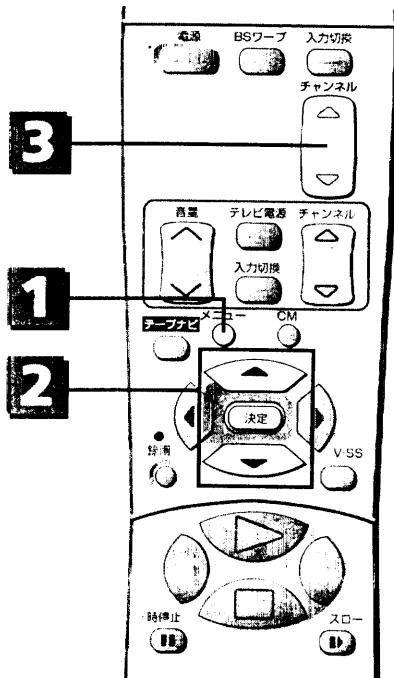
受信チャンネルの表示を変える

①②③④ チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

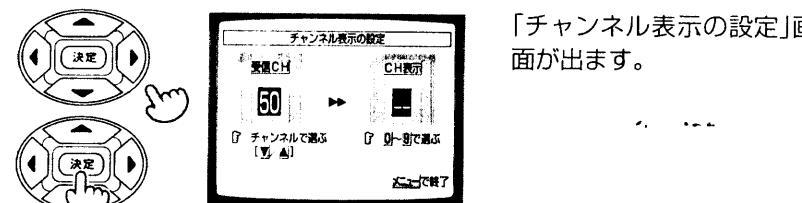
1 「メニュー」画面を出し、「チャンネル設定」を選ぶ



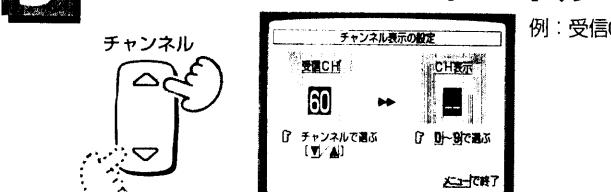
ふたを閉じたところ



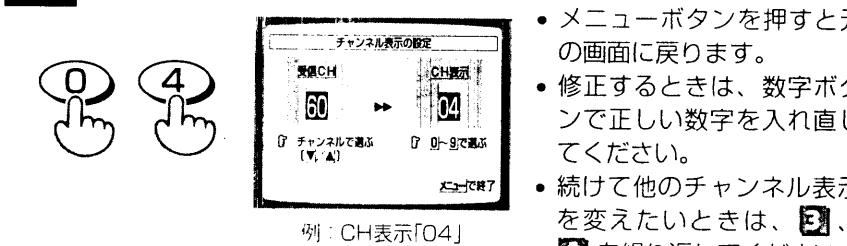
2 ▼、▲ボタンで「チャンネル表示の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 表示を変えたいチャンネルを受信する



4 0~9ボタンで表示したい数字を選ぶ



- メニュー ボタンを押すと元の画面に戻ります。
- 修正するときは、数字ボタンで正しい数字を入れ直してください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、③、④を繰り返してください。

ケーブルテレビ(CATV)をご使用のとき

お知らせ

ケーブルテレビの受信契約について

- ケーブルテレビを受信するには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続が必要です。さらに、スクリンブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。

詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

- お住まいの地域によっては、0~9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。

ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき

CATVの設定が「入」になっているとき、UHF放送のタイマー録画はできません。UHF放送の番組をタイマー録画するときは、「ケーブルテレビのチャンネルを設定したとき」で変更したチャンネル番号で予約してください。

ケーブルテレビのチャンネルを設定する

このビデオはVHF放送(1~12チャンネル)、UHF放送(13~62チャンネル)のほかにCATV(13~63チャンネル)の受信が可能です。CATVチャンネルは次のように設定します。

1 86ページの①、②の操作で「チャンネル設定」画面を出す

2 ◀ボタンを押して「CATV」を「入」にする

3 「チャンネルを設定する」(86ページ)に従ってオートチャンネル設定する
VHFチャンネル(1~12) → UHFチャンネル(13~62) → CATVチャンネル
(C13~C63)の順で、CATVも設定されます。

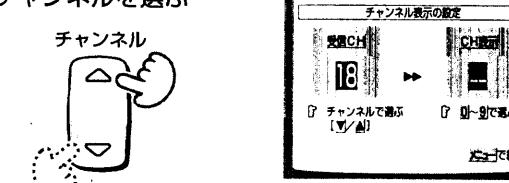
ケーブルテレビのチャンネルを設定したとき

ケーブルテレビチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルが選局できますが、リモコンの0~9ボタンで13~63チャンネルを選ぶとケーブルテレビが選局され、UHF放送の13~62チャンネルは選局できなくなります。リモコンの0~9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの①~④の操作で、UHF放送のチャンネル表示を空いているチャンネルの数字に変えてください。

①②③④ UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変えるには

1 90ページの①、②の操作で「チャンネル表示の設定」画面を出す

2 チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選ぶ



3 0~9ボタンで9チャンネルを選ぶ



4 メニューボタンを押す

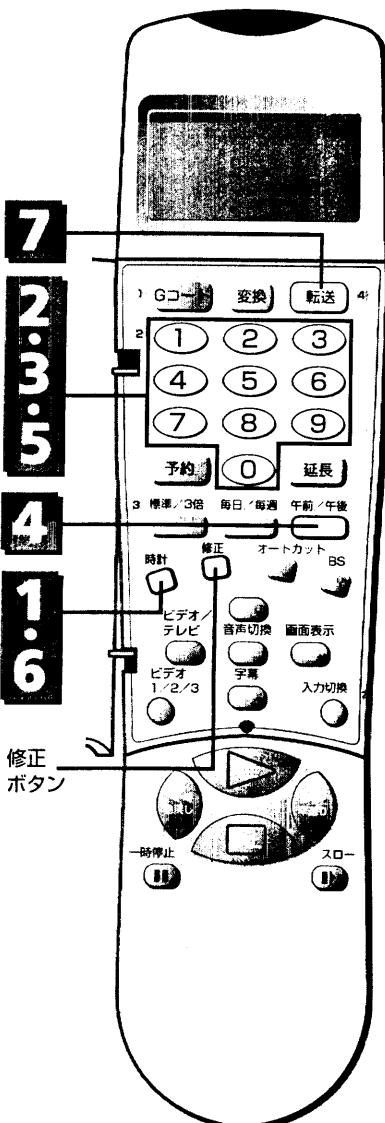
これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

時計を合わせる

はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

重要

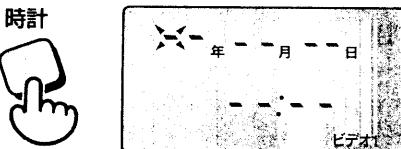
操作を約1分以上中断すると、リモコンの時計設定表示は消えます。
このときは、もう一度時計ボタンを押してやり直してください。



西暦1998年11月5日午前8時20分に合わせるとき

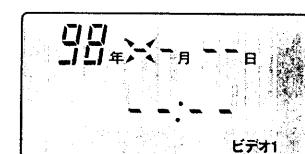
1 時計ボタンを押す

リモコンの表示窓



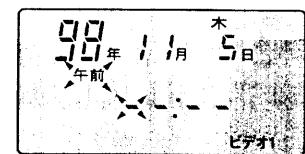
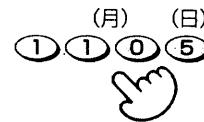
年「-」が点滅します。

2 年を西暦で合わせる



- 西暦の下2けたを合わせてください。
- 2000年は00に合わせてください。

3 月・日を合わせる



- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 曜日は自動的に設定されます。

4 午前・午後を合わせる



押すたびに「午前」と「午後」が切り換わります。

お知らせ

時計を合わせている途中で修正するとき

- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻してから修正してください。

参考: [リモコンの時計修正](#)

お知らせ

時計を正確に合わせるには
(ジャストクロック)

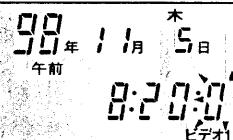
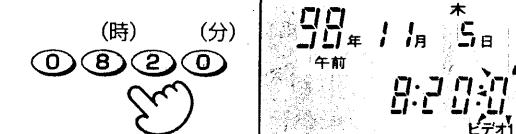
このビデオには、時計を正確に合わせるジャストクロック機能が付いています。ジャストクロックを使うには、「ビデオモード設定」の「オート時計設定」を「入」にしてください(61ページ参照)。

ジャストクロックは、1日に1、2回(午前7時、午後0時(正午))、NHK教育テレビまたはNHK総合テレビの時報を受信して、自動的にビデオの時計を修正します。

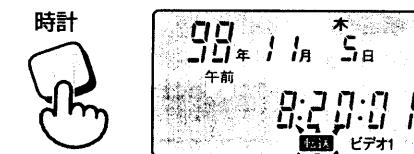
次のような場合、ジャストクロックは働きません。

- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 昼の12時は「午後00：00」、夜の12時は「午前00：00」に合わせてください。

5 時刻を合わせる

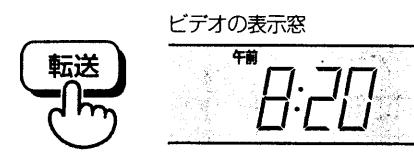


6 時報などに合わせて時計ボタンを押す



- 時計ボタンを押すと、リモコンの時計がスタートします。
- 転送が点滅します。

7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- ビデオの時計がスタートします。
- 転送したら、リモコンのふたを閉じてください。

時計を修正する

リモコンの時計の修正

電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいとき、次のようにリモコンの時計を合わせ直してください。

- 時計ボタンを押して時計を表示させる。
- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところを点滅させる。
- 手順 2 ~ 5 を参考にして、日付または時刻を修正する。
- 時計ボタンを2回押す。

ビデオの時計の修正

60分以上の停電があると、ビデオの時計が「-- : --」になります。このときは、次のようにリモコンの時計をビデオに転送してください。

- 時計ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」を点滅させる。
- 転送ボタンを押す。

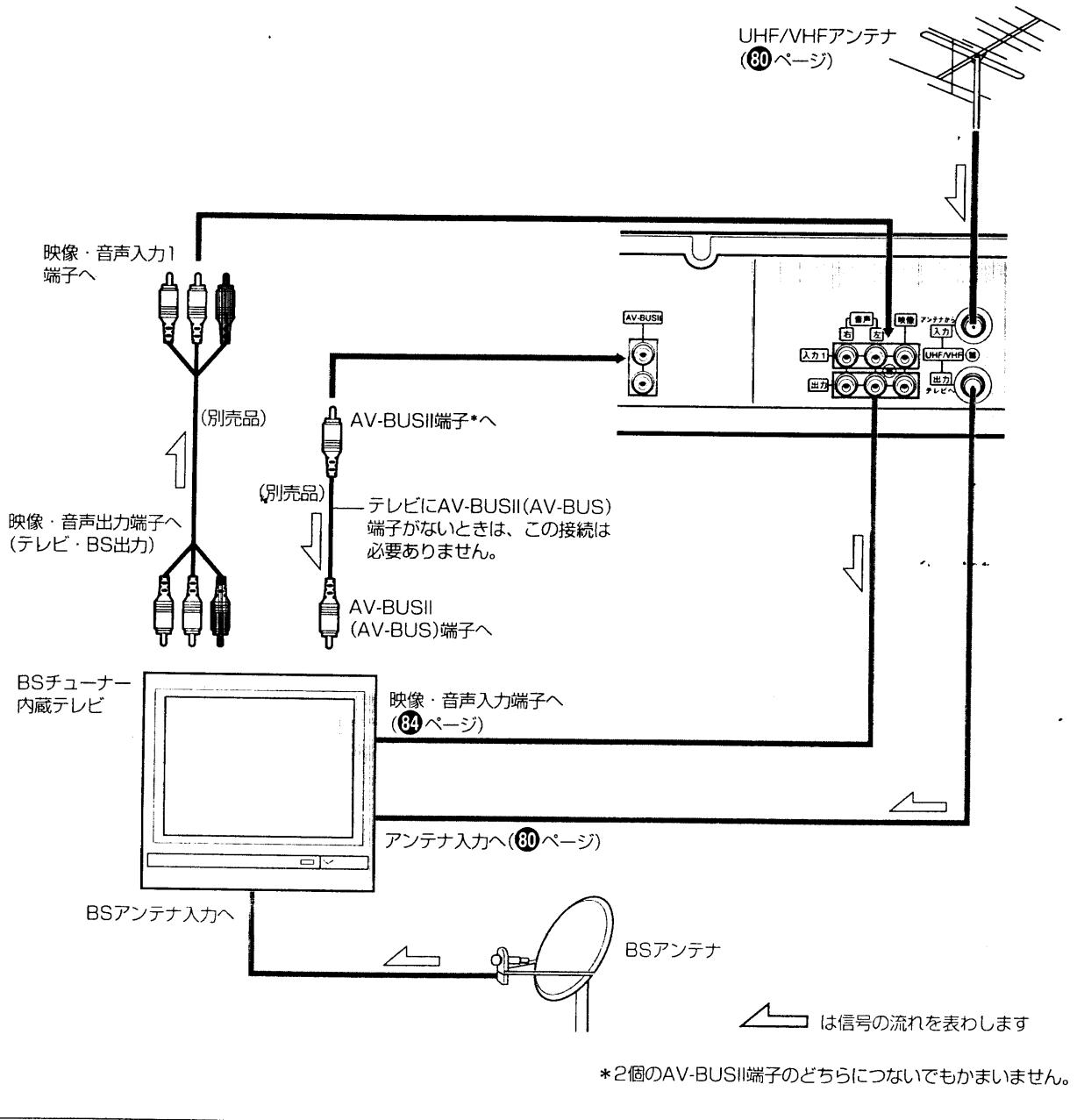
衛星放送を楽しむ

衛星放送を録画するには、BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーをつないでください。
テレビやBSチューナーが日立製で、AV-BUSII(またはAV-BUS)端子がついているときは、
ビデオの操作でテレビやBSチューナーをコントロールすることができます。

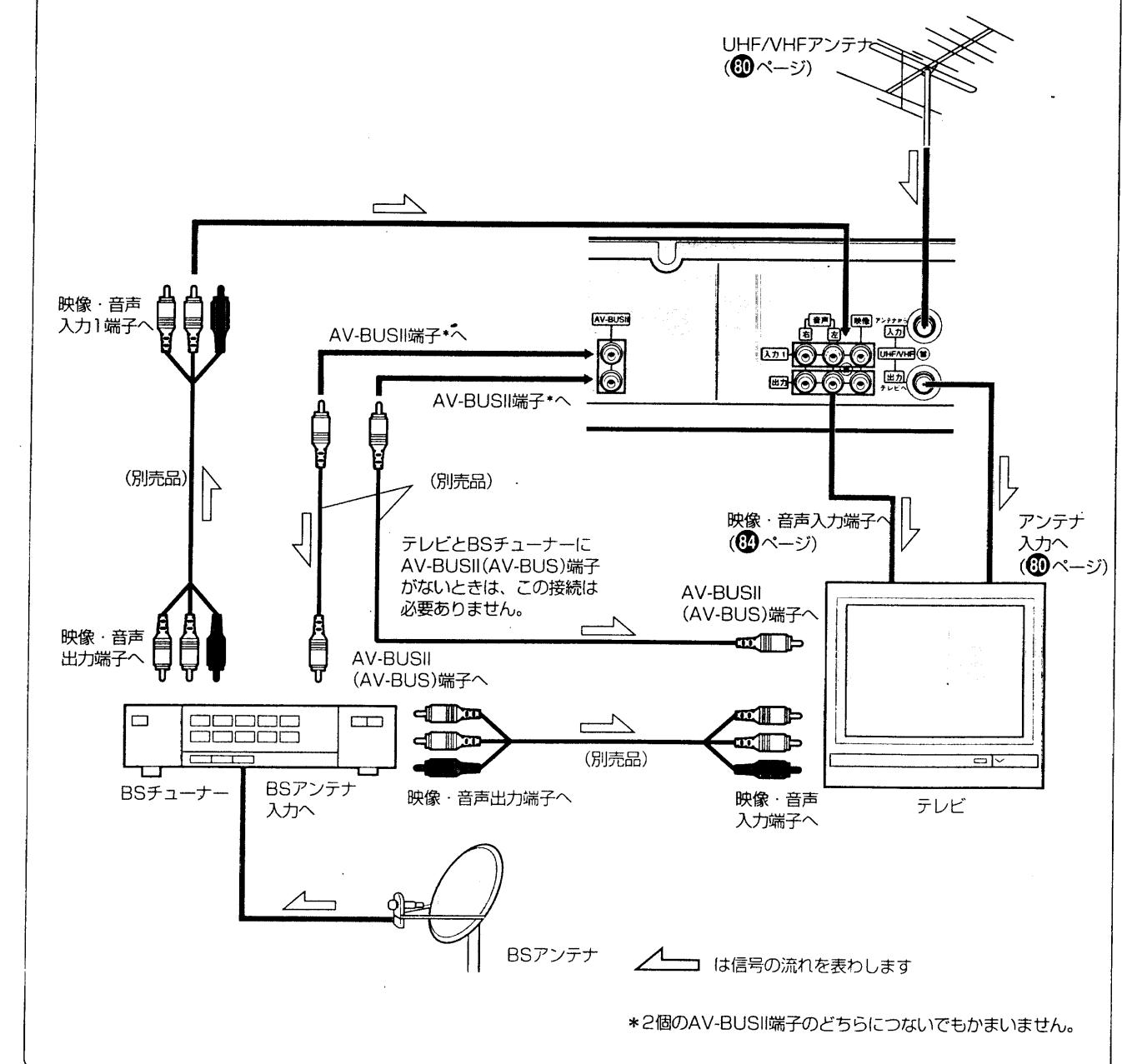


- AV-BUSII端子を使うときは、ビデオ前面のチャンネル切換ボタンを押して必ず「RF-OFF」を選んでください(85ページ参照)。
- AV-BUSII端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。
- 衛星放送の録画のしかたは96、97ページをご覧ください。

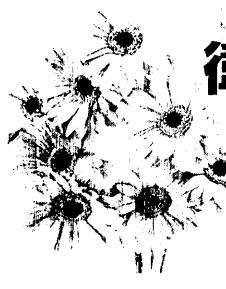
BSチューナー内蔵テレビをつなぐ



BSチューナーをつなぐ



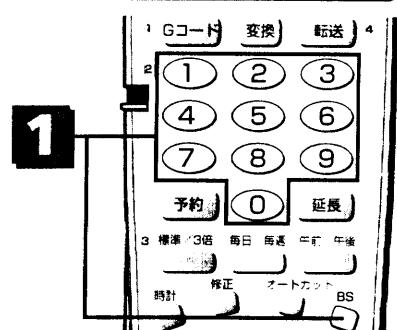
衛星放送を楽しむ(つづき)



日立製のBSチューナー内蔵テレビやBSチューナーと、AV-BUSII(AV-BUS)端子をつないだときは、AV-BUSII機能を使って、ビデオからテレビやBSチューナーをコントロールすることができます。

AV-BUSII(AV-BUS)端子のないBSチューナー内蔵テレビやBSチューナーをつないだときは、ビデオの操作でBSチューナーやテレビをコントロールすることはできません。

ふたを開けたところ



1

AV-BUSII機能を使って衛星放送を録画する

1 BSボタンと数字ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ

BSワープボタンとチャンネルボタンで選ぶこともできます。

2 録画ボタンを押す



- 選んだBSチャンネルの録画が始まります。
- 録画中はBSチューナーのボタン操作はできません。

お知らせ

- BS放送の音声は、自動的に主音声と副音声を左右のチャンネルに録音します。
- 録画中にビデオのリモコンの音声切換ボタンを押すと、BS放送の音声を切り換えて聞くことができます。
- BS録画中でも、テレビのチャンネルを切り換えると、VHF/UHF放送を見るることができます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

衛星放送をタイム録画するには

1 ビデオでタイマー予約する

Gコード予約→**47**ページ
リモコン予約→**52**ページ

- 録画チャンネルを予約するときは、BSボタンを押してから、数字ボタンを押してください。(例:BS7チャンネルのときは、BS、0、7と押します。)

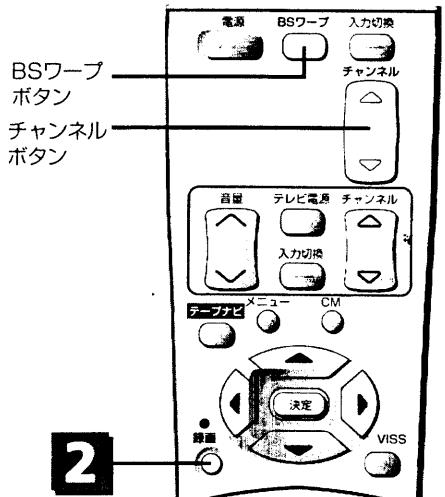
2 テレビのBS電源スイッチを正しく合わせる

- テレビの取扱説明書をご覧ください。

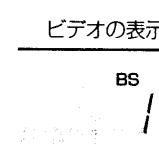
3 テレビの電源を「スタンバイ」にする

- BSチューナー内蔵テレビのとき、テレビの電源を「切」にすると、タイマー録画できません。

ふたを閉じたところ



2



BS

11

1 BSボタンと数字ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ

BSワープボタンとチャンネルボタンで選ぶこともできます。

2 録画ボタンを押す



- 選んだBSチャンネルの録画が始まります。
- 録画中はBSチューナーのボタン操作はできません。

AV-BUSII機能を使わずに衛星放送を録画する

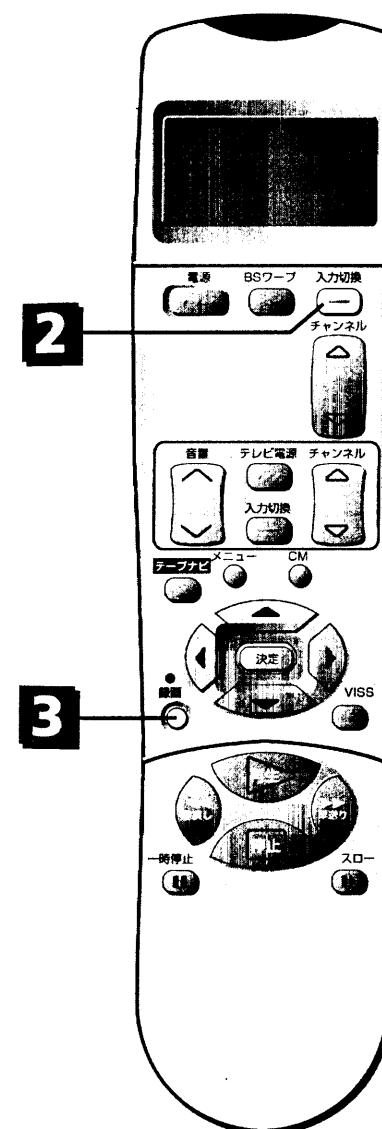
1 BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビで、録画したいBSチャンネルを選ぶ

2 ビデオの入力切換ボタンを押して「L1」(外部入力)を表示させる



ビデオの表示窓

L1



2

3

3 録画ボタンを押す



録画が始まります。

お知らせ

- 録画中にBSチューナーまたはテレビのチャンネルを切り換えると、選んだチャンネルが録画されます。

AV-BUSテレビをつなぐ

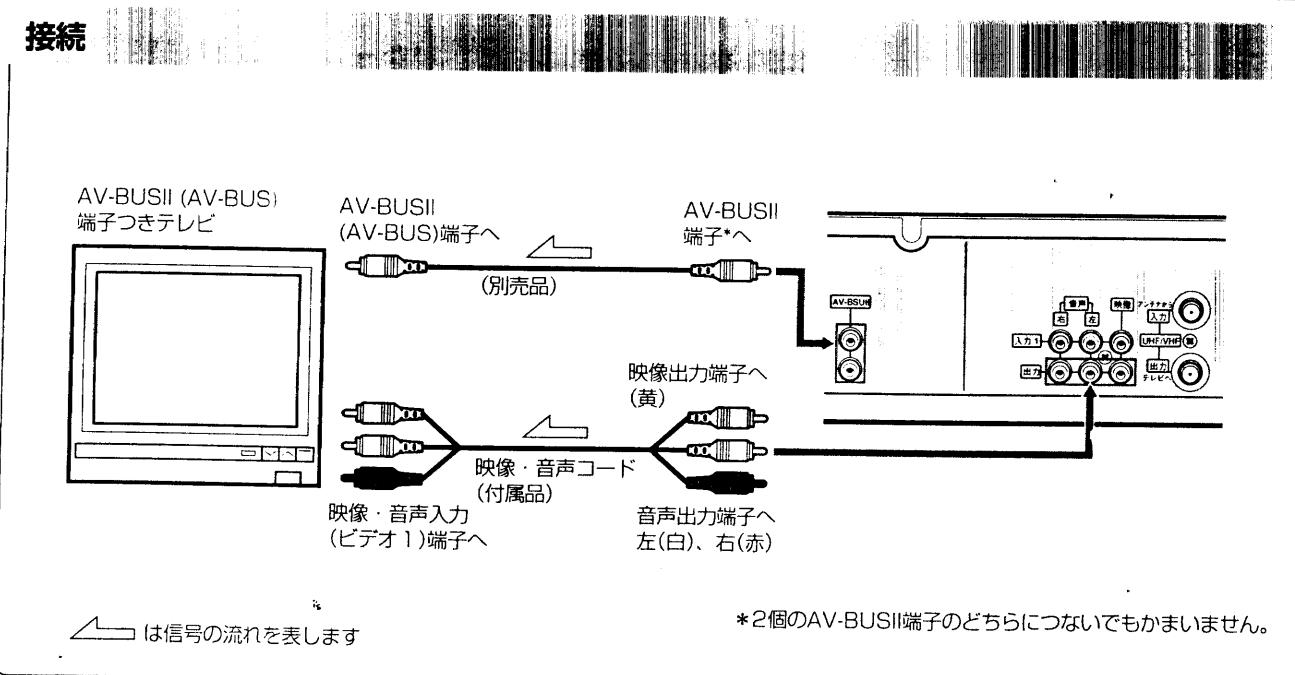


日立製のテレビには、AV-BUSII(AV-BUS)端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSII端子をつなぐと、ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます。



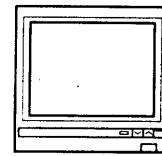
- AV-BUSII端子を使うときは、ビデオ前面のチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(85ページ参照)。
- AV-BUSII端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。

AV-BUSII 端子とつなぐ



テレビをコントロールする

1 テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にする



2 ビデオを操作する

ビデオの操作	テレビの動作
再生を始める	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」になる
ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	入力切換が自動的に「ビデオ」になる
ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	(テレビの電源は切れません)
ビデオの電源を切る	

テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

お知らせ

テレビの「見テ・録」機能について

- このビデオには「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、ビデオは動作しません。

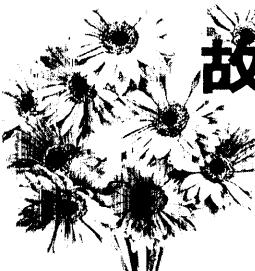
故障かな…と思ったら

まず下の表でお調べください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理せず、お買い上げの販売店にご相談ください。
アフターサービスについては、106ページをご覧ください。

正 状		不	状
電 源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない(ビデオの操作ができない)。	・電源コードをコンセントに接続してから電源ボタンを押してください。 ・電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントに入れたあと、電源ボタンを押してください。	—
リ モ コン	リモコンでビデオの操作ができない(リモコンが使えない)。	・乾電池を交換してください。乾電池を交換するときは、古い乾電池を取り外して電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。(乾電池の寿命は、通常の使用で約半年です) ・リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてからリモコンを使用してください。	②1
		・ビデオのリモコン切換ボタンを押して設定を確認してください。 リモコンの表示窓に「ビデオ1」と表示されているときは、ビデオの表示窓に「R-1」を、「ビデオ2」のときは「R-2」を、「ビデオ3」のときは「R-3」を表示させてください。	⑦5
	リモコンの反応が遅い。	・乾電池を交換してください。乾電池を交換するときは、古い乾電池を取りはずして電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。(乾電池の寿命は、通常の使用で約半年です)	②1
	リモコンでテレビの操作ができない。	・お手持ちのテレビのメーカーに合わせて、テレビコードを設定してください。	⑦6
	巻戻し、早送りができない。	・テープが最初または最後まで巻取られていないか、確認してください。	②6
テ ー ブ	テープが取り出せない。	・リセットスイッチをつまようじなどで押してください。それでも取り出せないときは、電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れて取出しボタンを押してください。	—
			—
録 画	テレビ番組が録画できない(何も録画されていない)。	・アンテナ線を正しく接続してください。 ・受信チャンネルを合わせ直してください。	⑧0 ⑧6
	録画ボタンを押すと、テープが出てくる。	・「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープをピンと貼ってからテープを使用してください。	②3
	タイマー録画ができない(録画予約したが録画が始まらない)	・停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと予約をやり直してください。	⑨2
	タイマー録画ができない(電源を切るとテープが出てくる)	・「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	②3

正 状		不	状
	タイマー録画ができない(録画予約したが何も映っていない)	・タイマー録画予約したあとビデオの電源を切りましたか? ビデオの電源を切っておかないと、予約した時間になっても録画されません。	④9
	タイマー録画予約ができない(予約の内容を転送できない)<Gコード予約時、リモコン予約時>	・ビデオの時計を合わせてから、予約を転送してください。 ・ビデオ1/2/3切換ボタンを押してリモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてから予約を行い、ビデオに転送してください。	⑨2 ②2
	ケーブルテレビを使用しながら、UHF放送をタイマー録画予約できない	・「CATV」の設定が「入」になっているときは、UHF放送の番組をタイマー録画予約できません。ケーブルテレビチャンネルを設定したときに変更したチャンネル番号で予約してください。	⑨1
	ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	・予約のとき、下記の方法でチャンネルを修正してください。 1) Gコード予約番号を入力します。リモコンの表示窓に「BS」表示が出来ます。 2) 修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させます。 3) BSボタンを押して「BS」表示を消します。 4) ケーブルテレビのチャンネルを入力します。	⑤7
録 画	リモコンを使ってタイマー予約をしていたら、途中で時計表示に戻ってしまった。	・操作を約1分中断したためです。もう一度Gコードボタンか予約ボタンを押して予約をやり直してください。	④7 ⑤2
	タイマー録画したが、録画内容が違っている。<Gコード予約時>	・Gコード予約番号を間違って入力していませんか? Gコード予約番号を正しく入力してください。 ・予約を転送するときは、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、ビデオ本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	④7 ⑤0
	タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	・タイマー録画の途中でテープがなくなりました。	⑤7
	タイマー録画を途中でやめることができない。	・電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	④9 ⑤1
	クイックタイマー録画を途中でやめることができない。	・停止ボタンを押してください。	③9
	クイックタイマー録画ができない。	・「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。 ・ビデオの時計を合わせてください。	②3 ⑨2
	ビデオと接続している機器から録画できない。	・後面端子に接続した機器から録画するときは、入力切換ボタンを押し「L1」(外部入力1)を選んでください。 ・前面端子に接続した機器から録画するときは、入力切換ボタンを押し「L2」(外部入力2)を選んでください。	④5 ④3

故障かな…と思ったら(つづき)



症 状		処 置	参 照 ページ
再 生	再生画像に帯状のにノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	• 古いテープや、他のビデオで録画したテープを再生するときに起こることがあります。チャンネル(トラッキング)ボタンを押して最良に映るように調整してください。	27
	再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	• ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	11
	音が途切れる。		
	ヨーロッパなどで買ってきたテープが再生できない。	• 日本とヨーロッパなどでは信号方式が違うためこのビデオでは再生できません。	110
	日本語と英語が同時に聞こえる。	• 音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L または R を出し、聞きたい音を選んでください。	34
	Hi-Fiサウンドの音声が出ない。	• 音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L R を出し、聞きたい音を選んでください。	34
テープナビ	録画時のデータが登録されない。	• テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。 • テープナビメニューの「テープナビ」を「入」にしてください。 • 録画時間が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)のときは、登録されません。 • オートカット機能を使って30分以内の番組を録画したときは、録画時のデータが登録されません。	69 66 63 64
	録画時に「登録データを消してください」という表示がテレビ画面に出る。	• テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。	69
	見たい番組が探せない。	• 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 • 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、テープナビボタンを押してください。	67 67
	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間がちがう。	• オートカット機能を使って録画すると、CMをカットした分だけ録画時間が短くなります。故障ではありません。	64

症 状		処 置	参 照 ページ
CMとばしワザ	CMオートボタンが点灯しない。	• CMオートボタンを押して点灯させてください。	30
		• 他のビデオで録画したテープを再生しています。本機以外で録画したテープでは動作しません。	30
オートカット機能	CMオートでCMをとばさない。	• 1本で60秒以上のCMや1本が15秒以内のCM、また2本以上続いても60秒未満のCM部分は正しくとばされません。故障ではありません。 • 録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。	29 31
		• 再生中にリモコンのCMボタンを押し、テレビ画面に[CMオート]を出してください。	30
チャンネル設定	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	• ステレオ放送の番組を録画していませんか? オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組を録画することはできません。オートカット機能を使って録画するときは、ステレオ放送以外の番組を選んでください。	40
		• 停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	42
「L1」「L2」が出ない。	録画中に番組を切り換えられない(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない)。	• 停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	42
		• オートカット機能を使って録画を始めたら、すぐに一時停止になった。	42
ご参考	受信チャンネルの表示を変えたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示が合わなくなってしまった。	• チャンネルの表示と番組の内容を確認し、もう一度設定をやり直してください。	90
	チャンネルが出ない。	• チャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたチャンネルを元に戻してください。 • チャンネル設定をしたあとでアンテナなどの接続を変えたときや、引っ越しなどで放送局が変わったときは、チャンネル設定をやり直してください。	88 86

故障かな…と思ったら(つづき)

表示窓のガイド表示

症 状	処 置	参 照 ページ
ダビング編集ができない。	・本機を録画側のビデオとして使うのか、再生側として使うのかを確認し、正しく接続してください。 ・録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。	43 44 44
ビデオの表示窓が誤表示したり、ボタンを押しても操作できない。	・リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。その後、時計合わせやタイマー予約など必要な設定をやり直してください。	—
テープが動いているのに、経過時間表示が動かない。	・経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	60
ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	・お好みセレクトの「OSD表示」を「オート」にしてください。	62
ビデオの時刻を自動的に修正(ジャストクロック)できない。	・お好みセレクトの「オート時計設定」を「オート」にしてください。 ・ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれているときは、時刻を修正することはできません。	62 93
英語の字幕が出ない。	・字幕ボタンを何回か押してください。 ・早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が出ません。また、傷がついたテープや録画状態の悪いテープは字幕を正しく表示できなことがあります。	35 35
録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	・再生中にCMボタンを押してテレビ画面の[CMオート]または[S]スキップを消してください。	30 32
テープを停止後、しばらくして音がしました。	・停止状態で約1分たつと内部のテープ保護メカが動作し、多少音がします。故障ではありません。	—

その他の

表 示	表示が出るとき	意味と処置	参 照 ページ
	タイマー予約転送時 (約5秒点滅)	・ビデオの時計が「— : —」になっています。 時計を合わせ直してから転送してください。	92
	タイマー予約転送時 (約5秒点灯)	・リモコンをビデオに向けないで転送しています。ビデオに向けてください。	—
	タイマー予約転送時 (約5秒点灯)	・すでに8つの番組が予約されています。不要な予約を取り消してから転送してください。	55
	タイマー予約転送時 (約5秒点灯)	・予約を受け付けました。	48 53
	タイマー予約後、電源を切ったとき、 または電源切で予約を転送したとき (ずっと点滅)	・テープが入っていない、またはつめの折れたテープが入っています。 つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	23
	再生、録画、早送り、巻戻しボタンを押したとき (約3秒点滅)	・テープが入っていません。テープを入れてください。	23
	録画、ダビング時に録画ボタンを押したとき (約3秒点滅)	・つめの折れたテープが入っています。 つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	23
	リモコンのボタンを押したとき (または、R-1, R-3, R-OFF) (約3秒点滅)	・ビデオのリモコン切換ボタンの設定が、リモコンの表示窓の設定と違っています。ビデオのリモコン切換ボタンを押して、リモコンの表示窓の設定(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)と合わせてください。	75
	電源を入れたとき (約3秒点滅)	・ビデオのヘッドが汚れましたので、ヘッドを清掃してください。CL表示を消すには、ヘッド清掃後、電源切の状態でチャンネル▲ボタンを押してください。CL表示は表示後約5時間録画、再生すると自動的に消えます。	11

保証とアフターサービス

(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みになったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品取扱店をご紹介させていただきます。なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼されるとき(出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(10 ~ 14ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名	ビデオカセットレコーダー
形名	VT-F66NV形
お買い上げ日	年月日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

● 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 長年ご使用の本機の点検を!

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、およそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

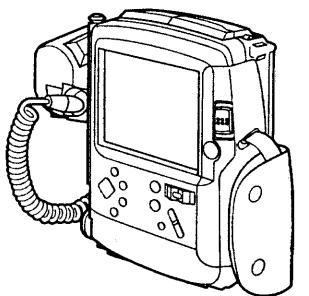
形名	VT-F66NV
電源	AC 100V、50/60Hz共用
消費電力	電源「入」時21W、電源「切」時4W
方式	回転2ヘッドヘルカルスキャン VHS 方式(NTSC準拠)
使用カセット	VHS タイプビデオカセット
テープ幅	12.7mm
テープ速度	標準モード 33.4mm/秒、3倍モード 11.1mm/秒
録画再生時間	標準モード 3時間30分(T-210使用時) 3倍モード 10時間30分(T-210使用時)
巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒、通常巻戻しモード約130秒(T-120使用時)
ヘッド数	6 (4: 映像用、2: Hi-Fi音声用)
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル CATV 13~63チャンネル
映像入力	映像端子: 1.0Vp-p、75Ω不平衡
映像出力	映像端子: 1.0Vp-p、75Ω不平衡
音声入力	-7.8dBs (316mVrms)、ハイインピーダンス
音声出力	-7.8dBs (316mVrms)、ローインピーダンス
音声トラック	3トラック Hi-Fi VHS音声2トラック: ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声 1トラック: モノラル録音/モノラル再生
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ: 90 dB以上 周波数特性: 20 Hz~20 kHz ワウ・フラッター: 0.005 %
許容動作温度	5°C~40°C
許容相対湿度	35~80%以下
外形寸法	(幅)43.5 × (高さ)9.9 × (奥行)27.2 cm
質量	本体 4.0kg
付属品	ワイヤレスリモコン(VT-RM33) 1個 同軸ケーブル 1本 映像・音声コード 1本 単3形乾電池 2個

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
<This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

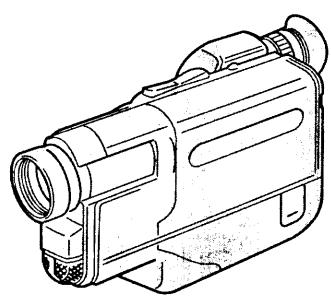
別売品のご紹介

本機とともに使いいただける、当社の製品をご紹介します。

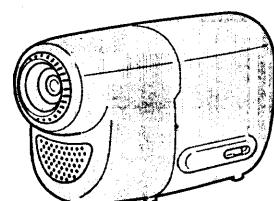
ハイエイト
液晶Hi8ビデオカメラ VM-H200L



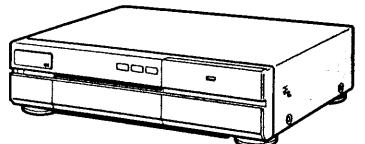
ハイエイト
Hi8ビデオカメラ VM-H720



ミニビデオカメラVK-C32



カラービデオプリンタ
VY-VP20



ブースター

- HD-WB2A
(VHF・UHF・FM兼用)
- HVTR-W26A
(VHF・UHF兼用)
- HVTR-U26A
(UHF専用)

接続コード

- HPU-131AV (映像用)
- HPU-121 (音声用)
- HPU-200AV (映像・音声用)
- HPU-100 (AV-BUS II用)

ビデオカセットテープ

VHSテープ

- T-160SX
- T-160HG
- T-180HG
- T-120SX
- T-120HG

ヘッドクリーニングテープ

- 乾式ビデオヘッドクリーナー
T-CLO1
- 湿式ビデオヘッドクリーナー
AV-210

カセットアダプタ

- TA-3C

用語の解説

音声切換 (34 ページ)

二カ国語放送などを再生するときに便利な機能です。音声切換ボタンを押すたびに、日本語だけ、外国語だけ、日本語と外国語といった具合に音声が切り替わります。録画中に切り換えても、録音内容は変わりません(日本語・外国語の両方が録音されます)。

ダビング (43 ページ)

2台のビデオを接続して、テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

トラッキング調節 (27 ページ)

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出ることがあります。これは、録画された部分をヘッドが正確になぞってないために起こります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。オートトラッキングは、この調節を自動化したものです。

入力切換 (43 ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切換です。ビデオは通常、テレビ番組を録画できるようになっています。入力切換ボタンで「L1」、「L2」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

ビデオ専用チャンネル (ビデオチャンネル) (83 ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しめます。これが、ビデオの専用チャンネルです。ビデオ前面にあるチャンネル切換ボタンを押して1または2チャンネルに切り替えます。

ビデオ/テレビ切換 (24 ページ)

ビデオのVHFアンテナ出力の切換です。

「ビデオ」にしておくと、映像と音声が1または2チャンネルの放送(ビデオの専用チャンネル)としてテレビに供給されます。ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており、テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切換ボタンで切り替えます。

ブースター(電波増幅器)(80、108 ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。

電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見るることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード (標準/3倍)(23、36 ページ)

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。

標準：テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。

3倍：テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。

再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り替わります。



クローズド キャプション (35 ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

G コード (46 ページ)

ジェムスターコードの略です。番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字を入力するだけで開始時刻、終了時刻、チャンネル、録画日が自動的に決まります。各番組の番号は新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されています。

G コード・インフォ (46 ページ)

従来の「G コードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことです。次のような利点があります。

- ① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられますので、効率がよい。
- ② 録画時間の長さの精度が高いので、短時間番組の予約録画に適している。

「G コード・インフォ」に使用するコードは、Info plus code の略です。コードはGコードの番号が「0」で始まります。

G コード予約 (47 ページ)

ジェムスター社が開発したGコードを使う簡単録画予約システムです。

Hi-Fi サウンド (34 ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-fiサウンドです。

OSD 表示 (62 ページ)

OSDとは、On-Screen Displayの略です。OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときにテレビに現れる動作表示です。

NTSC 方式 (10 ページ)

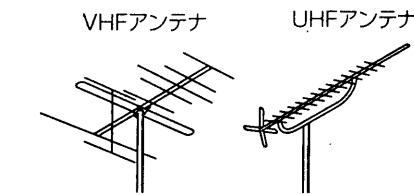
日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

ハイビジョン放送

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9：16(現行3：4)の放送です。すでに衛星放送で試験放送が始まっています。

VHF と UHF 放送 (80 ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1～12チャンネル、UHF放送は13～62チャンネルでご覧になります。それぞれの放送に応じたアンテナが必要です。アンテナの形を見ると、どの放送を受けているか、よくわかります。

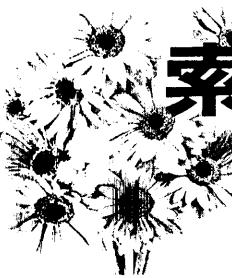


※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

VISS (33 ページ)

VHS Index Search System の略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

索引



あいえお

- 頭出し 33,65,67
- アンテナ線 80
- 一時停止
 - テープを止めて見る 28
 - 録画を一時停止する 37
- 衛星放送 94
 - ～を録画する 96
- 映像・音声コード 24
 - ～を使った接続 84
- 延長 49
- お好みセレクト 61
- オーディオ録音 45
- オート
 - 録画モード「オート」を選ぶ 48,53
 - 録画モードを「オート」に合わせると 57
- オートカット 40,42
- オート時計設定 62
- オートトラッキング 27
- オートリワインド 27
- オートリワンドシャットオフ 27
- 音声切換 109
 - オーディオ録音の音声切換 45
 - 二重音声・ステレオ音声の音声切換 34
 - 録画中の音声切換 37
- 音量ボタン 22,76

かきくけこ

- 画面表示 58
- カラーバー 64,67
- クリックタイマー 39
- クローズド・キャプション 35
- 経過時間 58,60
- 結露 12
- ケーブルテレビ 91
- 誤消去防止 23
- 混合器 80
 - ～を使ってアンテナ線をつなぐ 80
- 午前・午後ボタン 52,92

さしそせそ

- 再生
 - ある場面を止めて見る 28
 - 映像をクッキリさせる 28
 - 画像を見ながら探す 28
 - テープを見る 26
 - ゆっくりした速さで見る 28
 - CMをとばして見る 29
 - サーチ 28
 - 3倍
 - 3倍モードでの録画時間 23
 - 録画モード「3倍」を選ぶ 36
 - つめ
 - ～を折る 23
 - ～を折ったテープに録画する 23
 - ～を折ったテープに録画すると 37
 - ～を折ったテープを再生すると 26
 - ～を折ったテープでタイマー予約
 - すると 23,49,53
 - 停止
 - 再生を停止する 26
 - タイマー録画を停止する 39,49,51,53
 - 録画を停止する 37
 - ステレオ
 - ～音声を選ぶ 34
 - ～から音声を録音する 45
 - ～放送の録音 37
 - ～をつなぐ 45
 - ステレオCMスキップ 32
 - スロー再生 28
 - 静止画再生 28
- たちつてと
- タイムナビ 73
- タイマー録画・予約
 - タイマー録画を途中でやめる
 - 49,53
 - 予約内容を確認する 55
 - 予約のしかた 47～54
 - 予約を取り消す 55
- ダビング 109
 - 本機を再生側にしてダビングする 44
 - 本機を録画側にしてダビングする 43
- 電源
 - ～が自動的にに入る 26
 - ～を切る 49,51,53
- 転送 48,51,53,93

チャンネル設定

- 「オートチャンネル設定」 86
- 「チャンネルの設定／取消」 88,89
- 「チャンネルの表示の設定」 90
- CATVのチャンネル設定 91
- チャンネル
 - 映りの悪いチャンネルをとばす 88
 - 映るチャンネルを確認する 87
 - ～の選ばれる順序 87
 - ～の表示を変える 90
 - ～を微調整する 89
 - 録画したいチャンネルを選ぶ 36

つめ

- ～を折る 23
- ～を折ったテープに録画する 23
- ～を折ったテープに録画すると 37
- ～を折ったテープを再生すると 26
- ～を折ったテープでタイマー予約
 - すると 23,49,53

停止

- 再生を停止する 26
- タイマー録画を停止する 39,49,51,53
- 録画を停止する 37
- テープナビ画面 64
- テープナビメニュー 66
- テープナビ 63

テレビ

- 映像・音声入力端子つき～ 84
- AV-BUSII端子つき～ 94
- ～でチャンネルを選ぶ 38
- ～をつなぐ 80
- リモコンで～を操作する 76
- テレビ専用ボタン 22,76
- 音量ボタン 76
- 入力切換ボタン 76
- チャンネルボタン 76
- テレビ電源ボタン 76
- テレビコード 76
- 電源
 - ～が自動的にに入る 26
 - ～を切る 49,51,53
- 転送 48,51,53,93

索引の見かた

見出し語と同じ形のものは「～」で代用してあります。

ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

わをん

- ワイドポジション 28

A B C

- AV-BUSII機能 96
- AV-BUSII端子 94,95,98
- BSアンテナ 94,95
- BSチューナー 95
- BSチューナー内蔵テレビ 94
- BSワープボタン 96
- CATVをご使用のとき 91
- Closed Caption 35
- CMオート 30
- CMカット 40,42
- CMスキップ 29
- CMとばしワザ 29
- Err 57
- Error 47
- FULL 57

Gコード

- Gコード・インフォ 110
- ～予約 47
- ～を入力する 47

Hi-Fiサウンド

- ～を選ぶ 34

OSD表示

- 62,110 27

SQPB

- 27

VISS

- 111 33

～を使う

- 80,111

まみむめも

- 毎日/毎週
 - ～録画 49,54
- 巻戻し
 - テープを高速(260倍速)で巻戻す 27
 - テープを巻戻す 26
 - ～巻戻しながら見たい場面を探す 28

なにぬねの

- 二重音声
 - ～放送を録画する 37
 - ～を選ぶ 34
- 入力切換 109
 - ～ボタン 43,45
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする 85
- ノーマルサウンド 34
- ノイズ
 - スロー再生中にノイズが出るとき 28
 - 静止画が上下に揺れるとき 28

はひふへほ

早送り

- テープを高速(260倍速)で早送りする 27
- テープを早送りする 26
- 早送りしながら見たい場面を探す 28

ビデオチャンネル

- 83

ビデオ1/2/3切換

- 22

ビデオ/テレビ切換

- 24,109

「ビデオ」表示

- ～を消す 38

- ～を出す 24

ビデオヘッド

- ～の清掃 11

- ～の磨耗 11

ビデオモード設定

- 61

標準

- 標準モードでの録画時間 23

- 録画モード「標準」を選ぶ 36

- 副音声 34

やゆよ

予約

- Gコード予約 47
- リモコン予約 52
- 「タイマー録画・予約」も参照

らりるれろ

リモコン

- ～受光部 21

- ～の電池の入れかた 21

- ～でビデオ、テレビを操作する 22

- リモコン切換ボタン 75

録画

- クイックタイマー 39

- 見ている番組を録画する 36

- タイマー録画 46

- ～しながら別の番組を見る 38

- 録画時間 23

- 録画モード 109

- ～によるテープの録画時間 23

- ～を選ぶ 36,48,53